

要アリト認ムルトキハ知事ハ請求者又ハ申請者ニ出頭ヲ命シ又ハ必要ナル書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第三章 退隱料、退職給與金、遺族扶助料

ノ支給

第二十三條 年金タル退隱料又ハ遺族扶助料ハ毎年一月、四月、七月、十月ノ四期ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス
前項支給期月ニ支給シ得サリシモノ若ハ權利消滅シタル退隱料又ハ遺族扶助料ハ支給期月ニ拘ラス支拂請求ノ時時之ヲ支給ス

第一項ノ支拂請求書ハ各支給期月ノ五日迄ニ差出スヘシ

第二十四條 年金タル退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受ケル者禁錮以上ノ刑ニ處セラレハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルトキヲ除ク若ハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消サレタルトキ又ハ國籍ヲ失ヒ若ハ死亡シ又ハ支給規則第三十五條ノ規定ニ依リ扶助料ヲ受ケルノ權利ヲ失フ場合ニ於テハ本人、遺族若ハ縁故者ヨリ速ニ其ノ旨ヲ知事ニ通知スヘシ

第二十五條 第二十二條ノ規定ニ依リ提出シタル印鑑ヲ變更

シタル場合ニ於テハ更ニ其ノ印鑑ヲ差出スヘシ

第四章 退隱料、遺族扶助料證書ノ返還及

再交付

第二十六條 年金タル退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受ケタル者死亡シ又ハ之ヲ受ケルノ權利ヲ失ヒタル場合ニ於テ順位者ナキトキハ其ノ證書ヲ占有スル者ハ速ニ知事ニ之ヲ返還スヘシ
前項ノ場合ニ於テ死亡又ハ其ノ事由ニ依リ之ヲ返還シ得サルトキハ速ニ其ノ旨ヲ知事ニ届出ツヘシ

第二十七條 退隱料及遺族扶助料證書又ハ裁定通知書ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ證據書類ヲ添ヘ知事ニ其ノ再交付ヲ申請スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ證書又ハ裁定通知書ノ交付アリタルトキハ從前ノ證書又ハ裁定通知書ハ其ノ效力ヲ失フ

亡失ノ事由トシテ證書又ハ裁定通知書ノ再交付ヲ受ケタル後從前ノ證書又ハ裁定通知書ヲ發見シタルトキハ速ニ知事ニ之ヲ返還スヘシ

第二十八條 年金タル退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受ケル者其ノ氏名ヲ變更シタルトキハ證書及戶籍抄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ知事ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ知事ハ證書ニ改氏名ノ事實ヲ記載シタル上之ヲ權利者ニ返付ス

附則

本令ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ適用ス

第一號様式(用紙半紙綴込餘白二寸ヲ存スヘシ)

支拂請求書

普通退隱料(增加退隱料) 番號第 號

年額金 圓

一金 圓也 自 年 月 第 期分(何箇月分)

又ハ

一金 圓也 退職給與金(一時扶助料)番號第 號

右支拂請求候也

退職當時ノ職名

又ハ

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十四款 退隱料、扶助料

縣吏員、職員トノ身分關係

(前住所)

現住所

年 月 日

氏 名 印

生 年 月 日(孤兒ニ限ル)

三重縣知事氏名殿

備考 一、未成年者カ請求スル場合ハ法定代理人ノ連署ヲ

要ス以下各號ノ請求書ニ付亦同シ

二、新ニ支給ヲ始ムル者ハ其ノ裁定及起算ノ年月日

又死亡其ノ他ノ事故ニ因リ支給額ニ異動アル場

合ニハ其ノ年月日及事由ヲ金額ノ次ニ附記スヘ

シ

三、前支給期以降現住所ヲ變更シタル者ハ必ス前任

所ト現住所トヲ併記スヘシ

第二號様式

普通退隱料請求書

年 月 日(職名)ヲ退職致候ニ付普通退隱料ヲ

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十四款 退隱料、扶助料

三百七十二

給與相成度證據書類相添へ請求候也

退職當時ノ職名

本籍町

現住所

年月日

氏名印

三重縣知事氏名殿

第三號様式

普通退隱料請求書

增加退隱料請求書

年月日(〇〇(職名)ヲ退職致候ニ付普通退隱料及

增加退隱料ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

退職當時ノ職名

本籍地

現住所

年月日

氏名印

三重縣知事氏名殿

第四號様式

退職給與金請求書

年月日(〇〇(職名)ヲ退職致候ニ付退職給與金ヲ

給與相成度證據書類相添へ請求候也

退職當時ノ職名

本籍地

現住所

年月日

氏名印

三重縣知事氏名殿

第五號様式

扶助料請求書

縣吏員、職員又ハ普通退隱料權者若ハ前扶助料權者

氏名

右者 年月日死亡(失權)候ニ付扶助料ヲ給與相成度證據

書類相添へ請求候也

縣吏員、職員又ハ普通退隱料權者トノ身

分關係

本籍地

現住所

年月日

氏名印

三重縣知事氏名殿

第六號様式

扶助料停止請求書

停止セララルヘキ扶助料權者

氏名

右者 年月日以來所在不明ニ付扶助料ヲ停止相成度證據

書類相添へ請求候也

縣吏員、職員トノ身分關係

年月日

申請者 氏名印

三重縣知事氏名殿

第七號様式

扶助料轉給請求書

停止中ノ扶助料權者 氏名

右者 犯 罪ニ因ル扶助料停止期間中扶助料ヲ轉給相成度證據

書類相添へ請求候也

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十四款 退隱料、扶助料

三百七十三

縣吏員、職員トノ身分關係

本籍地

現住所

年月日

氏名印

三重縣知事氏名殿

第八號様式

一時扶助料請求書

縣吏員、職員又ハ普通退隱料權者ノ退職當

時ノ職名 氏名

右者 年月日在職中死亡(右者 年月日死亡)候ニ付

縣吏員職員退隱料、退職給與金、遺族扶助料支給規則第三十

七條(第三十八條)ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據

書類相添へ請求候也

縣吏員、職員又ハ普通退隱料權者トノ身

分關係

本籍地

現住所

年月日

氏名印

三重縣知事氏名殿

●恩給中知事ノ裁定ニ係ルモノノ更正手續

(大正十二年十月三十日) 縣令第四十五號

恩給法第一百一條又ハ第百二條ノ規定ニヨリ増額スヘキ教育職員及教官其ノ他教育事務ニ従事スル文官ノ恩給中三重縣知事ノ裁定ニ係ルモノノ更正手續左ノ通定ム

更正手續

第一條 恩給法第一百一條又ハ第百二條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給、扶助料等ニシテ大正十二年九月三十日以前ノ日附アル證書ニヨリ支給スルモノニ付テハ受給權者ノ請求ヲ俟タス之ヲ更正シ其ノ更正年額ヲ表示シタル新證書ヲ發行ス
前項ノ新證書ヲ交付スル迄ハ更正年額ヲ表示シタル支給額

票(第一號様式)ヲ貼附シタル從前ノ證書ニ依リ更正額ヲ支給ス

第二條 恩給法第一百一條又ハ第百二條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給、扶助料等ニシテ大正十二年十月一日以後裁定スヘキモノニ付テハ更正年額及從前ノ年額ヲ表示シタル證書ヲ發行ス

第三條 支給額票ハ受給權者ノ請求ヲ俟タス當廳ニ於テ之ヲ調製シ受給權者居住地ノ市區町村長ヲ經テ之ヲ受給權者ニ交付ス

第四條 第一條ノ新證書ハ受給權者居住地ノ市區町村長ヲ經テ之ヲ受給權者ニ交付ス

第五條 第一條ノ新證書ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ交付請求書(第二號様式)ニ現住地ノ警察官署又ハ領事館ノ現住證明ヲ受ケ直接當廳ニ差出スヘシ但シ現住地ニ警察官署又ハ領事館ナキトキハ町村役場若ハ之ニ準スヘキモノノ現住證明ヲ受ケヘシ
受給權者ハ當廳ヨリ前項ノ交付請求書ノ用紙ヲ受ケルコト

ヲ得

第六條 前條ノ交付請求書提出後現住地ヲ變更シタルトキハ其ノ現住地ノ警察官署、領事館又ハ町村役場若ハ之ニ準スヘキモノノ現住證明書ヲ添ヘ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第七條 第一條ノ新證書ヲ發行シタルトキハ交付請求書ヲ差出シタル者ニ對シ受給權者居住地ノ市區町村役場又ハ之ニ準スヘキモノヲ經テ其ノ旨ヲ通知ス

受給權者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ從前ノ證書ニ新證書ノ受領證印ヲ爲シ之ヲ引換ニ新證書ノ交付ヲ受ケヘシ
前項ノ場合ニ於テ止ムヲ得サル事由ニ因リ從前ノ證書ヲ提出スルコトヲ得サルトキハ知事ノ承認書ヲ以テ從前ノ證書ニ代フルコトヲ得

前項ノ承認書ヲ受ケムトスル者ハ恩給證書ヲ提出スルコトヲ得サル事由ヲ詳記シタル書面ヲ當廳ニ差出スヘシ
市區町村役場又ハ之ニ準スヘキモノノ新證書ヲ交付シタルトキハ從前ノ證書ヲ速ニ當廳ニ送付スヘシ

第八條 支給額票ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ受給權者居

住地ノ市區町村役場又ハ之ニ準スヘキモノヲ經テ當廳ニ其ノ再交付ヲ請求スヘシ

第九條 大正九年七月三十一日以前ノ日附アル證書ハ大正十二年十一月三十日限り其ノ效力ヲ失フ

第十條 大正九年八月一日以後大正十二年九月三十日迄ノ間ニ於ケル日附アル證書及之ニ貼附シタル支給額票ハ大正十四年三月三十一日限り其ノ效力ヲ失フ

第十一條 恩給ノ更正ニ關シ本令ニ別段ノ規定ナキ事項ニ付テハ恩給給與規則ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十三年一月渡以降更正支給額票

證 書 番 號	更 正 年 度	額	注
第 號	更 正 一 期	額	(一) 本票ハ證書表面金額ノ 上部ニ助付スヘシ (二) 更正額ニ對スル新證書 ハ追而交付ニ付其ノ際 現證書ト引換ノコト
	圓	圓	
肩 書 及		氏 名	

(第一號樣式)

(三頁裏)

第二號樣式
(裏面)

交付請求書 第 號

一、退隱料又ハ扶助料
右恩給法ニヨル更正證書及請求候也

現住所

肩書(例) 元三重縣、郡、小學校訓導
 故三重縣、郡、小學校訓導
 某寡婦(孤兒又ハ父母等)

右現住者タルコトヲ證明ス

大正十二年 月 日

警察分署長
 又ハ町村長

氏 名 印

(表 面)

郵	三重縣津市
便	三重縣廳學務課
は	御 中
か	
き	
郵便切手	
貼附ノコト	

(注意) 交付請求書ヲ郵便ニヨラス提出スル場合ハ便宜他ノ用紙ヲ用フルコトヲ得

● 恩給法中知事ノ裁定ニ係ルモノノ給與及支給細則

(大正十二年十一月十三日) (縣令第四十七號)

恩給法中知事ノ裁定ニ係ルモノノ給與及支給細則左ノ通定ム

恩給法中知事ノ裁定ニ係ルモノノ給與及支給細則

第一條 恩給法施行令第三條ノ規定ニ依リ知事ノ裁定スル恩給請求書類ハ直接又ハ居住地ノ町村長若ハ郡市長ヲ經テ知事ニ差出スヘシ

第二條 恩給請求書類ノ様式ハ恩給給與細則第三條ノ規定ニ依ル書式ニ準シ作成スヘシ

第三條 普通恩給又ハ扶助料請求書ニ添附スヘキ履歷書ハ正副貳通差出スヘシ

第四條 恩給給與ノ裁定ヲ爲シタルトキハ恩給證書又ハ裁定通知書ヲ作り請求者居住地ノ市町村長ヲ經テ之ヲ交付ス

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十四款 退隱料、扶助料

第五條 恩給證書又ハ裁定通知書ノ交付ヲ受ケタル者ハ直ニ

受領書及印鑑ヲ知事ニ差出スヘシ

前項ノ印鑑ハ恩給金支拂請求書及現金領收書ニ押捺スヘキモノト同一ナル印章タルコトヲ要ス

第六條 恩給ノ請求ヲ却下シタルトキハ其ノ旨請求者ニ通知ス

第七條 恩給給與規則第二十五條ノ規定ニ依リ誤謬ヲ訂正シ又ハ裁定ノ改訂ヲ爲シタル場合ニ於テハ權利者ニ通知シ又ハ新證書ヲ交付ス

第八條 恩給給與規則第三十六條ノ規定ニ依リ恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付ヲ申請セムトスル者ハ申請書ヲ知事ニ差出スヘシ

前項申請書ノ様式及添附書類ニ付テハ恩給給與細則第十條ノ規定ニ準スヘシ

第九條 恩給法施行令第十四條又ハ第十七條ノ規定ニ依ル加算ヲ爲スヘキ勤務ニ服シタルトキハ其ノ所屬長官ノ勤務日誌ノ寫ヲ請求書ニ添附スヘシ

第十條 恩給ノ支給ヲ受ケムトスル者ハ左記様式ニ準シ恩給金支拂請求書ヲ各支給期月ノ五日迄ニ知事ニ差出スヘシ

第十一條 第五條ノ規定ニ依リ提出シタル印鑑ヲ改メタルトキハ速ニ改印届ヲ差出スヘシ

第十二條 本則ニ定ムルモノノ外其ノ給與及支給方ハ國庫ノ支辨ニ屬スル恩給ニ付テノ規定ニ準スヘシ

附則

第十三條 本則ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ適用ス

第十四條 明治三十五年縣令第四十八號ハ之ヲ廢止ス

第十五條 従前ノ規定ニ依リ退職料又ハ遺族扶助料ヲ受ケル者ハ更正恩給證書ノ交付ヲ受ケタルトキ第五條ノ手續ヲ爲スヘシ

様式(用紙半紙綴込餘白ニ寸ヲ存スヘシ)

恩給金支拂請求書

普通恩給(增加恩給)扶助料(第 號)

年額金 圓

一金 圓也 自 年 月 第 期分(何箇月分) 至 年 月 第 期分(何箇月分)

又ハ 圓也 一時恩給(一時扶助料)第 號

右支拂請求候也

退職當時ノ職名 又ハ 公務員トノ身分關係 (前住所) 現住所

三重縣知事 氏 名殿

備考

一 未成年者カ請求スル場合ハ法定代理人ノ連署ヲ要ス

二 新ニ支給ヲ始ムル者ハ其ノ裁定及起算ノ年月日又死亡其ノ他ノ事故ニ依リ支給額ニ異動アル場合ニ

年月日 氏 名印

生年月日(孤兒ニ限ル)

● 縣吏員職員退職特別給與金支給規程

(大正十四年四月二十四日) (告示第百八十三號)

縣吏員職員退職特別給與金支給規程縣參事會ノ議決ヲ經テ左ノ通定ム

縣吏員職員退職特別給與金支給規程

第一條 本規程ニ於テ縣吏員職員トハ大正十二年十月三號縣令第四十四號縣吏員職員退職料退職給與金遺族扶助料支給細則ニ定ムル者ヲ謂フ

第二條 縣吏員職員ニシテ行政整理ニ由リ大正十三年十月十日ヨリ大正十四年二月二十八日迄ノ間ニ於テ退職シタル者ニハ退職料退職給與金ノ外本規程ノ定ムル所ニ依リ退職特別給與金ヲ支給ス

第六編 財務 第一章 縣ノ財務 第十四款 退職料、扶助料

ハ其ノ年月日及事由ヲ金額ノ次ニ附記スヘシ

三 前支給期以降現住所ヲ變更シタル者ハ必ス前住所ト現住所トヲ併記スヘシ

別給與金ヲ支給ス

第三條 退職特別給與金ハ左ノ各號ニ依リ算出シタル金額ノ合計額以内トス但シ職位未滿ノ増數ハ之ヲ職位ニ滿タシム

一、勤續給與金

其ノ勤續年數ニ對シ在職一年毎ニ退職當時ノ俸給額ヲ乘シタル額

ム以下ノ月額十分ノ五ニ相當スル金額ヲ乘シタル額

同シ

二、轉職給與金

其ノ勤續年數ニ對シ在職一年毎ニ退職當時ノ俸給額ノ十分ノ五ニ相當スル金額ヲ乘シタル額但シ其ノ金額ハ俸給額ノ四十分ヲ下ラス又八月分ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 勤續年數ハ左ノ各號ニ依リ月ヲ以テ計算ス

一、縣吏員職員ニシテ相互轉職シタル者ノ勤續年數ハ之ヲ通算シ二以上ノ職ヲ併有スル者ニ在リテハ其ノ長キ一方ヲ勤續年數トス

二、縣吏員職員ニシテ官吏、待遇官吏ニ轉シタル後再ヒ縣吏員職員ニ辨シタル者ニ在リテハ其ノ前後ノ勤續年數ハ

之ヲ通算ス

三、囑託員、雇員ニシテ解職ノ當日又ハ翌日官吏、待遇官吏、縣吏員職員トナリタル者ニ在リテハ其ノ囑託員、雇員タリシ年數ニ付テハ其ノ十分ノ八ヲ以テ縣吏員職員タリシ年數ト看做シ勤続年數ヲ通算ス

前各款ノ勤続年數ハ本縣ニ於テ在職シタル年數ニ限り通算ス

第五條 縣吏員職員ニ以上ノ職ヲ併有シ各職ニ付俸給ヲ給セラルル場合ニ於テハ俸給額ヲ合算シタルモノヲ以テ其ノ者ノ俸給額トス

第六條 第二條ニ依リ退職シタル者ニシテ其ノ退職ノ際受ケタル特別賞與金ニ相當スル金額ハ之ヲ退職特別給與金中ヨリ控除ス

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●縣立學校職員退職特別手當支給規程

(大正十四年五月一日 告示第百九十七號)

縣立學校職員退職特別手當支給規程左ノ通定ム

縣立學校職員退職特別手當支給規程

第一條 本規程ニ於テ縣立學校職員トハ縣ノ給料給與ヲ受ケル縣立學校職員ニシテ大正六年一月勅令第五號公立學校職員制ノ適用ヲ受ケサル者ヲ謂フ

第二條 縣立學校職員ニシテ行政整理ニ因リ大正十四年三月十五日ヨリ大正十四年三月三十一日迄ノ間ニ於テ退職シタル者ニハ本規程ノ定ムル所ニ依リ退職特別手當ヲ支給ス

第三條 退職特別手當ハ左ノ各款ニ依リ算出シタル金額ノ合計額以內トス但シ圓位未滿ノ端數ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

一、勤続手當

其ノ勤続年數ニ對シ在勤一年毎ニ退職當時ノ手當俸給又

ハ給料月額十分ノ四ニ相當スル金額ヲ乘シタル額

二、轉職手當

其ノ勤続年數ニ對シ在勤一年毎ニ退職當時ノ手當俸給又ハ給料月額十分ノ四ニ相當スル金額ヲ乘シタル額但シ其ノ金額ハ手當俸給又ハ給料三月分ヲ下ラス又六月分ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 縣立學校職員ノ勤続年數ハ縣立學校ニ就職ノ月ヨリ之ヲ起算シ退職ノ月ヲ以テ終ル但シ退職シタル者即日又ハ翌日縣立學校職員ニ就職シタルトキハ之ヲ勤続ト看做ス

第五條 縣立學校職員ニシテ二以上ノ職ヲ併有スル場合ニ在リテハ其ノ長キ在職年ニ依リ勤続年數ヲ計算ス

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十五款 雜

●郵便物不足税及増税トモ郵便受
取先ニテ仕拂ノ件

(明治十七年三月二十一日)
乙第六十六號

本署
郡役所
縣立學校
病院

諸公文書郵送之節ハ量目調査周密注意スヘキハ勿論ニ付差違
等ハ無之答ニ候得共若シ前拂不足スルトキハ其ノ不足税及増
税トモ郵便受取先ノ廳衙ニ於テ仕拂ニ可相立此旨相達候事

第二章 國庫ノ財務

第一款 物品會計

●徵兵署及海軍志願兵検査所附屬物品竝諸費取扱順序

(明治三十五年四月二十五日訓令甲第四十號)

附註 明治四一年九月訓令甲第六三號改正

郡市役所

徵兵署及海軍志願兵検査所ニ屬スル物品竝諸費取扱順序左之通相定ム但シ明治十九年(九月)三重縣訓令第三十六號明治三十二年(三月)三重縣訓令甲第三十六號ハ之ヲ廢止ス

徵兵署及海軍志願兵検査所附屬物品竝諸費取扱順序

第一條 徵兵署及海軍志願兵検査所所屬ノ物品ハ郡市役所ノ首座郡市書記ヲ以テ之レカ取扱主任トス

第二條 前條ノ物品ハ其ノ郡市廳舎ニ收藏スヘシ但シ其ノ郡

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第一款 物品會計

市廳舎ニ收藏スルコト能ハサルトキハ適當ノ場所ヲ借受ケ收藏スヘシ

第三條 物品取扱主任ハ臺帳ヲ設備シ其ノ品目員數等ヲ登記スヘシ

第四條 郡市長ハ毎年三月三十一日郡市書記ニ検査員ヲ命ジ物品取扱主任ノ保管スル物品ヲ検査セシメ其ノ調書ヲ製シ當廳ヘ送付セシムヘシ

第五條 保管シタル物品ノ内毀損亡失若ハ不用ニ屬スルモノアルトキハ其ノ品目員數事由ヲ詳悉シテ速ニ當廳ヘ報告シ又修補ヲ要スルモノアルトキハ當業者ヨリ見積書ヲ徴シ調査ノ上之ヲ當廳ヘ送付スヘシ

第六條 物品取扱主任又ハ直接保管ノ責任ナキモノト雖故意怠慢ニヨリ物品ヲ毀損亡失シタルトキハ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第七條 物品取扱主任交送シタルトキハ速ニ臺帳及現品ヲ受授シ新舊取扱主任連署ノ上其ノ結了ノ旨ヲ當廳ニ報告スヘシ

第八條 物品取扱主任ヨリ當廳へ差出ス書類ハ總テ郡市長ヲ經由スヘシ

第九條 徵兵署及海軍志願兵検査所ニ要スル諸費ハ豫算ノ配付ヲ受ケタル範圍ニテ處辨スヘシ

但シ左記ノ分ハ各制限ヲ超過スルコトヲ得ス

一 炭一日 自五月至十月ニ貫五百目以内
自十一月至四月四貫目以内

一 茶一日 四十目以内

一 小 使 徵兵署二人以内
海軍志願兵検査所一人

一 借家料一日 金壹圓以内

一 倉敷料一ケ年 金壹圓五拾錢以内

第十條 特別ノ事由ニ依リ前條ノ範圍ヲ以テ支辨シ能ハサルトキハ事實ヲ詳具シ稟請スヘシ

第十一條 第九條ノ諸費及檢丁旅費請求書ハ閉鎖後十日以内ニ取纏メ當廳へ送付スヘシ

但シ倉敷料ハ毎年三月三十一日ニ請求セシムヘシ

第二款 收支

●貸付金取扱規程

(明治四十四年六月二十七日)
(訓令甲第三十六號)

郡	役	所
市	役	所

大藏省所管諸貸付金取扱規程左記ノ通改正ス

貸付金取扱規程

第一條 大藏省所管貸付金ハ本令ノ定ムル所ニ依リ郡市長之ヲ管理スヘシ

第二條 貸付金ハ左ノ武種ニ區分整理スヘシ

一 定期貸 分賦辨濟ノ方法ニ依ルモノ

一 据置貸 資力回復ノ時ヲ辨濟ノ期限トスルモノ

本令施行ノ際現存スル雜種貸金ハ定期貸トシテ之ヲ整理スヘシ

第三條 貸付金ハ前條ノ區分ニ依リ甲號書式ノ臺帳ヲ備ヘ價

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

務ノ原因編入年月日金額辨濟期限及債務者並其ノ保證人ノ住所氏名等ヲ之ニ登記スヘシ

時效中斷ノタメ納入告知書ヲ發シタルトキハ其ノ額末ヲ臺帳ニ登記スヘシ

第一項登記事項ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ報告又ハ經伺ノ上其ノ都度之ヲ訂正スヘシ

第四條 定期貸ニ付テハ期限ノ到來シタルトキ收納ノ手續ヲナシ据置貸ニ付テハ常ニ資産ノ實況ヲ調査ノ債務ノ全部又ハ一部ヲ返納シ得ヘキ資力ヲ生シタリト認メタルトキハ其ノ時々收納ノ手續ヲナスヘシ

前項ニヨリ收納ノ手續ヲナシタル後債務者指定ノ期間中ニ納付セサル場合ハ相當事由書ヲ徵シ當廳ニ送付スヘシ

第五條 債務者及保證人ノ住所身分ニ付テハ常ニ監視ヲ怠ラズ異動ノ時々直ニ當廳ニ報告スヘシ

第六條 貸付金ノ辨濟期限又ハ分賦額其ノ他契約ノ内容ノ變更ヲ要スルモノアルトキハ事實ヲ調査シ意見ヲ付シ知事ニ具申スヘシ

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

第七條 明治四十四年法律第五十八號第二條ニ該當スルモノ

ト認ムルトキハ其實事ヲ知事ニ具申スヘシ

時効其ノ他ノ事由ニ因リ債務消滅シタル場合亦同シ

第八條 貸付金臺帳ニ依リ毎年三月三十一日ニ於テ債務者資

力並生活ノ狀況ヲ實地ニ就キ調査シ其ノ現況ヲ臺帳ニ記入

スルト共ニ乙號ノ書式ニ依リ四月十日限リ當廳ヘ報告スヘ

甲號書式

年 月 日	借 務 原 因	編 入 年 月 日	金 額	辨 償 期 限	摘 要	住所 債務者 住所 保證人			
						收納金額	削除金額	未收入金額	

シ

附則

第九條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十九年十一月三重縣訓令甲第五九號ハ本令施行ノ日

ヨリ廢止ス

年 月 日	生活ノ狀態並時効中斷行爲ノ顛末						

續子爲スヘシ

第八條 出納官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シ日本銀行ニ於テ支拂ヲ拒絕セラレタルカ爲其ノ所持人ヨリ償還ノ請求ヲサタルトキハ出納官吏ハ之ヲ調査シ償還スヘキモノト認ムルトキハ事由ヲ詳ニシ證據書類ヲ添ヘ知事ニ具申スヘシ

第九條 出納官吏ハ歳入歳出外現金整理簿ヲ設備シ一口毎ニ其ノ顛末ヲ登記スヘシ

第十條 歳入歳出外現金整理簿ハ左ノ日ニ於テ登記スヘシ

- 一、現金ノ受入又ハ拂出ノ日
- 二、小切手ヲ發シタル日
- 三、歳入ニ納付シタル日
- 四、他ノ出納官吏ニ拂出シタル日
- 五、保管有價證券元利金ノ受入通知ヲ受ケタル日

(別紙)

歳入歳出外現金類別表

科	目	種	別
---	---	---	---

遺失金	遺失物賣却代	國庫拾得金	國民拾得金
警察署内拘留置人寄託金	拘留禁置人所持金	違警罪即決例ニ依ル保證金	國庫拾得元利金
保管有價證券元利金受入			國民拾得元利金

第十一條 會計規則第四百二十二條ノ計算書ハ毎年度經過後十五日以内同則第四百十五條ノ計算書ハ解職後十五日以内ニ官廳ヘ送付スヘシ

前項計算書ニハ大正十一年會計検査院達第一號計算出納規程第五十九條ニ據ル證據書類ノ外保管殘高ノ別仕譯書其會計規則第三百三十八條ニ依ル檢定書ヲ添付スヘシ

第十二條 拂出ニ屬スル證據書類中正當受取人ノ領收證書ヲ得難キモノニ限リ當該官吏ノ證明書ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第十三條 歳入歳出外ノ現金ハ別紙類別ニ依リ整理スヘシ

第十四條 歳入歳出外現金整理簿、人別仕譯書、受入決議書、拂出決議書及領收證書等ノ書式ハ別冊第一號乃至第四號ニ依ルヘシ

2.

遺失物賣却代

人民拾得物賣却代

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

年月日		摘要					受	拂	殘
明治	年	拾得届 出日	公告終 了日	期滿失 效日	顛末	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	
四	二	何所某拾 得品何個 何所某 賣却	何年何 月何日	何年何 月何日	何年何 月何日	0080		0080	

3.

警察署内留置人寄託金
拘禁人

留置人所持金
拘禁人

(別冊) 第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

年月日		摘要		受	拂	殘
明治	年	顛末		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
四	十五	某留置ニ付	何月何 日拂	0800		0800
何	何	某留置ニ付		1000		1800
何	何	某釋放ニ付			0800	1000

<p>歳入 歳出 外現金</p>	
<p>整 理 簿</p>	
<p>何 警 察 署</p>	

凡 例

一 本簿ハ各年度ヲ通シテ使用スヘシ

一 類別表ニ掲クル種別毎ニ口座ヲ別置スヘシ

一 帳簿更改シタルトキ新帳ヘ前帳ノ越高テ記入スルハ合計ヲ以テセス各人毎ノ金額ヲ以テ記入スヘシ此ノ場合ニ於テハ拾得届出年月日公告終了年月日等總テ當初記入シタル如ク明細ヲ示シ舊帳頭末欄内ニハ新帳ヘ越ト記スヘシ

一 毎年度及出納官吏交替ノ時ハ合計ヲ記入スルモノトス

一 保證金ハ警察署内拘留人寄託金、保管有價證券元利金受入ハ遺失金ノ例ニ準シ登記スヘシ

第一號書式

L.

遺失金

國庫拾得金

年月日	摘 要	受 拂		残
		圓 錢 厘	圓 錢 厘	
明治年				
四	官某何所ニ拾得何年何月何日	0100		0100
二	何官某何所ニ拾得何年何月何日	0050		0150
何	何官某何所ニ拾得何年何月何日		0100	0050
	追次締高	0150	0100	

明治何年何月末日(交替ノトキハ末日ヲ何日トス)歳入歳出
外現金保管殘高ノ別仕譯書
△印ハ朱書以下同シ

一金	國庫拾得金	人民拾得金	内 譯	拾得者又ハ 受入年月日	拾得届出又ハ 受入年月日	金	額	拾得者又ハ 氏名	拾得届出又ハ 受入年月日	金	額
○				何年何月何日	何年何月何日	○		某	何年何月何日	○	
○				何年何月何日	何年何月何日	○		△以上人民拾得金	何年何月何日	○	
○				何年何月何日	何年何月何日	○		合	何年何月何日	○	
○				何年何月何日	何年何月何日	○		計	何年何月何日	○	
○				何年何月何日	何年何月何日	○		△以上國庫拾得金	何年何月何日	○	
○				何年何月何日	何年何月何日	○		合	何年何月何日	○	
○				何年何月何日	何年何月何日	○		計	何年何月何日	○	
○				何年何月何日	何年何月何日	○			何年何月何日	○	
○				何年何月何日	何年何月何日	○			何年何月何日	○	
○				何年何月何日	何年何月何日	○			何年何月何日	○	

凡例

- 一 各種別トモ前例ニ倣ヒ現金整理簿ニ依リ殘高ヲ一人別ニ記載スヘシ
- 一 國庫拾得金及國庫拾得物賣却代ハ拾得者ヲ記入スルニ及ハス
- 一 遺失金、遺失物賣却代及保管有價證券元利金受入ハ拾得届出年月日ヲ其ノ他ハ受入年月日ヲ記入スヘシ

第三號書式(用紙美濃紙)

明治何年度

歳入歳出外現金受入決議書

此紙數何枚

何警察署

凡例

- 一 本書ハ各年度毎及出納官吏交替ノトキ新ニ調製スヘシ
- 一 本書ハ類別表ニ掲ケタル類別毎ニ口座ヲ設クヘシ
- 一 本書ハ受入ノ證據書トシテ會計検査院ヘ提出スヘシ
- 一 現金出納簿及整理簿ハ本書ニ據リ記入スヘシ
- 一 出納官吏交替ノトキハ表面何年度ノ下ニ其ノ管理期間(自何年何月何日)ヲ記入スヘシ
- 一 一日内數口子受入レタルトキハ一々檢印セス小計ヲ附記シテ之ニ檢印スルモ妨ケナシ
- 一 一葉毎ニ必ス追次縮高ヲ記入スヘシ此ノ縮高ハ前葉ノ金額ヲ算入スルハ勿論トス
- 一 小計及縮高ハ總テ朱記スヘシ
- 一 各年度完結ノトキ及出納官吏交替ノトキハ必ス末尾ニ總計ヲ朱記スヘシ
- 一 本書ニ記載スル金額其ノ他ノ數量ニシテ「一」、「二」、「三」、「十」、「廿」、「卅」ノ數字ハ「壹」、「貳」、「參」、「拾」、「貳拾」、「參拾」ノ字體ヲ用フヘシ
- 一 本書ノ記載事項ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス
- 一 記載事項ニ付訂正、挿入又ハ削除ヲ爲サムトスルトキハ二線ヲ劃シテ其ノ右側又ハ上位ニ正書シ其ノ削除ニ係ル文字ハ仍明ニ讀得ヘキ爲字體ヲ存シ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ出納官吏之ニ認印スヘシ
- 一 署長不在等ノ事故ニヨリ代理者決議ヲ爲ストキハ代理ノ旨ヲ明記スヘシ
- 一 保證金ハ警察署内留置人寄託金、保管有價證券元利金受入ハ遺失金ノ例ニ準シ登記スヘシ

遺失金 國庫拾得金 遺失物賣却代

署長即出 納官吏檢 印	年月日	摘要	主任印	拾得 届出日	公告 終了日	期滿 失效日	預金部へ預 入レ又ハ所 有者へ交付 月日	金額
△○		何官某何處ニテ拾得ノ分	△○	明治何年何月何日	同何年何月何日	同何年何月何日	同何年何月何日	〇一〇〇
△○		何官某何處ニテ拾得ノ分	△○	同	同	同	同	〇〇五〇
△○		△追次縮高	○					〇一五〇
△○		何處某拾得何品賣却シ易 キニ付何町某へ賣却受入	△○	明治何年何月何日	同何年何月何日	同何年何月何日	同何年何月何日	〇〇八〇
△○		何々	△○	同	同	同	同	〇〇〇〇

警署内留置人禁拘 託寄金

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

署長印	出納官	年月日	摘要	主任印	金額
△	○		某本日留置ニ付	△	○八〇〇
○	△		〃	○	一〇〇〇

四百五

人民拾得物賣却代

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

署長印	出納官	年月日	摘要	主任印	拾得日	公告日	失期日	金庫寄託者	金額

四百四

大正何年度

歳入歳出外現金拂出決議書及領收證書

此紙數何枚

何 警 察 署

凡例

- 一、本書ハ拂出ノ證據トシテ會計検査院へ提出スヘシ
- 一、本書ニ領收又ハ證明ノ認印ヲ徴セサルモノハ別ニ領收證書又ハ證明書ヲ徴シ拂出シノ順序ニ從ヒ之ヲ編纂シ壹通毎ニ番號ヲ朱記スヘシ但シ印章ヲ所持セサルモノハ捺印セシメ其ノ理由ヲ附記セシムルコトヲ得
- 一、右ニ掲クルモノノ外ハ總テ受入決議書書式凡例ニ準據スヘシ

遺失金 國庫拾得金
(警署内留置人禁拘 警署内留置人禁拘)

印納署長印出官吏檢	年月日	摘	要	主任印	金額	受取人、證明官吏記名捺印又ハ事由
△○	大正何年何月何日	大正何年何月何日受入何官某拾得ノ分遺失者何某へ	大正何年何月何日受入何官某拾得ノ分	△○	〇 貳〇〇	別紙領收證第一號
△○	大正何年何月何日	大正何年何月何日受入何官某拾得ノ分滿期ニ付歳入へ	大正何年何月何日受入何官某拾得ノ分	△○	〇 〇五〇	別紙日本銀行通知書第何號
△○	大正何年何月何日	大正何年何月何日受入何官某拾得ノ分小切手第何號	大正何年何月何日受入何官某拾得ノ分	△○	〇 參〇〇	別紙領收證第二號
△○	大正何年何月何日	留置人某釋放ニ付		△○	壹〇五〇〇	某 △○
△○	大正何年何月何日	留置人某何監獄へ押送ニ付		△○	〇 八〇〇	別紙領收證第一號
△○	大正何年何月何日	留置人何某何裁判所へ押送ニ付(領收證書ヲ得難ニ付押送巡査證明)		△○	〇 八〇〇	巡査某 △○
△○	大正何年何月何日	留置人何警察署へ押送ニ付		△○	〇 五〇〇	別紙領收證第二號

●國庫費證書整理順序

(明治三十一年六月十四日)
(訓令甲第四十八號)

郡市役所
警察署
同分署
監獄支署
町村役場

明治二十三年(四月)本縣訓令甲第三十七號國庫費證書整理順序左之通改定ス

國庫費證書整理順序

第一章 總則

第一條 凡國庫費ニシテ本縣ニ於テ仕拂命令ヲ發行スヘキ金員ニ對スル證據書類ハ總テ此順序様式ニ據リ整理スヘシ

第二條 債主又ハ其代理人ニ於テ金員ノ支出ヲ請求スルトキハ書式ノ如ク目若クハ箇ニ區分シタル仕譯書ヲ調製シ差出スヘシ尙證書ノ内譯ハ本文仕譯書ト同一ノ書面ヲ作り請求

ノ際同時ニ差出スヘシ (様式ハ別冊)

俸給諸給(旅費ヲ除ク)恩賞諸給若クハ郵便稅(經替拂ヲ除ク)等ノ仕譯書ハ前項ニ準シ各擔任ノ官吏(履歷書證書等ノ任免ヲ取扱)ニ於テ調製スヘシ

仕譯書ハ當該部長警長課長所長(土木工區出張所ハ首席者)ニ於テ其確實ヲ證スル爲メ之ニ認印スヘシ

第三條 仕譯書ハ送金ヲ要スルモノト直接拂ト各別紙ニ調製スヘシ

第四條 證據書類ニ押捺スル印章ハ其職務上ニ係ルモノハ官印又ハ職印其他ハ實印檢印ニ限ル若シ印章ナキモノハ花押又ハ捺印ヲ以テ代用スルヲ得ルト雖トモ其場合ニ於テハ氏名ノ傍ニ其事由ヲ記入スヘシ

第五條 證據書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスヘシ

第二章 仕譯書及證據書

第六條 俸給其他給與ニ屬スル支出ニシテ任免黜陟及缺勤等ノ事故ニ依リ給額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其事由及年月日ヲ仕譯書ニ付記スヘシ

奏列任文官ノ新任者退官賜金ヲ受ル退官者ニ對シテハ其履歷書新任者ニハ尙其資格ヲ認ムヘキ證書等ノ謄本ヲ添付シ轉任昇級者ニ對シテハ各前級發令ノ年月日ヲ仕譯書ニ記入スヘシ

仕拂期限ノ定リタルモノニシテ其期限ニ先タチ若クハ後レテ支出ヲ爲シタルモノ又ハ轉任死亡退職等ノ事故ニ依リ支給ヲ止メタルモノアルトキハ其事由ヲ仕譯書ニ記入スヘシ

第七條 諸手當其他賞與慰勞勞金等ハ其仕譯書ニ各其事由ヲ詳記シ特例ニ屬スルモノアルトキハ其事由ヲ確認スヘキ當該上官ノ決議書類ヲ添付スヘシ

第八條 旅費ノ仕譯書ニハ其用務年月日及旅行日數宿泊數里程等ヲ詳記シ實費拂ヲ要セシトキハ其正當領收證書ヲ添付スヘシ

迂路ヲ經テ旅行セシモノ又ハ病氣滞在其他ノ事故ニ依リ公

務外ノ日數ヲ要シ若クハ旅費ノ實費拂ヲ要シタルトキハ當該上官ノ認許書ヲ添付スヘシ

第九條 徵兵旅費ノ仕譯書ハ年月日發着地名宿泊並ニ滞在日數里程實費等ヲ詳記スヘシ

實費拂ニ係ルモノハ正當領收證書ヲ添付スヘシ若シ正當領收證書ヲ得難キ場合ニ於テハ其金額事由ヲ詳記シタル當該官吏ノ證明書ヲ添付スヘシ

徵兵旅費規則第三條ニ依リ車馬賃ノ支給ヲ要スルモノハ其癘疾不具ニシテ歩行スルコト能ハサルコトヲ認定シ得ヘキ市町村長ノ證明書ヲ添付スヘシ

川留雪支等ニテ旅行途中ニ滞在シタルトキハ其地市町村長ノ證明書又入營ノ途中疾病ニ罹リ車馬ヲ要シ若クハ滞在シタルトキハ付添吏員ノ證明書醫師ノ診斷書等ヲ添付スヘシ

第十條 概算支出ニ係ル不足金ノ追給或ハ過剩金ノ戻入若クハ過不足ヲ精算書等ハ其ノ積算ノ全部及歲ニ領收セシ金額ノ對比計算並ニ當初領收セシ年月日ヲ記載スヘシ

本拂ノ違算ニ係ル不足金ノ追給或ハ過剩戻入仕譯書モ亦前

項ニ準ス

第十一條 物品購買ニ關スル仕譯書ニハ每品ノ種類個數斤量及單價ヲ掲ケ個數ニ付價格ヲ定メタルモノハ其個數ニ對スル價格ヲ示シ又割引ニ係ルモノアルトキハ其旨ヲ記シ且所用ノ目的ヲ付記スヘシ

仕譯書ニハ物品出納簿ニ登記濟ノ年月日ヲ記載シ又購買ノ際直ニ消費シ物品出納簿ニ登記セサルモノアルトキハ其事由ヲ記スヘシ

第十二條 諸拂戻及缺損補填金ハ其決定ヲ達シタル年月日支出ヲ要スル事實ノ生シタル年月日支出ノ請求ヲナシタル年月日及支出ヲ要スル事由計算ノ基ク處ヲ詳記スヘシ

第十三條 恩賞諸祿ハ其年額渡期受領者ノ舊官等又遺族ニ係ルモノハ其權利起因ノ人名等其他受領者ノ轉入出權利ノ停止消滅及復給アルトキハ其年月日及事由ヲ詳記スヘシ

一時限リ給與ノモノハ其辭令書ノ贈本ヲ添付スヘシ
第十四條 左ノ事項ニ該當スルモノハ主任官吏ニ於テ仕譯書ノ餘白又ハ別紙ニ其事由ヲ付記スヘシ

一 検査上批難ヲ受ケタル事項ニ對シ更正又ハ追給ヲナストキハ其事由

二 誤拂過渡若クハ前金渡概算拂ノ返納ニシテ歳入ニ編入シ又ハ編入スヘキモノアルトキハ其金額及事由

三 過年度ニ屬スル經費ヲ支出スルトキハ其所屬年度及事由

四 各地各所ニ於テ使用セシモノハ其地名又ハ廳名

第十五條 官吏出張先ニ於テ使用セシ人足賃又ハ物品代價ヲ繰替ヘ仕拂ヒタルトキハ其繰替金仕譯書ニ正當領收證書ヲ添付スヘシ

第十六條 前條ノ外臨時特殊ニ係ルモノアルトキハ本屬長官ノ命令書認許書又ハ仕拂命令官ノ決議書等ヲ各主任ニ於テ添付スヘシ

第三章 證書

第十七條 支出金ニ對スル領收證書ハ債主又ハ其代理人ノ領收證書ヲ徵スヘシ

第十八條 領收證書ニハ仕拂命令ニ記載セル番號ヲ記スヘシ

第十九條 郵便稅其他事實正當領收證書ヲ得難キ場合ニ於テハ其理由ヲ詳記セル主任官吏ノ仕拂證明書ニ當該上官ノ認印アシモノヲ以テ代用スヘシ

第二十條 證書ノ字體及印影ハ明瞭ナルヲ要ス其金員ハ一、二、三、十、廿、卅等ノ數字ヲ用ユルヲ得ス若シ誤記脫字等アリ訂正ヲ要スルトキハ其全項ヲ朱抹シ傍ニ正字ヲ記入シ債主又ハ其代理人氏名ノ下ニ押捺セシモノト同一ノ印章ヲ以テ之ヲ證印スヘシ

第二十一條 正當受取人事故アリ代理人ニ於テ領收セシトキハ其肩書ニ正當受取人ノ氏名並ニ代理人ノ住所氏名ヲ記載

國庫證書整理順序様式

神社費ノ部

仕拂命令番號

招魂社費仕譯書

一金何程

但明治何年月日招魂例祭ニ付祭祀料

招魂社受持神官 何

某印

仕拂命令番號

國幣社例祭幣帛料仕譯書

第六編 財務ノ第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

收支

スヘシ

第四章 雜則

第二十二條 此様式ハ普通ノ類例ヲ示スモノナルヲ以テ若シ之レニ據リ難キモノアルトキハ適實ノ方法ヲ以テ支出必要ノ事由又ハ其計算ノ基ク處ヲ示シ事ノ複雜ニ涉ルモノハ明細書ヲ添付スヘシ

第二十三條 證書書類ハ許多ノ紙數ヲ裝釘スヘキモノナルヲ以テ綴込ニ必要ナル餘白一寸以上ヲ存スヘシ
證書及付屬書ハ半紙又ハ之ト同形ノ用紙ヲ以テ調製スヘシ

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

四百十二

仕拂命令番號	一金何程	參向主任官氏	名印
	但明治何年月日何神社例祭ニ付幣帛料何神社へ献納スヘキ分		
何幣社保存費仕譯書	但明治何年自何月保存費	何々神社官司何	其印

集治監費ノ部

明治何年何月中囚徒在監費明細表

囚員	前月ヨリ越人員	入監日	出監日	在監延日數	金
四	二	〇	五	十	金何程
一	〇	十	十五	六	金
一	〇	二十七日	〇	五	金
合計				二十一	金

右金額正ニ支拂候也

年月日

典獄氏

名印

囚徒移轉致仕譯書

事由 已決囚何某三重縣何地ヨリ東京假留監へ護送ニ付何地何々ヨリ
由 何地何々マテ遞傳途中費

摘	要	年月日	地	名	種	類	員	數	一個當	小計
汽車(汽船)	費	何年月日	何	地	一泊(晝)	何	何	一人	金	金何程
醫師履給			何	地	囚人某疾病ニ付診察	何	何	一度	金	金
繩取履給			何	地		何	何	金	金	金
不寢番履給			何	地	囚人宿泊ニ付	何	何	一人	金	金

備考 一囚人ノ汽車汽船等ノ實費ニ係ルモノハ一個當ノ部ハ記入ヲ要セス

二移轉ニ付需用品ヲ要スル場合ハ廳費部類ノ例ニ依リ仕譯書ヲ別紙ニ調製スルモノトス

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

四百十三

俸給及諸給ノ部

仕拂命令番號		勅任俸給仕譯書		現金支給高 國庫納金引去高	
一金何程		此譯			
種類及摘要		年月又ハ員數	價格又ハ金額	計金又ハ氏名	
知事年俸何程		何年何月分	金	何程	何
判任俸給仕譯書					
一金何程		(何某外何名代理)			
(前掲ノ様式ハ前ニ同シ)		(何 某)			
屬	何級俸	何年何月分	金	何程	何
同	何圖俸	〳	〳	〳	〳
					某

備考

一 俸給仕譯書ハ官等若クハ給額ニ順次ニ記載シ任免黜陟等ノ事故アルニ非ラサレハ前月ト人名ノ順次ヲ變更スヘカラス

二 本廳外ニ在勤スル者ハ其人名ノ肩書ニ在勤地名ヲ記載スヘシ

三 任免黜陟等事故アルトキハ左ノ例ニ準シ但書ヲ付スヘシ

何年月日本縣何官何級俸拜命別紙履歷書之通

何官何級俸(發令何年月日)ノ處何年月日何級俸ニ増給

某縣何官何級俸ノ處何年月日本縣何官何級俸ニ轉任

何年何月ヨリ病氣引籠ノ處何年月日滿九十日ニ付何日ヨリ月給半額

何年月日依願免官

退官賜金仕譯書		何郡市町村大字	
何官(月俸何程)ノ處諭旨免官 ニ付一時賜金別紙履歷書ノ通	在官年數何ク年	金	何程
死亡賜金仕譯書		何郡市町村大字	
何官何級俸何某奉職中 何年月日死亡	月俸三ヶ月分	金	何程
		故何某遺族何某	

仕拂命令番號

器具代仕譯書	何郡市町村大字	某
一金何程	何	某
此譯		
種類及摘要	年月又ハ員數	價格又ハ金額
何々椅子新調	何	脚一 脚金
何年月日物品出納簿(登記簿)	(以下物品購買ノ仕譯書之ニ準ス)	計金又ハ氏名
雜品代仕譯書		何
綴	糸何	何
圖書購買費仕譯書	何々新聞	何年何月分何枚
		一ヶ月
備考		
	一 新聞紙等休刊又ハ代價ノ増減アルトキハ左ノ例ニ準シ但書ヲナスヘシ	
	何月日ヨリ何日マテ休刊ニ付何月中ハ何枚金何程尤一ヶ月中何回發兌金何程ノ割	

製本費仕譯書	何書編冊	何冊	壹冊	金
印刷費仕譯書	何々印刷	何部	壹部	金
用紙代仕譯書	美濃野紙	何帖	壹帖	金
諸帳簿代仕譯書	何々帳簿	何冊	壹冊	金
筆墨印肉類代仕譯書	朱	何肉	壹	金
硯小道具類代仕譯書	算	何盤	壹面	金
薪炭油類代仕譯書	炭	何	壹貫	目金

種類	及摘要		年月又ハ員數	價格又ハ金額	計金又ハ氏名
蠟	燭	何	何	何	何
郵便電信料仕譯書					
何郡市町村					
何郵便電信局(官何某印)					
一金何程					
此譯					
種類	及摘要		年月又ハ員數	價格又ハ金額	計金又ハ氏名
本應用郵便切手	何		何	何	何
何月中何地出張中使用 用紙替拂郵便切手	何		何	何	何
出張先ニ於テ購入直ニ消費ニ付物品出納簿へ登記セス					
運搬費仕譯書					
年月日	發送所	里程	品目個數	量目	運賃事由
何年何月何日	何所	何里	何何個	何貫目	金、金、金、金、(配達料)
同	何地某	同上			何々ニ付、何割増

仕拂命令番號

木杯製造費仕譯書

何郡市町村大字

何 某

一金何程 此譯

種類	及摘要		年月又ハ員數	價格又ハ金額	計金又ハ氏名
第何(組)木杯	何(組)		壹(個)	金	金

賞賜金仕譯書

何郡市町村大字

何 某

一金何程

但明治何年何月何日何地何川ニ於テ何郡何某ノ投身シ死ニ瀕セントスルヲ認め自己ノ危難ヲ願ミス之ヲ救助シタル段奇特ニ付明治何年何月何日何々規則ニ依リ頭書ノ通リ下賜但何年月日付

備考 一令逸ニ據リ賞詞ノ事由ヲ但書ニスヘシ

一警察賞與仕譯書モ之ニ做フ

備考 六週間現役兵入營及検査不合格ニテ歸郷ノ旅費ハ其旨但書ニ付記スヘシ

恩賜及救助費ノ部

仕拂命令番號

吊祭料仕譯書

何郡市町村大字

何

某

一金何程

此譯

種類及摘要 年月又ハ員數 價格又ハ金額 計金又ハ氏名

吊祭料 何年月日 金

備考 下賜ノ事由等但書ニスヘシ

明治何年 自何月 至何月 窮民救助米代仕譯書

何某外何名代理

(何

某印)

一金何程

此譯

年 額 前月下米 救助米代 金 住 所 氏 名

米 何石 金 何程 米 何斗 金 何程 郡市町村大字 何 某

米 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

米 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

但明治何年月日死亡ニ付何月分云々

但貧困ニシテ父母共ニ没シ他ニ保育スヘキ者無之ニ付何年月日ヨリ施與云々

備考

一 新ニ施與シ又ハ支給ヲ止メ若クハ其給額ニ異動ヲ生シタルトキハ但書ヲ付スヘシ

二 救助米一日宛ノ分ハ(自何月至何月)ヲ何月分(年額)ヲ日額トシ別紙ニ調製スヘシ

明治何年 自何月 至何月 棄兒養育米代仕譯書

(何某外何名代理)

(何 某印)

一金何程

此譯

年 額 前月下米 養育米代 金 棄兒氏名 年 齡 養育人

壹石代價 養育米代 金 棄兒氏名 年 齡 養育人

壹石代價 養育米代 金 棄兒氏名 年 齡 養育人

米	何	斗	金	何	程	氏名何年何月生何月ニテ何年何ヶ月	住何所
い	い	い	い	い	い	い	い
い	い	い	い	い	い	い	い
い	い	い	い	い	い	い	い
い	い	い	い	い	い	い	い
い	い	い	い	い	い	い	い

但明治何年月日何郡市町村大字何地ニ於テ拾上ク(何々)ニ付何年月日ヨリ施與
備考
一 新ニ施與シ又ハ支給テ止メ若クハ其給額ニ異動ヲ生シタルトキハ但書ヲ付スヘシ
一 年齢ヲ算スルニハ支給相當月ノ最終月ヲ以テスヘシ

難破船費ノ部

仕拂命令番號		證明書		雜費モ此式ニヨリ調製スヘシ	
一金何程	内	難破船費	諸	給	
金何程		雜	費		
金何程		市町村費支辨ノ分			
外金何程					

但別紙仕譯書ノ通金員正ニ支拂タルニ相違ナシト雖該正當領收證書ハ市町村費ト混同併記セルヲ以テ別ニ國庫費ノミニ屬スヘキ證書ハ無之

右證明候也
年月日

難破船費諸給仕譯書

種	類	員	數	價	格	員
保安	給物	何月日ヨリ何日迄延何晝夜	一晝夜	金何程	金何程	
醫師	給料	何	度	分	金	
救助	用人足	何	人	金		
乘組	溺死人	何	人	金		
搜索	用人足	何	人	金		

但明治何年月日遭難ニ係ル分

難破船費雜費仕譯書

支 出 區 分	種 類	員 數	價 格	員
船主荷主ヨリ支辨スヘキ處大難破ニテ保安物賣却金不足ニ付國庫費	保安物小屋掛用葺	何 枚	一枚金何程	金何程
同	竹同	何 本	一本金、	金、
同	保安料			金、
船主荷主ヨリ支辨スヘキ處大難破ニ付國庫費	但保安物代金何圓ノ何分一金何程ノ内何程ハ保安物賣却代ニテ支辨シタル不足高	何 尺	一尺金、	金、
同	同藥	何 程	何貼金、	金、
同	救助用小舟備賃	何 艘	一艘金、	金、
同	乘組溺死人埋葬料巾僧	一 人		金、
同	棺桶棉共上	何 個	一個金、	金、
同	半紙	何 帖	一帖金、	金、
同	郵便切手	何 枚	何錢切手	金、

一金何程 此譯

何 何 何 何 何

某 某 某 某 某

但明治何年月日遭難ニ係ル分

難破船事情取調書

種 別	事 由
船主地名人名	何國郡市町村何某
船 號 船 種	何々丸日本形何反帆何石積(西洋形帆走船何噸積)(汽船何噸積何馬力)
乘 組 人	何國郡市町村何某外何名
遭 難 場 所	何國郡市町村沖合(何港碇泊中)(何所拔錨何國何地(航海中何所沖合))
同 上 年 月 日	明治何年月日
難 破 情 況	大難破ニシテ船體積荷ヲ併セ悉皆沈没云々

警察費連帶支辨金ノ部

仕拂命令番號

警察費連帶支辨金假受仕譯書

一金何程

出納吏 何

某 某

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

但何年月分相當警察費連帶支辨金假受	何年度警察費決算高
警察費連帶支辨金假受精算書	請願巡查費控除
一金何程	
內	
金何程	
差引金何程	
此六分ノ一金何程	
一金何程	
內	
金何程	
差引金何程	
此六分ノ一金何程	
計金何程	
一金何程	
一金	
計金何程	
外金何程	
何年度國庫下渡金	寄付金
何年月日仕拂命令第何號ニテ假拂	
	精算高
	本拂ノ分

旅費ノ部

右之通	出納吏 何 某
年月日	

仕拂命令第 號 內國旅費仕譯書

事由	課署名	何部署何課
由	官姓名印	官 氏 名
何々用ニ付何地外何ヶ所へ出張		
一金何程	精算高	
此譯		
金何程	車馬賃何里一里金何程	
金何程	汽車賃何哩一哩金何程	
金何程	汽船賃何海里一海里金何程	
金何程	日當何日一金何程	
金何程	宿泊料何夜一夜金何程	
金何程	實費	
金何程	在勤廳所在地巡回車馬賃何日一金何程	

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

年月日	發著地名	陸路々程	汽車路程	汽船路程	日數	宿泊數
明治何年何月何日	縣廳出發何地	何里何丁			日	數
同何日	右發何地著		何哩		日	日
同何日	何地滞在				日	日
同何日	右發歸廳	何里何丁	何哩	何海里	日	日
計		何里何	何哩	何海里	何日	何日

備考

- 一 旅行中ノ旅費ヲ數度ニ分割請求スルトキハ其前旅行票ノ端里數ハ合計ノ次項ヘ記載シ現旅行票ノ里程ト併算スヘシ
- 二 數度ノ旅行ニ對スル旅費ヲ一旅行票ニ連揭スルトキハ一出張毎ニ區分シ路程日數等トモ記載スヘシ
- 三 一日ノ行程中普通旅行ト急行實費ト跨ルトキハ各其路程ヲ區分シテ記載スヘシ
- 四 一里未満ニシテ宿泊シタルトキ若クハ普通ノ旅行日數ヨリ延著シタルトキハ其事由ヲ付記スヘシ

仕拂命令第	號	內國旅費仕譯書
由事	何々ニ付何地外何ヶ所巡回	
	課署名	何署何課(何々分署)
	官姓名印	官氏 名

此譯

金何程
金何程

區内日當何日一日金何程
區内宿泊何泊一泊金何程

年	月	日	發著地名	陸路路程	汽車路程	汽船路程	區内日數	區内宿泊數
明治何年何月何日			發著何地著	何里何丁			日	日
何月何日			右發何地著	何里何丁			日	日
何月何日			右發何地ヲ經テ歸署		何哩		日	日
計				何里何	何哩	何海里	何日	何日

備考 前同上

(旅費假拂請求ノ例)

仕拂命令第	號	內國旅費假受仕譯書
由事	何々用ニ付何地外何ヶ村へ出張	
	課署名	何部署何課
	官姓名印	官姓名

一金何程
此譯

豫定高

金何程
 金何程 車馬賃何里一里金何程
 金何程 汽車賃何哩一哩金何程
 金何程 汽船賃何海里一海里金何程
 金何程 日當何日一日金何程
 金何程 宿泊料何夜一夜金何程
 此豫定高ニ對スル七分金何程

年月日	發著ノ地名	陸路々程	汽車路程	汽船路程	日數	宿泊數

備考

- 一 經過ノ順路及旅行日數宿泊數等ヲ詳記スヘシ
 二 七分金ハ四位ニ止ムヘシ

(假受金精算ニ際シ不足金追給ノ例)

仕拂命令第 號 內國旅費仕譯書	課署名	何部署何課	名
由 事 何々用ニ付何地外何ヶ村へ出張	官姓名印	官姓	名 ^(印)
假受金何程	何月何日受取		
內 金何程	何月何日受取		
外金何程	追給ノ分		
一金何程	精算高		
此譯			
(以下總テ前例ニ據ルモノトス)			
(假受金過剩アルトキ戻入ノ例)			
仕拂命令第 號 內國旅費仕譯書	課署名	何部署何課	名
由 事 何々用ニ付何地外何ヶ村へ出張	官姓名印	官姓	名 ^(印)

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支
假受金何程

内金何程

一金何程

此譯

以下總テ前例ニ據ルモノトス

旅行中實費拂ニ對スル正當領收證書ノ例

證

一金何程

但何月何日何地ヨリ何地迄里程何里何丁急行人力車壹輛分
(又ハ海上何里渡船賃)(又ハ何々)

右正ニ領收候也

年 月 日

何月何日受取

過剩ニ付返納スヘキ分

精 算 高

何郡市町村大字

何

某 ㊦

雜給及雜費ノ部

仕拂命令番號

雇員給仕譯書

一金何程

此譯

種類及摘要 年月又ハ員數 價格又ハ金額 計金又ハ氏名

雇月給何程 何年何月分 金 何 某

同日給何程 勤何年何月中 金 何 某

備考

一雇入雇解其他事故アルトキハ但書ニスヘシ
一巡視給仕小使給料仕譯書モ之ニ倣フ

人足賃仕譯書

何郡市町村大字

何

某 ㊦

一金何程

此譯

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

種類及摘要	年月又ハ員數	價格又ハ金額	計金又ハ氏名
御用狀人足何地ヨリ何地マテ	年月日 一人 何里	一里 金 何程 金 何程	何 程
(物品運搬人足賃ノ書式ハ左ノ例ニ據ル)			
何品何個何地ヨリ何地マテ運搬	年月日 何里	一里 金 何程 金 何程	何 程
(廳中持除人足又ハ職工備賃等ノ書式左ノ例ニ據ル)			
何々用人足	自何日何至何日何	日 一日 金 金	金
何々用職工	何	人 一人 金 金	金
備考			
一書狀持夫ハ里程ニ據リ賃錢ヲ算出シ若シ一里未滿ナルトキハ一丁當リノ賃錢ヲ揚クヘシ但一里未滿端里數ノ賃錢ヲ要セサルトキハ其事由ヲ但書ニスヘシ			
寫字料仕譯書		何郡市町村	某
一金何程	此譯	何	某
種類及摘要	年月又ハ員數	價格又ハ金額	計金又ハ氏名

何々贈寫料	何	枚	一枚 金 何程 金 何程
諸謝金仕譯書			
何々取調方委託ニ付何々謝金	何年月日 達	金	何地 何某
家屋其他借料仕譯書			
何々用ニ付賃料	自何月何日何日分	一ケ年(一ケ月又ハ一日) 金	金
廣告料仕譯書			
何々廣告料	自何月何日至何月何日	何	一行何字 詰何行 一回 金
諸手數料仕譯書			
何々何處ヨリ何處ヘ送金手數料	何年月日	一回 金	金
舟車馬類備賃仕譯書			
何車備料	何月何日 何輛	一輛 金	金
但何々用ニ付何地ヨリ何地迄往復			
賄費仕譯書			
一金何程			(何某外何人代理) 某印

月日	宿直	徹夜勤務	金額	官氏名
何月何日	一		〇円七〇	何官何某
同何日		一	〇円一〇五	、 、 、
合計			〇円一七五	

機密費仕譯書

知事 何 某

恩賞諸祿ノ部

仕拂命令番號

種類及摘要	年月又ハ員數	價格又ハ金額	計金又ハ氏名
賞勳年金(旭日)			
金鷄(勳章)年金仕譯書			
一金何程			
此譯			

明治何年(上下)半期分

年額	支給高	元官職等功級	住	所	氏名
二四〇〇〇	一二〇〇〇	(陸海)軍大尉勳何等(功何級)	何	何郡市町村大字	何某
此譯					
文官恩給	文官恩給仕譯書				
一金何程					
此譯					
文官恩給	文官遺族扶助料仕譯書				
一金何程					
此譯					
文官恩給	文官一時賜金仕譯書				
一金何程					
此譯					
年額	支給高	元官職名 <td>住 <td>所 <td>氏名</td> </td></td>	住 <td>所 <td>氏名</td> </td>	所 <td>氏名</td>	氏名
六〇〇〇〇	一五〇〇〇	故何縣屬何某寡婦	何	何郡市町村大字	何某

金	額	元	官	職	名	住	所	氏	名
一〇〇〇〇〇					何某寡婦	何郡市町村大字		何	某

備考

- 一 恩給金仕譯書ハ目毎ニ別紙ニ調製スヘシ
 - 二 新ニ他縣ヨリ轉入シ又ハ他縣へ轉出セシモノアルトキハ其事由年月日ヲ但書ニスヘシ
 - 三 新ニ支給スルモノハ退官又ハ起算等ノ年月日及許可ノ年月日ヲ但書ニスヘシ
 - 四 死亡又ハ停止ニ據リ支給額ニ異動ヲ生シタルトキハ其事由及年月日ヲ但書ニスヘシ
 - 五 第二ヨリ第四ニ至ル仕譯書ハ繼續支給ノモノト各別紙ニ調製スヘシ
 - 六 一時賜金仕譯書ニハ辭令書ノ寫ヲ添付スヘシ
- 諸拂戻及缺損補填金ノ部

仕拂命令番號

諸收入拂戻仕譯書	何郡市町村大字	何	某
一金何程	此譯		
下戻ノ事實ヲ生セシ年月日	科	目	種類及員數
			一ヶ年料金
			下戻金
			事由

何年月日	地所貸下料	荒蕪地 何反畝歩						何年分料金納入ノ處 該地所ノ何年何月何日 水害ノ爲流下ニ付何 年月分ヨリ下戻
何年月日請求								
何年月日下戻決定ノ分								

備考

- 一 請求ノ年月日ハ本人ニ於テ記入スルモノトス
- 一 下戻決定ノ年月日ハ當該主任ニ於テ記入スルモノトス
- 一 下戻ノ事實ヲ生セシ年月日ハ流失セシ當時ノ年月日トス
- 一 事由ノ欄ニハ其下戻ヲ要スル事由及計算ノ基ク所ヲ掲ケ下戻金ヲ算出シ得ヘキ様詳記スルモノトス

諸收入誤納下戻仕譯書

何郡市町村大字

何

某

〇

一金何程
此譯

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

四百四十二

下戻ノ事實ヲ 生セシ年月日	科	目	種類又ハ員數	下 戻 金	事	由
何年月日	物品拂下代	砂利	何坪			金何程納ムヘキノ處何程納付ニヨリ差引過納ノ分
〃〃〃〃	地所貸下料	濱洲	何町步			何年度分納付ノ處何々ニ依リ誤納ニ付下戻
何年月日請求						
何年月日下戻決定ノ分						
備考						
一 下戻ノ事實ヲ生セシ年月日ハ納金ノ年月日ヲ記入スヘシ						
一 以下總テ前例ニ據ルモノトス						
缺損補填金仕譯書 一金何程 但 年月日何地ニ於テ何々ノ事由ニヨリ缺損 何年月日請求 何年月日補填決定ノ分 官氏 名 印						

小學校教員年功加俸ノ部

集合仕拂命令
番號

金額氏名 番號	勤續年數 五年一ヶ月 以上	本俸月額	加俸月額	支給期月 何何 月分年	在職校名 何尋常高等 小學校	種 別	氏 名
〃〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	正教員	何某
〃〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	准教員	何某
〃〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	正教員	何某
〃〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	准教員	何某

此譯 內金何程 正教員 准教員

小學校教員年功加俸仕譯書
何某外何名代理
何郡市町村大字
何 某

(自費繰替金請求ノ例)

仕拂命令番號

一金何程	何々費繰替金仕譯書
但何年月日ヨリ何月日マテ何々ニ付何地出張中何費繰替金	

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

四百四十三

備考

繰替金仕譯書ニ添付スヘキ正當領收證書及仕譯書様式ハ前各項ニ準スルモノトス

(直接拂ニ係ル領收證書ノ例)

仕拂命令第何號	何郡市町村	某
一金何程	何	某
但別紙仕譯書ノ通	何	某
右領收候也	何	某
年月日	何	某
(代理人ニ於テ領收スルトキ記名ノ例)	何某代理	何
	何郡市町村大字	何
	何	某

人取受

何郡市町村

某

(證明書ノ例)

證明書	郵便稅(何々)
一金何程	
但別紙仕譯書何通分	
右正ニ仕拂タルニ相違無之ノ處事實證書ヲ得難キモノニ付茲ニ證明候也	
年月日	何官氏
	名

●國庫ニ關スル會計検査手續

(明治三十三年三月六日
訓令甲第二十三號)

郡市役所
警察署
同分署
監獄支署

國庫ニ關スル會計検査手續ハ特ニ規定アルモノノ外明治三十三年(三月)三重縣訓令甲第十五號ヲ準用ス

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

●警察署内ノ留置場ニ拘禁スル在

監人ニシテ司法省所管ニ屬スヘキ者ノ所持スル金錢物品取扱方

(明治三十五年二月二十五日
訓令甲第十號)

警察署
同分署

警察署内ノ留置場ニ拘禁スル在監人ニシテ司法省所管ニ屬ス

四百四十五

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支
 ヘキ者ノ所持スル金錢物品ハ從來ノ規程ニ依リ内務省所管ノ
 分ト分離シ之ヲ取扱フヘシ但シ現金出納簿ハ所管廳毎ニ分離
 ナラセス混記スヘシ

●監獄費ヨリ償還ヲ要スル金額請
 求方等ノ件

(明治三十五年四月八日)
 (訓令甲第三十四號)

附則 大正二年二月訓令甲第四號改正

警察署
 同分署

明治三十五年(二月)法律第十一號及明治三十五年(三月)司法
 省令第四號ニ依リ監獄費ヨリ償還ヲ要スル金額ハ三箇月毎ニ
 取纏メ安濃津監獄ヘ請求シ之ヲ雜收入ヘ收納スヘシ

●海軍召集諸費取扱細則

(大正十一年十二月五日)
 (訓令甲第三十八號)

郡役所

四百四十六
 市役所
 警察署
 同分署
 町村役場

海軍召集諸費取扱細則左ノ通改正ス
 海軍召集諸費取扱細則

第一條 郡市長、警察署長、分署長ヲ含ム其ノ所轄内ニ於ケル
 充員召集ニ要スル雜費ヲ計算シ海軍召集諸費支出規程第二
 號様式ニ準據シ其ノ算出ノ基礎ヲ明記シタル概算表ヲ作り
 毎年一月末日迄ニ當廳ニ送付スヘシ
 前項概算表ニハ充員召集一回ニ要スル經費ヲ計上スルモノ
 トス但シ前年ノ概算額ニ比シ著シク増減アルトキハ備考ニ
 其ノ理由ヲ附記スヘシ
 第二條 主任出納官吏召集雜費ノ資金前渡ヲ爲シタルトキハ書
 式第一號ノ前渡資金明細仕譯書ヲ分任出納官吏ニ送付スヘシ
 前項資金前渡ニシテ電信ヲ以テ送金ヲ爲ス場合ニハ同時ニ
 左ノ略號ヲ用ヒ通知ヲ爲スモノトス

略號 原語
 カリ 吏員旅費
 カユ 郵便電信料
 カシ 使丁賃
 テソ 電送セリ其ノ他日本銀行代理店ニテ受
 取ラレタシ
 ミシ 三重縣廳主任出納官吏
 金額ハ總テ數字ノミヲ用ヒ其ノ末位圓止ナルトキハ「エン」
 錢止ナルトキハ「セン」ト附記ス

例 カリ一〇〇エン、カユ五〇エン、カシ三五エン、ケ
 イ一八五エンテソ(發信人欄)ミシ

第三條 分任出納官吏前條ノ前渡金ヲ受領シタルトキハ直ニ
 受領證ヲ主任出納官吏ニ送付スヘシ但シ電信送金ノ場合ハ
 電信ヲ以テ其ノ旨返信スヘシ

第四條 分任出納官吏召集事務完結後其ノ前渡ヲ受ケタル資
 金ニ殘額アルトキハ速ニ書式第二號ニ依ル前渡資金返納書
 ニ現金、金券又ハ預託金支拂通知書ヲ添ヘ主任出納官吏ニ

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

返納スヘシ
 主任出納官吏前項返納金ヲ受領シタルトキハ之カ領收證ヲ
 分任出納官吏ニ送付スヘシ
 第五條 分任出納官吏前渡資金中目節ノ流用ヲ要スルトキハ
 之ヲ專行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ書式第三號ノ
 前渡資金増減報告書ヲ主任出納官吏ニ送付スヘシ
 第六條 充員召集ニ際シ召集雜費ノ總替ヲ爲シタル郡市町村
 ハ速ニ所屬郡役所(四日市市ハ三重郡役所、分任出納官吏
 ニ拂戻ノ請求ヲ爲スヘシ但シ津市ニ於テハ主任出納官吏ニ
 請求スヘシ
 分任出納官吏前渡金ノ交付ヲ受ケサルトキハ郡長ニ於テ前
 項ノ請求書ヲ調査シ認印ノ上速ニ主任出納官吏ニ送付スヘ
 シ
 警察署長ハ其ノ署ニ要セシ召集雜費ノ請求書又ハ仕譯書ヲ
 取纏メ調査ヲ爲シ認印ノ上速ニ主任出納官吏ニ送付スヘ
 シ

第七條 充員召集ノ爲ニ要スル吏員及警察官吏ノ出張旅費ハ

四百四十七

(第一號書式)

大正何年度
歳出何部何々(款)前渡資金明細仕譯書

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

四百四十九

科		目		小切手 番 號	金 額	備 要
項	目	節				
					円	
		大正何年	何月何	日		
	主任資	金前渡	官吏職	氏	名	印
何郡	役所	任資金	前渡官	吏職氏	名宛	

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支
 特定ノ旅費規則アルモノハ該規則ニ依リ該規則ナキトキハ
 明治四十三年六月勅令第二百七十四號内國旅費規則ニ依リ
 支給スルモノトス
 第八條 分任出納官吏支拂證明上提出スル證據書類ハ召集テ
 終ルノ後十五日以内ニ書式第四號ニ依リ整理シ正副ニ通テ
 主任出納官吏ニ送付スヘシ
 附 則
 大正五年七月三號縣訓令甲第十號ハ之ヲ廢止ス

四百四十八

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

支 拂 證					
品 名	數量	單 價	代 價	支 拂 先	摘 要
郵便切手	100	200	20000	何郵便局	領收證ヲ交付セ ス
同	100	100	10000	同	同
同	100	050	5000	同	同
同	100	030	3000	同	同
同	100	020	2000	同	同
計			40000		
上記ノ通支拂ス					
大正何年何月何日					
(出納官吏) 職官氏名⑥					

(以下書式第四號)
第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

氏 名	摘 要	支 月	給 日	金 額
何某⑦		4	20	13000

何々(項)
何々(目) 333.860
紙數何枚

官職	等氏	又ハ名	摘要	支給月日	金額
官何	等	又某	職ハ某	4 5	332.560

冊第1號

大正何年度

大正何年何月分

何々(款)

支拂證憑書類

但冊第1號紙數何枚

何々府(縣)

備考 左側ニ綴代ヲ附スルモノトス

(書式第四號)

●海軍召集諸費概算表様式

(明治四十一年十二月二十二日
訓令甲第七十五號)

郡市役所

其ノ所轄内ニ於ケル海軍ノ充員召集ニ要スル郵便電信料及使

左記様式

區	分	金	額	備	考 慮	
					何	處
郵便電信料				郵便發送先何所、何度、何通金何圓		
使丁賃				電信同、上、何程ヲ日何程算出セシ基礎記載ノコト		
合 計						

海軍召集諸費概算表

明治何年何月何日

丁賃ヲ計算シ左記様式ニ據リ召集諸費概算表一通ヲ作り毎年一月末日迄ニ當廳ニ送付スヘシ

●陸軍召集諸費支出規程ニ據ル分
任出納官吏ノ件

(明治四十一年五月十五日)
(訓令甲第二十八號)

郡 市 役 所

陸軍召集諸費支出規程ニ據ル分任出納官吏ハ郡役所首席郡書記ヲ以テ之ニ充ツ

分任出納官吏ハ所轄内町村ノ繰替支辨金拂戻ノ爲出納ヲ取扱フヘシ但シ三重郡役所分任出納官吏ハ四日市市度會郡役所分任出納官吏ハ宇治山田市ノ分ヲモ取扱フモノトス

海軍召集諸費支出規程ニ依ル分任出納官吏ハ郡役所首席郡書記ヲ以テ之ニ充ツ分任出納官吏ハ所轄内町村ノ繰替支辨金拂戻ノ爲出納ヲ取扱フヘシ但シ三重郡役所分任出納官吏ハ四日市市度會郡役所分任出納官吏ハ宇治山田市ノ分ヲモ取扱フモノトス

●行旅死亡人所持金湊流物公賣代
金等自今出納官吏ニ送付方

(明治二十六年八月十五日)
(訓令甲第四十八號)

市 郡 役 所

明治二十三年勅令第二號ニヨリ政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル金銀ハ當該出納官吏ヲシテ大藏省預金局ヘ寄託セシム可キニ付市町村長ニ於テ保管ス可キ行旅死亡人所持金湊流物公賣代等ノ現金ハ自今其處分ノ時々管轄出納官吏ニ送付スヘシ但客年十二月訓令甲第九十三號ハ取消ス

●海軍召集諸費支出規程ニ據ル分
任出納官吏ノ件

(明治四十一年六月十六日)
(訓令甲第三十二號)

郡 市 役 所

●本年訓令甲第四十八號ニ依ル處
置方

(明治二十六年八月十五日)
(訓令甲第四十九號)

郡 市 役 所

本日本縣訓令甲第四十八號ニヨリ市町村長ヨリ行旅死亡人所持金湊流物公賣代金ノ送付ヲ受クルトキハ(明治二十三年大藏省令第八號)保管金取扱規程ニヨリ出納官吏ヲシテ大藏省預金局ヘ寄託セシムヘシ
舉家行衛不分明ニシテ其遺留財産ヲ管理ス可キ者ナキ滞納者ニ對スル國稅滯納處分剩餘金ハ自今市町村長ニ交付セス當該收入官吏之ヲ領置シ前項ニヨリ寄託セシム可シ

●部落有地土地臺帳更正申請承認
ノ件

(明治四十三年八月十六日)
(訓令甲第三十四號)

郡 市 役 所

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第二款 收支

市 郡 役 所

土地臺帳ニ登錄セラレタル部落所有(小場、垣内組)ノ土地ニシテ誤謬ノ理由ヲ以テ名義ノ更正ヲ爲サントスルモノハ其ノ登錄シアル部落ヲ代表スル市町村長ニ於テ土地臺帳更正ノ手續ヲ爲ス前ニ於テ左ノ書類ヲ添付シ第一次監督廳ノ承認ヲ經ヘシ

- 一 區會又ハ市町村會ノ決議書但シ市會決議ニシテ報告濟ノモノハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 二 土地臺帳謄本
- 三 證據書類

●政府ノ所得ニ歸シタル現金又ハ
有價證券歳入納付手續

(大正十三年六月六日)
(訓令甲第十號)

警 察 署

政府ノ所得ニ歸シタル現金又ハ有價證券歳入納付手續左ノ連

定ム

政府ノ所得ニ歸シタル現金又ハ有價證券歳入
納付手續

第一條 政府ノ保管ニ係ル現金又ハ有價證券ニシテ遺失物法
其ノ他ノ法令ニ定メタル期間ノ經過ニ依リ政府ノ所得ニ歸
シタルトキハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本手續ニ依ルヘ
シ

第二條 歳入歳出外現金取扱順序第五條ノ調書ニ依リ知事ヨ
リ當該署長ヲ納入トスル納入告知書ヲ發行シタルトキハ該
納入告知書記載ノ金額ヲ券面金額トスル小切手ヲ振出シ之
ニ納入告知書ヲ添ヘ保管金取扱店タル日本銀行代理店ヘ納
入ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條 遺失物取扱手續第十七條第二項ノ報告ヲ受ケタルト
キハ左ノ手續ヲ爲スモノトス

一 國債證券ニシテ既ニ償還期ノ開始セルモノニ付テハ當
該署長ニ之カ歳入納付ノ通知ヲ爲ス

前項ノ通知ヲ受ケタル署長ハ政府保管有價證券受託證書ニ

事由ヲ記載シ出納官吏ノ現金拂込書ヲ添ヘ有價證券ノ寄託
店タル日本銀行代理店ニ提出シ歳入納付ノ手續ヲ爲スヘシ

二 國債證券以外ノ有價證券ニシテ既ニ償還期ノ開始セル
モノニ付テハ當該署長ニ之カ歳入納付ノ通知ヲ爲ス

前項ノ通知ヲ受ケタル署長ハ政府保管有價證券受託證書ニ
事由ヲ記載シ日本銀行代理店ヨリ證書ノ拂戻ヲ受ケ該證券
ニ對スル償還金受入ノ手續ヲ爲シタル後出納官吏ヨリ該金
額ヲ日本銀行代理店ニ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 前條ノ規定ハ有價證券トシテ取扱ヒタル利札ニシテ
支拂期ノ開始セルモノニ付テハ準用ス

第五條 第二條乃至前條ノ規定ニ依リ難キ現金又ハ有價證券
ニ付テハ知事ノ命令ニ依リ處理スヘシ

附 則

本則ハ大正十二年分ヨリ之ヲ適用ス

第三款 國稅徵收

●市町村ニ於ケル國稅徵收事務取 扱規程

(明治三十七年六月二十八日)
訓令甲第三十八號

第四條 明治三十七年七月訓令甲第四二號、四〇年三月同
第九號、同年七月同第三四號、四三年四月同第一二
號、大正七年八月同第三八號改正

郡市役所
町村役場

市町村ニ於ケル國稅徵收事務取扱規程左ノ通相定ム

市町村ニ於ケル國稅徵收事務取扱規程

第一條 市町村長ハ常ニ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一 地租名寄帳(第一號書式)

一 地租名寄帳集計簿(第二號書式)

一 自家用醬油稅徵收元帳(第三號書式ノ一)

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第三款 國稅徵收

第二條 市町村長ハ地租ノ各納期初日前十五日迄ニ第四號書
式ニ依リ其ノ地租收納簿ヲ調製スヘシ

地租以外ニ納期ノ一定スル國稅金ニ付テハ其ノ納額通知書
ヲ受ケタルトキ其ノ收納簿ヲ調製スヘシ

第三條 前條收納簿ニ記載スヘキ各納人ノ稅額ハ地租ニ在リ
テハ地租名寄帳集計簿ニ記載セル地租額ニ依リ自家用醬油
稅ニ在リテハ徵稅元帳ニ依リテ計算シタル當該納期ノ納額
ニ依リ其ノ他ノ稅金ニ在リテハ納額通知書ニ添附スル一人
別仕譯書ニ依リ之ヲ記載スヘシ

第四條 前條收納簿調製後納期初日迄ニ納額ニ異動ヲ生シタ
ルトキハ其ノ時々之ヲ整理スヘシ

第五條 隨時徵收ニ係ル納額通知書ヲ受ケタルトキハ隨時收
入國稅收納簿(第五號書式)ヲ調製スヘシ

第六條 市町村長ハ納稅告知書ヲ發付シ若ハ減額ノ爲納稅告
知書ヲ訂正シタルトキハ第七號書式ノ仕譯書ヲ作り之ヲ收
入役ニ交付スヘシ

市町村長ニ於テ取扱上錯雜ノ虞ナシト認ムル場合ニ於テハ

市長ハ知事町村長ハ郡長ノ許可ヲ得テ國稅徵收簿ヲ以テ前項ノ仕譯書ニ換ヘ收入役ト之ヲ共用スルコトヲ得

第七條 市町村長ハ國稅徵收整理簿(第六號書式)ヲ調製シ納稅告知書發布後完結ニ至ル迄ノ取扱ヲ明ニスヘシ

第八條 收入役國稅金ノ納付ヲ受ケタルトキハ第六條ニヨル仕譯書ニ領收月日ヲ記入シ其ノ日ノ領收額ハ稅目ニ區分シ納稅告知書ヲ添付シテ第八號書式ニヨリ市町村長ニ通知スヘシ

第九條 市町村長前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ收納簿中各納稅人ノ金額欄ニ其ノ收納月日ヲ記入シ國稅徵收整理簿ヲ整理スヘシ

第十條 市町村長滯納報告ヲシタルトキハ收納簿中其ノ納稅人ノ金額欄ニ其ノ旨ヲ記載シ且ツ報告書ノ謄本ヲ以テ收入役ニ通知スヘシ

附則

第十一條 明治二十七年本縣訓令甲第五十七號ハ之ヲ廢止ス

第十二條 從來使用スル地租名寄帳ハ明治三十八年十二月三十一日迄之ヲ使用スルコトヲ得

第一號書式

地租名寄帳

何	何	何	何
市	郡	町	村
役	所	役	場

備考

- 一 本簿ハ各納稅者毎ニ田租、畑租、宅地租、雜地租（田、畑、宅地以外ノ土地ニ係ル地租）ノ四科目ニ區分シ各人毎ニ索耳ヲ付スヘシ但シ宅地ハ四十二年分ニ限リ從前ノ例ニ依ル
- 二 納稅者ノ肩書ハ本縣内ニ住居スルモノハ縣名、土地所在ト同郡市ノモノハ郡市名、同町村ノモノハ町村名等ノ記入ヲ省略スヘシ
- 三 相續又ハ改姓名若ハ轉住等住所氏名ニ異動ヲ生シタルトキハ之ヲ更正シ其ノ事實年月日ヲ姓名ノ傍ニ朱記スヘシ
- 四 地目ノ欄ハ雜地租中ノ每地目ヲ記入シ其ノ他ハ記入ヲ省略スヘシ
- 五 賣買及質入質取其ノ他異動ニ係ルモノノ増ハ墨書減ハ朱書スヘシ
- 六 賣買、相續、讓渡、質入等登記ニヨリ異動ヲ生スルモノノ摘要欄ノ年月日ハ其ノ登記ノ日ヲ記載スヘシ
- 七 市町村ノ事情ニヨリ土地所在ノ大字毎ニ名寄帳ヲ調製スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ様式中大字ノ欄ヲ省クヘシ

田租ノ部	何府縣何郡市何町村大字何番地			
事故	大字	字	地目	反別地價
買得	何々	何々	町	圓
質取	何々	何々		
質入	何々	何々		
荒地成	ハ	ハ		
開墾期明	何々	何々		

買得	何々	何々	町	圓	明治三十七年七月以前ヨリ持續ノ分（名寄帳調製ノ年月ヲ記ス）
質取	何々	何々			△同 明治三十七年八月五日荒地成許可
質入	何々	何々			△同 明治三十七年七月二日何某ヨリ
荒地成	ハ	ハ			明治三十七年七月二日何某ヨリ
開墾期明	何々	何々			明治三十七年八月一日何某ハ
					明治三十七年八月五日許可
					明治三十七年九月一日許可

荒地復舊

何々

何々

五

1,000

110,000

明治四十年九月五日届出

第二號書式

地租名寄帳集計簿

何市役所
何郡
何町(村)役場

備考

- 一 本簿ハ末尾ニ於テ市町村計ヲ作り各科目ニ區別シタルモノ及各科目ヲ通計シタルモノヲ編入シ異動アル毎ニ整理スヘシ
- 二 地租額ハ明治三十七年法律第十二號ニヨリ地價ニ異動アル毎ニ算出記入スヘシ
- 三 市町村ノ事情ニヨリ各大字毎ニ名寄帳ヲ調製シタルトキハ市町村全體ノ集計簿ノ外尙各大字ニ屬スル集計簿ヲ設クルコトヲ得
- 四 納稅者ノ肩書ハ本縣内ニ住居スルモノハ縣名、土地所在ト同郡市ノモノハ郡市名同町村ノモノハ町村名等ノ記入ヲ省略スヘシ
- 五 納稅者ニシテ其ノ土地所在ノ町村役場所轄外ニ住居スルモノ地租條例施行規則第十六條ニ依リ納稅管理人ヲ定メ届出タルトキハ之ヲ納稅者ノ傍ニ記載スヘシ
- 六 相續又ハ改姓名若ハ轉住等住所氏名ニ異動ヲ生シタルトキハ之ヲ更正シ其ノ事實年月日ヲ姓名ノ傍ニ朱記スヘシ納稅管理人ニ變更アリタルトキ亦同シ
- 七 本簿モ亦名寄帳ト等シク各人毎ニ索耳ヲ附スヘシ
- 八 現在年月日ハ本簿ヲ整理シタル年月日ヲ記載スヘシ

町及圖位ハ朱線

現在年月日	反	別	地	價	地租	摘	要
明治三十七年七月一日		四三〇〇	三八九、五〇〇				
同 月 五日		七〇一五	六三四、七〇〇				
同 月 七日		三五一五	三〇四、七〇〇				
同 月 十五日		四〇一五	三二九、七〇〇				
明治四十五年五月五日		六三一五	五三九、七〇〇				

田租ノ部

何府縣何郡市何町村大字何番地

何

納稅管理人 大字何番地 何

某某

(市町村計)

第三號書式ノ一

自家用醬油稅徵稅元帳	
何 市 役 所	何 郡 役 場
何 町 (村) 役 場	

備考

- 一 本簿ハ毎年三月一日及十月一日ニ於テ現在員數稅額ヲ合計スヘシ
- 二 他ヨリ轉住シ新ニ登載シタル場合若ハ相續、改姓名等ノ爲住所氏名ノ訂正ヲナシタルトキ及他町村へ轉出シタル場合ハ摘要欄ニ其ノ事實年月日ヲ記載シ轉出ニ係ルモノハ直ニ欄外上部ニ消印ヲ押捺スヘシ
- 三 製造廢止ニ係ルモノアルトキハ其ノ年月日ヲ相當欄ニ記載スルノ外尙其ノ年ノ納期後ニ於テ欄外上部ニ消印ヲ押捺スヘシ

圓位ハ朱線

種別	稅額	納納期額	製造許可年月日	製造廢止年月日	摘要	住所	氏名
一	五〇〇圓	二五〇圓	何年何月何日		何々	大字何何番地	某
二	一、〇〇〇	五〇〇	何年何月何日		何々	大字何何番地	某
三	二、〇〇〇	一、〇〇〇	何年何月何日		何々	大字何何番地	某
四	四、〇〇〇	二、〇〇〇	何年何月何日		何々	大字何何番地	某
五	三、〇〇〇	一、五〇〇	何年何月何日		何々	大字何何番地	某

合計

現在年月日	稅額	一納期ノ納額	納稅者數
何年十月一日	一〇、五〇〇圓	五、二五〇圓	五人

明治何年度

國稅金收納簿

何市役所	何町(村)役場
------	---------

備考

一 畑租雜地租ハ甲號様式ニ田租、利得稅及個人ノ利得ニ係ル戰時利得稅ハ乙號様式ニ宅地租、延納年賦、營業稅、家用醬油稅、賣藥營業稅ハ丙號様式ニ據ルモノトス但シ延納年賦ハ第一期第二期子改租、罹災其ノ他ト改ム

二 收納簿ノ末尾ハ合計ヲ附スルモノトス
三 増減アリタル場合ハ金額ノ左側ニ其更正金額ヲ朱書スヘシ

甲號

番號	一		二		收入月日	氏名
	期一第	期二第	期一第	期二第		
畑租	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	何月何日	大字何
雜地租	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇	何月何日	何
計	二三〇〇	二三〇〇	二六〇〇	二六〇〇	何月何日	何
納稅管理人						何
						某

「内ノ記事ハ朱書トス

備考	月収入額金		月収入額金		月収入額金		月収入額金		番號
	日入	額金	日入	額金	日入	額金	日入	額金	
所得稅(個人ノ利得ニ係ル戰時利得稅)ヲ徵收スル場合ニハ前年第四期以下ヲ第一期第二期ト順次記入スルモノトス									前年第四期
									第一期
									第二期
									第三期
									氏名

乙號

備考	期二第		期一第		番號
	期二第	期一第	期二第	期一第	
所得稅(個人ノ利得ニ係ル戰時利得稅)ヲ徵收スル場合ニハ前年第四期以下ヲ第一期第二期ト順次記入スルモノトス					知
					租
					雜地租
					計
	合計				收入月日 氏名

備考

一 本簿ハ一ケ年度内各種ノ國稅ヲ混記スルモノトス

何	目	納		告知書番號
		期	額	
金	何	何	何	領
程	何	何	何	收
何	何	何	何	月
日	日	日	日	日
大	氏	何	何	何
字	何	何	何	何
何	名	何	何	何
某				

第六號書式

國稅徵收整理簿

明治何年度

何	何	何	何	何
市	郡	町	村	役場
役	所			

備考

一 本簿ハ毎納期各稅目(地租ハ各科目)ニ區分シ合綴シテ索耳ヲ附スヘシ但シ隨時收入ノ分ハ納期ノ區分ヲ要セス稅目ニ區分スヘシ

第一期		第二期	
年月日	摘要	年月日	摘要
明治何年何月何日	告知書發付		告知書發付
何月何日	增額告知書發付		告知書發付
何月何日	徵收濟		徵收濟額
何月何日	△告知書減額訂正		徵收未濟額
何月何日	徵收濟		納付額
何月何日	何金庫へ納付		未納付額
何月何日	△何某外何人滯納報告ス		

△印ハ朱書
圓ハ朱線

第一期		第二期	
年月日	摘要	年月日	摘要
			告知書發付
			告知書發付
			徵收濟額
			徵收未濟額
			納付額
			未納付額

圓位ハ朱線

隨時收入		地租		△印ハ朱書 圓位ハ朱線		
年月日	摘要	告知書發付額	徵收濟額	徵收未濟額	納付額	未納付額
明治何年 何月何日	何某外何人分告知書發付	五、〇〇〇	〇	五、〇〇〇	〇	五、〇〇〇
何月何日	何某外何人分領收濟		五、〇〇〇	〇		
何月何日	何某外何人分告知書發付	三、〇〇〇	〇	三、〇〇〇		三、〇〇〇
何月何日	何某外何人分告知書發付				五、〇〇〇	
△何月何日	何某外何人分滯納報告ス	△三、〇〇〇		〇		〇

圓位ハ朱線

隨時收入		營業稅				
年月日	摘要	告知書發付額	徵收濟額	徵收未濟額	納付額	未納付額
		円				

第七號書式ノ甲 國稅徵收額人別仕譯書

何市(何郡何「町」村)長 氏 名 團

一金何程 第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第三款 國稅徵收

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第三款 國稅徵收

内

金何程

金何程

金何程

金何程

内 譯

地租第二期分

宅地租

雜地租

營業稅前半年分

納付期日	納付場所	宅地租	雜地租	計	營業稅	合計	領收月日	納付者
何月何日	本村役場	1,500	2,000	3,500	1,500	5,000		大字何某
"	"	1,500	2,000	3,500	1,500	5,000		何某
"	"	1,500	2,000	3,500	1,500	5,000		何某
何月何日	大字何々々寺	2,100	500	2,600	300	2,900		何某
"	"	2,100	500	2,600	300	2,900		何某
"	"	2,100	500	2,600	300	2,900		何某

單位ノ朱線

備考

一 本仕譯書ハ納付場所等ノ區別ニヨリ數部ニ分割調整スルコトヲ得

第七號書式ノ乙

國稅追加徵收額人別仕譯書

何市(何郡何町)村)長 氏

地租第三期分

名 姓

一金何程

内 譯

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第三款 國稅徵收

●租稅外諸收入金取扱手續

(大正元年十二月二日)
訓令甲第十四號

第四節 大正四年二月訓令甲第三號、五年一〇月同第二號、一一年四月同第一三號、同年九月同第二九號、一二年一月同第三五號、一三年九月同第二一號改正

郡役所
警察署

明治三十四年十二月三重縣訓令甲第七十號租稅外諸收入金取扱手續左ノ通改正シ大正二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
第一條 租稅外諸收入金ノ内左記科目ニ係ルモノ及此ノ科目以外臨時當廳ヨリ通知スルモノハ郡長警察署長ニ於テ其ノ徵收事務ヲ分掌スヘシ
警察署長ノ取扱ニ屬スルモノヲ除ク外四日市市ニ係ルモノハ三重郡長宇治山田市ニ係ルモノハ度會郡長之カ事務ヲ分掌スヘシ

歳入經常部		款	項	目	取扱官署
	官業及官有財産收入		官有物貸下料	地所貸下料	郡役所
				水面貸下料	郡役所
				地所使用料	郡役所

雑收入		款	項	目	取扱官署
	免許及手数料		免許料	免許料	郡役所
	懲罰及没收金		没收金	没收金	警察署
	辨償及違約金		辨償金	辨償金	警察署
	雑收入		返納金	返納金	郡役所
			雑收	雑收	郡役所
	恩給法納金		文官納金	文官納金	郡役所
			教育職員納金	教育職員納金	郡役所
			待遇職員納金	待遇職員納金	郡役所
			國庫以外經濟納金	國庫以外經濟納金	郡役所

歳入臨時部		官有物拂下代		物品拂下代		物品拂下代		警署	
雑収入		返納金		定期貸金		据置貸金		郡役所	
				郡役所		郡役所		郡役所	

第二條 郡役所警察署ニ分任收入官吏ヲ置キ郡役所ニ在リテハ首席郡書記警察署ニ在リテハ署長ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 徵收事務分掌官ハ諸收入金納入告知簿及諸貸下貸使用料徵收人別簿其ノ他徵收事務整理上必要ナル帳簿ヲ設備スヘシ

第四條 徵收事務分掌官ハ徵收簿ニ據リ毎月徵收報告書ヲ調製シ收入未済金額及缺損金額アルトキハ事由欄内ニ其ノ理

由テ詳記シ左ノ書類ヲ添ヘ三月分ハ翌月四日其ノ他ノ分ハ翌月五日迄ニ其地ヲ差立テ當廳ヘ送付スヘシ但シ三月分ニ限リ取扱事項ナキトキト雖其ノ旨及未收入額ニシテ四月以降收入スヘキ見込額アルトキハ目毎ニ事由欄内ニ記載シ且缺損又ハ繰越トナルヘキ見込額アルトキハ其ノ金額ヲ各別ニ附記スヘシ

一 徵收濟人別仕譯書但シ郡市長委任條項第十一項ニ依リ

處分セル物件ニ付テハ添附スルテ表セス

二 日本銀行又ハ郵便局ノ領收濟通知書

三 缺損金額アリタルトキハ其ノ事實ヲ認ムヘキ書類

四 辨償金、返納金、雜收、定期貸金、据置貸金ノ收入ニ在リテハ算出ノ基礎ヲ明記セル決議書類

五 其ノ所屬ニ於テ處分セル官有土地水面ノ生産物及遺失物法又ハ其ノ他ノ規程ニ依リ政府ノ所得トナリタル物件ノ賣却ニ在リテハ契約書又ハ決議書ニ代フル賣却仕譯書

六 收入未済額アルトキハ其ノ科目、金額、納期日及納入住所氏名ヲ明記セル仕譯書

前項各號ノ添附書類ニシテ原本ヲ提出シ難キトキハ徵收事務分掌官ニ於テ製作シタル謄本ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第五條 分任收入官吏ハ毎年度收入金現金出納計算書ヲ調製シ日本銀行又ハ他ノ出納官吏出納員ノ領收證書及檢定書ヲ添ヘ翌年度四月十日迄ニ徵收事務分掌官ヘ差出スヘシ

主任收入官吏ノ交替アリタル場合ニハ交替ノ日ヨリ十日以

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第三款 國稅徵收

第六條 徵收事務分掌官ニ於テ前條ノ收入金現金出納計算書ヲ受ケタルトキハ分任收入官吏ノ現金出納簿ニ對照シ其ノ符合シ及殘額ノ現存スルヲ認メ其ノ旨ヲ計算書ノ末尾ニ記載シ署名捺印ノ上受領後三日以内ニ當廳ヘ送付スヘシ

第七條 既納ニ係ル諸收入金ノ下戻ヲ要スルモノアルトキハ明治三十一年六月三號縣訓令甲第四十八號國庫受證書整理順序ニ據リ本人ヨリ請求書ヲ徵シ調査ノ上當廳ヘ送付スヘシ

第八條 第三條ニ依リ設備スヘキ諸收入金納入告知簿諸貸下貸使用料人別簿及第四條ニ依リ添附スヘキ書類ハ別記第一號乃至第五號書式ニ依ルヘシ

第四條ニ依リ差出スヘキ徵收報告書ハ大正十一年三月大藏省令第二十號、四號書式ニ第五條ニ依リ差出スヘキ收入金現金出納計算書ハ大正十一年三月會計檢査院達第一號計算證明規程附屬第七號書式ニ準據スヘシ但シ徵收報告書中現金拂込濟仕譯欄ノ金額ハ大正四年一月大藏省令第一號郵便官署ノ取扱フ歳入歳出金ニ關スル取扱規程第八條及大正十

四百九十一

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第三款 國稅徵收

四百九十二

一年一月大藏省令第二號出納官吏事務規程第二十四條ニ依
リ分任收入官吏ヨリ送付ノ現金拂込仕譯書ニ基キ之ヲ區分
シ登記スヘシ

第九條 前各條ニ規定ナキ事項ハ明治三十三年四月大藏省令
第二十七號諸收入收納取扱規程及大正四年一月大藏省令
第一號ニ依ルヘシ

(別記)
(第一號書式)(用紙美濃紙)

何年度租稅外諸收入金納入告知簿		告知		納期		納入		摘要		納人住所氏名	
年月日	徵收事 官分掌 印	主任 取扱 者印	納額	番號	納入 濟月日	認 濟 印	摘要	納人住所氏名			
何月何日	〇	〇	〇〇〇	一	何年何月何日	〇	簡明ニ事由 ヲ記入スヘシ	何市町村大字何 何			
何年何月何日	〇	〇	〇〇〇	一	何年何月何日	〇	シ	何市町村大字何 何			

備考

- 一 目毎ニ區分シ見出シテ附スヘシ
- 二 日本銀行納ニ係ルモノト郵便局納ニ係ルモノトハ各別ニ口座ヲ設クヘシ

(第二號書記)(用紙美濃紙)

需貸下並使用料徵收人別簿		何年何月ヨリ何年何月迄何ク年期	
何年	月	日	貸下(使用)許可

何郡町村大字

荒蕪地

何畝歩

何郡町村大字

某

一金何程 (一ヶ年料金記入)

何年度分	金何程	何年何月何日	何年度分	金何程	何年何月何日
何年度分	金何程	何年何月何日	何年度分	金何程	何年何月何日

備考

- 一 本例ハ單ニ地所貸下ノ一例ヲ示スニ止マルモ其ノ他ノ貸下、使用ハ本書式ニ倣ヒ取纏メ各種別ニ區分スヘシ
- 二 料金子徵收シタルトキハ金額年月日ヲ記入シ式ノ如ク取扱主任認印スヘシ

(第三號書式)(用紙半紙)

大正何年度何月徵收濟人別仕譯書(以下倣之)

一金

地所貸下料(使用料モ倣之)

内 譯

契	約	期	間	地	目	反	別	一箇年又ハ期 間中料金	徵收金額	納人住所氏名
至何年	何月	何日	何日	荒蕪地			〇〇〇	10000	10000	何町村大字 何
自何年	何月	何日	何日	宅地			二五	1100	1100	何町村大字 何

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第三款 國稅徵收

四百九十三

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第三款 國稅徵收

自何年何月何日開始	每年使用	至何年何月何日	知	三〇	每年期間中	五〇	三〇	何町村大字
								某

四百九十四

內譯

免許料

埋立地名	目的	反別	埋立價格	徵收金額	納人住所氏名
何町村大字	宅地	一〇坪	一六五〇〇〇	四九五〇	何町村大字 何

內譯

沒收金

事	由	金額	納人氏名
沒收事由詳細記入ノコト	金	一〇〇〇〇	何
			某

文官納金(待遇職員納金モ做之)

月俸額	事	由	金額	官氏名
一〇〇〇〇	何	月分	一〇〇〇	郡書記何
六八五〇〇	與大正何年何月何日郡書記任命何級俸給		六八〇	郡書記何

一金

內譯

教育職員納金

又年俸額	年俸額	年俸額	年俸額	年俸額	由	金額	職氏名
一六六六〇	九〇〇〇〇	九〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	九〇〇〇〇	同	一七五〇	何々學校校長何
八〇六四〇	七二五〇〇	何	何	何	何	一〇九〇	教諭何
七二五〇〇	何	何	何	何	何	八七〇	助教諭何
六〇〇〇〇	何	何	何	何	何	六〇〇	書記何
計	六〇〇〇〇	何	何	何	何	三三〇〇	某
計	一〇〇,〇〇〇	何	何	何	何	二,三〇〇	某

國庫以外經濟納金

何	何	何	何	何	何	何	合計	納金	職氏名
俸給	年功加給	年功加給	年功加給	年功加給	年功加給	俸給	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	助教諭何
二〇,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	八〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	校長何
二〇,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	何
二〇,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	何
二〇,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	何
二〇,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	何
二〇,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	何

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第三款 國稅徵收

四百九十五

同	同	何々	雜	草	五	一〇〇	月	日	年	同	同	上	上	何	某
---	---	----	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

右ハ賣却決議書ニ對查シ相違ナキコトヲ確認ス

年 月 日

歳入徵收事務分掌官 何 郡長 氏

名 團

備考

本書ハ代金徵收濟ノモノノミ記載スヘシ

(第五號書式)(用紙半紙)

何年度何年何月分收入未濟額人別内譯書

一金

内 譯

科	目	金	額	納	期	日	摘	要	納	人	住	所	氏	名
何	地		一〇〇〇	何	月	何				何	町	村	大	字
何	々									何				某

備考

郵便局ヲ納付場所ニ指定シ納入告知書ヲ發シタルトキハ摘要欄ニ郵便局名ヲ記入ノ事

國庫費支辨ニ係ル旅費ノ内車馬賃宿泊料日當ノ支給額本月十六日ヨリ管内旅行ニ限リ左ノ通減額ス

第四款 俸給旅費及諸給

●國庫費支辨ニ係ル旅費減額ノ件

(明治三十年十月十五日訓令甲第八十七號)

郡 役 所
警 察 署
同 分 署
監 獄 支 署

等	級	車馬賃	一里	宿泊料	一夜	日當	一日
二 等	勅 任 官	貳 拾 六	錢	壹 圓 八 拾	錢	壹	圓
三 等	奏 任 官	拾 六	錢	壹 圓 貳 拾	錢	六	拾
四 等	判 任 官	拾 貳	錢	七 拾	錢	參	拾
警部持區内巡廻	員			五 拾	錢	參	拾
履	員			五 拾	錢	貳	拾

●國庫支辨ノ旅費支給上ニ關シテハ在勤廳ヲ距ル一里未滿ノ市町村ハ在勤廳所在地區域内ト看做スノ件

(明治三十三年三月二十日) 訓令甲第二十七號

郡役所
警察署
同分署
監獄支署

國庫支辨ノ旅費支給上ニ關シテハ在勤廳ヲ距ル一里未滿ノ市町村ハ明治三十三年四月一日以降在勤廳所在地ノ區域内ト看做ス

●國庫費支辨ニ係ル旅費支給ニ當リ内國旅費規則ニ依ル食卓料ノ件 (明治四十一年十月九日) 訓令甲第六十七號

郡役所
警察署
警察分署

國庫費支辨ニ係ル旅費支給ニ當リ内國旅費規則第三條第三項ノ食卓料ハ船中ニ於テ宿泊セントキニ限り夜數ニ應シ之ヲ給ス

第五款 恩給、扶助料、退隱料

●勳章年金恩給扶助料退隱料支給手續

(明治四十一年三月十七日) 縣令第十五號

國庫支辨ニ係ル勳章年金、恩給、扶助料、退隱料ニシテ本縣ノ主管ニ屬スルモノノ支給手續左ノ通相定ム

勳章年金、恩給、扶助料、退隱料支給手續
第一條 勳章年金、恩給、扶助料、退隱料ヲ受クルモノハ毎支給期月ノ五日迄ニ所屬市町村長ヘ證書ヲ提出シテ檢閲ヲ受ケヘシ

第二條 新規ニ證書ヲ下付セラレタルモノ若ハ受給權ノ消滅停止ニ係ルモノハ支給期月ニ拘ラス其ノ時々所屬市町村長ヘ證書ヲ提出シテ檢閲ヲ受ケヘシ

第三條 第一條及第二條ニ依リ證書ノ檢閲ヲ受ケタルトキハ
第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第五款 恩給、扶助料、退隱料

市町村長ノ作成スル證書檢閲報告書ノ各自氏名ノ下ニ認印スルコトヲ要ス

第四條 代理人ヲ以テ支給ヲ受ケントスルモノハ支給期毎ニ委任狀若ハ委任届ヲ提出スルコトヲ要ス

第五條 第一條ニ依ル每期支給額ハ市町村長ノ檢閲報告書到著順ニ依リ其ノ期月内ニ之ヲ仕拂ヒ第二條ニ依ル臨時支給額ハ其ノ時々仕拂ノ手續ヲ爲スモノトス但シ津市ニ限り支給期月ノ七日迄ニ檢閲報告書ノ到着セシモノハ其ノ期月ノ十四日及十五日(休日ニ當ルトキハ之ヲ繰下ク)ヲ以テ仕拂定日トス

第六條 受給者ニシテ權利消滅若ハ停止ノ事故ヲ生シ又ハ其ノ市町村外ニ居住ヲ轉シタルトキハ速ニ新舊住所ノ所屬市町村長ヲ經テ縣廳ヘ届出ツヘシ他府縣ヨリ本縣ヘ居住ヲ轉シタルモノ亦同シ

附則

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十三年本縣令第十七號ハ之ヲ廢止ス

勳章年金恩給扶助料退隱料證書
檢閱報告例並臺帳設備支拂通知
書交付ニ關スル取扱手續

(明治四十一年三月十七日)
訓令甲第十七號

明治四十二年六月訓令甲第二五號、同年九月訓令
甲第三七號改正

市役所
町村役場

國庫支辨ニ係ル勳章年金、恩給、扶助料、退隱料ニシテ本縣ノ主管ニ屬スルモノノ證書檢閱報告例並臺帳設備支拂通知書交付ニ關スル件左記各項ニ據リ取扱フヘシ

證書檢閱報告例並臺帳設備支拂通知書交付ニ關スル取扱手續

一 明治四十一年本縣令第十五號ニ據リ證書ノ檢閱ヲ請フモノアルトキハ之ヲ檢閱シ且受領權アルコトヲ認メタルト

キハ別紙第一號乃至第三號様式ノ檢閱報告書ヲ作り之ニ受給者ノ認印ヲ微シ臺帳ノ印鑑ト對照シ相違ナキヲ認メ縣廳へ送付スヘシ

二 第一號檢閱報告書ハ左記種類毎ニ別紙ニ作成シ同一支給期ニ屬スル分ヲ列記スルモノトス

- 旭日勳章年金
- 金鷄勳章年金
- 文官恩給
- 文官遺族扶助料
- 陸軍恩給
- 陸軍遺族扶助料
- 海軍恩給
- 海軍遺族扶助料
- 學校職員退隱料
- 學校職員遺族扶助料
- 巡查看守退隱料
- 巡查看守遺族扶助料

三 第一號檢閱報告書ハ證書ヲ提出スル能ハサル事由アルモノヲ除ク外市町村内一般ノ受給者ヲ網羅シ毎支給期月ノ十日迄ニ送付スルモノトス

四 第二號及第三號檢閱報告書ニ於テ一期ニ滿タサル月割又ハ日割計算ニ係ルモノハ年額ノミヲ記入シ支給額ハ記載セサルモ妨ケナシ

五 旭日勳章年金ノ檢閱報告書ニハ勳等ヲ金鷄勳章年金ニハ功級ヲ記載シ其ノ他ノ報告書ニハ勳等、功級ヲ記載セサルモノトス

六 巡查看守退隱料ニシテ一部分停止(受給者ニシテ再ヒ列ニ就キタル場合ニ於テハ其ノ俸給月額ニ退隱料月割額ヲ合シタル額カ退職當時ニ於ケル俸給月額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ニ對スル退隱料ノ支)ノ場合ニハ定期支給ノ分ト雖第三號檢閱報告書式ヲ準用シ退職當時ノ俸給額及現時ノ官職名、就職年月日並俸給額(俸給額ニ異動ヲ其ノ年月)ヲ記載スルモノトス

七 受給權消滅ニ係ルモノノ證書檢閱報告書ハ必ス證書返納届又ハ轉給請求書等ニ添付シ若ハ其ノ以前ニ差出スコトヲ要ス

八 市町村ハ別紙第四號様式ニヨリ其ノ管内受給者ノ臺帳ヲ調製シ左記各項ニ依リ其ノ異動ヲ整理スヘシ

一 新規ニ證書ヲ下付セラレタルモノハ本人へ證書傳達ノ際登記スルモノトス

二 他府縣又ハ他ノ市町村ヨリ轉入シタルモノハ轉居届出ノ際登録スルモノトス

三 受給權消滅ノモノハ證書返納届出若ハ轉給請求ノ際削除スルモノトス

四 他府縣又ハ他ノ市町村へ轉出スルモノハ轉居届出ノ際削除スルモノトス

五 受給權ノ停止ニ關スルモノハ本人ノ届書等ニ依リ摘要欄ニ其ノ事由ヲ記載シ置クモノトス

六 市町村(津市ヲ除ク)ハ縣廳ヨリ領票ヲ添へ仕拂通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ正當債主ニ交付シ其

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第五款 恩給、扶助料、退職料
 ノ領票ハ速ニ縣廳ニ返付スヘシ但シ到着後五日ヲ經ルモ
 猶交付シ得サルモノアルトキハ直ニ其ノ理由ヲ申報スヘ

(別紙)

第一號 (定期受給者ノ例)(用紙美濃野紙以下同シ)

「手續第二項ニヨリ證書ノ種類ヲ記載スルコト(以下同シ)」
 「金鵝勳章年金」證書檢閲報告書

一金何程

何年 自何月 至何月 支給額

内 譯

支給額	年	額	元官職名(勳等)(功級) 又ハ故官職某(寡婦)(孤兒)等	住	所	氏	名	印
五〇〇圓	〇〇	〇〇〇圓	陸軍歩兵伍長功七級	何市町村大字何々何	番地又ハ何番屋敷	何	之	誰
壹五〇〇圓	〇〇	〇〇〇圓	陸軍歩兵中尉功五級	〃〃〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃〃〃	何	之	誰

右證書ヲ檢閲シ權利ノ消滅又ハ停止ノ事故ナキコトヲ證明ス

年 月 日

何郡何町村 市長 何

某 印

(右ハ金鵝勳章年金證書ノ檢閲報告例ナリ)

以下内譯ノ記載例ヲ示スコト左ノ如シ

(文官恩給ノ例)	(代理人受領方ノ例)	(後見人受領方ノ例)
參七圓 七五〇〇〇 壹五〇〇〇 〇〇〇	七五〇〇〇 參〇〇〇〇 〇〇〇	壹參七五〇 五五〇〇〇 〇〇〇
元三重縣屬	陸軍歩兵大尉	故海軍一等水兵何 某孤兒
何市町村大字何々何 番地又ハ何番屋敷	〃〃〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃〃〃
何	何	何
之	之	何
誰	誰	何年之月日 日生誰
印		印

第二號 (新規下賜ノ例)

「何々」證書檢閲報告書

何郡市町村大字何々何番地又ハ何番屋敷
 元官職名(勳等)(功級)又ハ「何官職某
 (寡婦)(孤兒)等」

氏

名 印

(受給者孤兒ナル場合ハ其ノ生年月日及
 後見人ノ住所氏名ヲ記シ捺印スルコト)

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第五款 恩給、扶助料、退職料

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第五款 恩給、扶助料、退職料

年額何程

一金何程

自何年何月日分
至何年何月日分

但何年月日付何々證書新規下賜ノ分

右證書ヲ檢閲シ權利ノ消滅又ハ停止ノ事故ナキコトヲ證明ス

年 月 日

何郡何町村 市長 何

某團

第三號 (受給權消滅又ハ停止ノ例)

「何々」證書檢閲報告書

何郡市町村大字何々何番地又ハ何番屋敷

元官職名(勳等)(功級)又ハ何官職某

(寡婦)(孤兒)等

氏

名 〇

(寡婦カ戸籍ヲ去リタルカ爲メ權利消滅ノ場合ハ現在ノ姓ヲ記載スルコト)

年額何程

一金何程

自何年月日分
至何年月日分

但何年月日何々ノ事由ニヨリ權利消滅又ハ停止
右證書ヲ檢閲シ前記但書ノ事故アルコトヲ證明ス

(受給者死亡ノ場合ニ於テハ本人氏名ノ次ヘ遺族中受領權利者ノ氏名ヲ記シ之レニ認印セシメ左記證明ヲ付記スルコト)

尙前記署名者ハ受給者ノ何々ニシテ(受給者ト受領權利者トノ身分上)受領權利者タルコトヲ證明ス

年 月 日

何郡何町村 市長 何

某團

(用紙美濃十行罫紙) 「手續第二項ニヨリ種類毎ニ別紙ニ調製ノコト」
第四號 「金醵勳章年金」ノ部

何市町村

每期支給額	年 額	官職(功級)(勳等)又ハ何官職何某(寡婦)(孤兒)等	摘 要	住 所	氏 名	鑑印

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第五款 恩給、扶助料、退職料

● 每期交付スヘキ恩給扶助料退隱料勳章年金津市居住者ニ交付期

日(明治三十八年十月十三日) (告示第二百十七號)

每期交付スル恩給、扶助料、退隱料又ハ勳章年金ハ津市居住者ニ對シテハ交付期月ノ十日及十一日ヲ以テ仕拂定日ニ當ルトキハ之ヲ繰下ク トス但シ每期差出スヘキ仕譯書ニシテ其ノ月六日迄ニ當廳ニ到達セサルモノハ此ノ定日ニ據ラサルコトアルヘシ

● 恩給其ノ他年金受領者ニシテ關東州又ハ樺太ニ居住スルモノ受領手續

(明治三十九年十月十二日) (縣令第六十號)

本縣ヨリ支給ヲ受クル恩給及其ノ他年金受領者ニシテ關東州又ハ樺太ニ居住スルモノハ支給期月毎ニ左ノ仕譯書ヲ居住地ノ民政署長若ハ民政支署長ニ差出シ證書檢閱濟ノ證明ヲ受ケ之ヲ本廳ニ差出スヘシ

恩給(又ハ勳章年金) 退隱料扶助料 仕譯書

住所

元官職勳等功級(又ハ故何官職勳等)

功級某寡婦孤兒等)

氏 名 (印)

明治何年何月何日生(孤兒ニ限ル)

年額金何程

法定代理人アルモノハ本人氏名ノ次ニ其ノ住所氏名ヲ記入シ捺印スルモノトス

一金何程

但シ何年何月ヨリ何月迄支給額

備考 以下餘白ハ證書檢閱濟ノ旨ヲ記シ署名捺印アリ

タシ

恩給(又ハ勳章年金) 退隱料扶助料 仕譯書

住所

元官職勳等(功級)(又ハ故何官職勳等) 功級某寡婦孤兒等)

氏 名 (印)

何年何月何日生(孤兒ニ限ル)

法定代理人アルモノハ本人氏名ノ次ニ其ノ住所氏名ヲ記入シ捺印スルモノトス

年額金何程

一金何程

但何年何月ヨリ何月迄支給額

● 恩給及其ノ他年金受領者ニシテ海外ニ居住スルモノ受領手續

(明治三十九年十二月二十五日) (縣令第七十一號)

本縣ニ於テ仕拂ヲ受クル恩給及其ノ他年金受領者ニシテ海外ニ居住スルモノハ支給期月毎ニ左ノ仕譯書ヲ居住地ノ帝國領事(但シ朝鮮ニ居住スルモノハ居住地ノ理事官)ニ差出シ證書檢閱濟ノ證明ヲ受ケ之ヲ本廳ニ差出スヘシ

第六款 雜
 電柱敷地手當金ノ交付ヲ望マサ
 ルモノ届出方
 (明治二十四年八月十四日)
 告示第七十九號

●電柱敷地手當金ノ交付ヲ望マサルモノ届出方

電信線電話線柱木敷地手當金ノ交付ヲ望マサルモノハ其ノ柱
 木番號ノ區別ヲ記シ取調縣廳ニ届出ツヘシ

一金何程
 電(信)柱何本分敷地手當

内譯

電(信)柱番號	本柱	支柱	支線	柱合計數	期	間	金額	住	所	氏名	備考
三七二	一	〇	〇	一	自明治何年何月何日至同何年何月	〇〇四〇		何郡(市)何(村)町	何之誰	前年度ハ異動ナシ	
三七三	一	一	〇	二	同上	〇〇八〇		同上	同上	同上	
三七四	一	一	一	三	同上	〇〇八〇		同上	同上	同上	

第六編 財務 第二章 國庫ノ財務 第六款 雜

●電柱敷地手當金請求書々式

(明治三十七年九月二十四日)
 (告示第二百六十號)
 明治二十三年選信省告示第六十八號ニ依リ差出スヘキ電柱敷地手當金請求書ハ爾後左記様式ニ依リ調製ノ上之ヲ市町村長ニ差出スヘシ

第六款 雜
 電柱敷地手當金請求書々式
 (明治三十七年九月二十四日)
 (告示第二百六十號)
 明治二十三年選信省告示第六十八號ニ依リ差出スヘキ電柱敷地手當金請求書ハ爾後左記様式ニ依リ調製ノ上之ヲ市町村長ニ差出スヘシ

三三五	一	〇	〇	一	同	上	〇	〇	四	〇	同	上	何年何月
三七六	一	〇	〇	一	同	上	〇	〇	四	〇	同	上	何年新設
計	五	一	〇	一	七	〇	二	八	〇	〇	同	上	何月何日
合	計	五	一	〇	一	七	〇	二	八	〇	〇	同	何月何日

右交付相成度候也

何郡(市)何(町)何誰外何名代

何郡(市)何(町)何之誰

年 月 日

知 事 宛

年 月 日

備考 電信柱ト電話柱トハ各別紙ニ調製スルヲ要ス

市(町村)長 氏

名 〇

●電信柱敷地手當金請求書差出方ノ件

(明治二十九年五月一日)
(訓令甲第二十一號)

郡 市 役 所

町 村 役 場

明治二十三年逓信省告示第六十八號及同二十八年同省告示第四十八號ニヨリ可差出電信柱敷地手當金請求書ハ市役所町村役場ニ於テ所屬内取纏メ敷地所有者其他ノ調査ヲ遂ケ別紙書式ノ仕譯書ヲ製シ毎年四月十五日限り市役所ハ縣廳ヘ町村役

場ハ郡役所ヘ差出シ郡役所ハ之ヲ取纏メ四月二十五日限り縣廳ヘ差出スヘシ
但シ明治二十八年度分ハ市役所町村役場ハ五月十五日迄ニ差

出シ郡役所ハ五月二十五日迄ニ差出スヘシ且ツ明治二十七年三重縣訓令甲第三十五號ハ廢止ス

(別紙)

電信柱番號	本 柱	支 柱 數	支 線 數	住 敷 地 所 有 者 名	備 考
一 號	一	(官有地ニアリ)	一	何村大字何 某	前年度ト異動ナシ
二 號	一	一	一	某寺 住職何之某	何年何月某ヨリ買受ニ付某ヨリ請求ス
三 號	一	一	一	某相續人 某	何月支柱一本新設ニ付本年度ヨリ増セリ
四 號	(元) 一	一	一	某後見人 某	何月本柱ハ官有地ニ移轉ナリタレトモ本年度分ハ請求セリ
五(元) 號	一	一	一	某	何月撤去セラレタルモ本年度分ハ請求ス
五 號	一	一	一	某	何月移轉又ハ新設

六 號

一

一

○ 同

某

本年度分ハ手當金ノ交
付ヲ望マサルニヨリ其
届書ヲ差出セリ

製表備考 甲乙ノ二線路アル町村ハ仕譯書柱番號ノ肩へ適宜符合ヲ付スヘシ

●電柱敷地手當金ノ請求書ヲ受ケ
タルトキ取扱方

(明治三十七年九月二十四日
訓令第四十八號)

郡市役所
町村役場
明治三十七年(九月)三重縣告示第二百六十號ニ依リ差出スヘ
キ電柱敷地手當金ノ請求書ヲ受ケタルトキハ市町村長ニ於テ
之ヲ實地ニ對査シ毎年四月二十日迄ニ市長ハ縣廳ニ町村長ハ
郡長ニ差出シ郡長ハ同月末日迄ニ縣廳ニ差出スヘシ

此ノ電柱敷地手當金ノ請求書ハ市町村長ヨリ郡長ニ送付スルニ依リ
郡長ハ縣廳ニ送付スルニ依リ縣廳ハ國庫ニ送付スルニ依リ
其ノ取扱方ハ前記ノ如キニシテ之ニ依リて之ヲ請求スルニ依リ
其ノ請求書ハ市町村長ヨリ郡長ニ送付スルニ依リ郡長ハ縣廳
ニ送付スルニ依リ縣廳ハ國庫ニ送付スルニ依リ

第七編 學 事

目次

第七編 學事

第一章 御影、勅語及敬禮

- 御眞影ニ關スル心得……………明二五 訓令甲 八三
- 教育ニ關スル勅語贈本返納ノ件……………明二四 訓令甲 二三
- 御眞影ノ複寫ニアラサル他ノ御影奉揚ノ件……………明二五 訓令甲 六五
- 行幸啓ノ節學生生徒兒童敬禮方……………大五 訓令甲 二〇

第二章 總則

- 有租地ヲ公立學校及私立學校ノ用地ト爲シタルトキ稅務署へ通知方……………大九 訓令甲 二九
- 公立學校三大節儀式規定……………明三四 訓令甲 六四
- 縣立學校毎日始業時刻……………明三七 訓令甲 三四
- 改正條約實施ニ付學校職員生徒心得方……………明三二 訓令甲 六六

目次 第七編 學事 御影、勅語及敬禮 總則

目次 第七編 學事 普通教育

○校舍建築取締方	明四二	訓令甲	三六	二
○學校體操教授要目ノ件	大一二	訓令甲	七	五
○理化學研究獎勵ノ件	大七	訓令甲	六	五
○高等學校高等科入學資格試驗施行規程	大八	告示	一三九	六
○在支那上海東亞同文書院留學生派遣規程	明四一	縣令	六四	八
○日露協會學校生徒派遣規程	大一一〇	縣令	三	九
○三重縣水谷獎學基金學資補給規程	明三九	告示	一八九	一
○三重縣恩賜獎學資金學資補給規程	大一一〇	縣令	五七	一五
○三重縣恩賜兒童就學獎勵規程	大一二三	縣令	二四	一九
第三章 普通教育				
第一款 小學校				
○小學校令及小學校令施行規則實施ニ關スル規程	明三三	縣令	六二	二一
○市町村立學校敷地免租ニ關スル書面記載方	明二四	訓令甲	二四	四六
○小學校樹栽實施勸勵方	明三八	訓令甲	三	四六

○小學校學林設置規程	明三八	訓令甲	四	四七
○高等小學校ニ加設ノ實業科ニ關スル件	明四四	訓令甲	一	四八
○教育資金使用ニ關スル規則	大四	縣令	一九	四九
○市町村義務教育費國庫負擔法趣旨貫徹方	大七	訓令甲	一八	五一
○小學校一覽表ノ件	明三七	訓令甲	二一	五二

第二款 中學校

○三重縣立中學校學則	明三六	縣令	二九	五五
○三重縣立中學校入學者學力試驗規程	大九	縣令	一三	六五

第三款 高等女學校

○三重縣立高等女學校學則	明三六	縣令	三〇	六七
○高等女學校及實科高等女學校教授細目編成ノ件	明四四	訓令	四一	八〇
○三重縣立高等女學校始業時刻	大六	告示	四五五	八〇

第四章 師範教育

○三重縣師範學校學則……………	明四一	縣令	二二	八一
○三重縣師範學校尋常小學校本科正教員講習科規程……………	大八	縣令	三	九七
○三重縣女子師範學校學則……………	明四一	縣令	二三	一〇二
○三重縣女子師範學校尋常小學校本科正教員講習科規程……………	大八	縣令	七五	一一七
○女子師範學校ニ於ケル尋常小學校本科正教員講習科生徒募集中止ノ件……………	大一二	告示	四七三	一二三
○師範學校公費卒業者ノ服務期間……………	大一四	縣令	五四	一二三
○師範學校卒業者ニ償還セシムヘキ授業費ノ件……………	明四二	縣令	五七	一二三

第五章 實業教育

第一款 通則

○實業學校修身教授細目編成ノ件……………	明四四	訓令甲	四五	一二五
----------------------	-----	-----	----	-----

第二款 工業學校

○三重縣立工業學校學則……………	大三	縣令	二二	一二七
------------------	----	----	----	-----

第三款 農業學校

○三重縣立農林學校學則……………	大三	縣令	二三	一三七
○三重縣立名賀農學校學則……………	大一一	縣令	一四	一四六
○三重縣立三重農學校學則……………	大一一	縣令	一五	一五六
○三重縣立鈴鹿農學校學則……………	大一一	縣令	一六	一六五
○三重縣立飯南農學校學則……………	大一一	縣令	一七	一七四
○三重縣立度會農學校學則……………	大一一	縣令	一八	一八三
○三重縣立一志實業女學校學則……………	大一一	縣令	一九	一九二
○三重縣立多氣實業學校學則……………	大一一	縣令	二〇	二〇〇

目次 第七編 學事 實業教育

○三重縣立員辨農學校學則..... 六一 縣令 二二〇

第四款 水產學校

○三重縣立志摩水產學校學則..... 六一 縣令 一三

第五款 商業學校

○三重縣立四日市商業學校學則..... 六三 縣令 二一

○三重縣立松坂商業學校學則..... 六九 縣令 七

第六款 商船學校

○三重縣立鳥羽商船學校學則..... 六三 縣令 二四

第七款 實業補習學校

○實業補習學校學科課程標準..... 六一 訓令甲 五

○實業補習學校施設要項..... 六三 訓令甲 二

○公民教育徹底方ノ件..... 六三 訓令甲 二

○三重縣立農業補習學校教員養成所學則..... 六四 縣令 一四

○三重縣立盲啞學校學則..... 六四 縣令 二二

○三重縣實業補習教育費補助規程..... 六四 縣令 四二

○公立實業補習學校助教諭心得ニ關スル件..... 六一〇 縣令 三九

○實業補習學校一覽表ノ件..... 六五 訓令甲 二四

○實業補習教育ニ關スル事項調査ノ件..... 六四 訓令甲 九

第六章 教科用圖書

○小學校教科用圖書使用書目..... 明三六 縣令 三四五

○同上ノ件..... 明三六 縣令 四九

目次 第七編 學事 教科用圖書

○同上ノ件.....	明三七	縣令	六七	三一九
○同上ノ件.....	明四一	縣令	三九	三一九
○同上ノ件.....	明四二	縣令	六七	三一九
○同上ノ件.....	明四三	縣令	一〇	三一〇
○同上ノ件.....	大七	告示	三三	三一〇

第七章 學校衛生

○小學校ニ於ケル體育及衛生ニ關スル件.....	明二七	訓令甲	八五	三二一
○市町村立小學校醫藥學方.....	明三一	訓令甲	四四	三二一
○児童生徒及學生ノ近視眼豫防ニ關スル件.....	大八	訓令甲	三八	三二二
○紫色鉛筆學校生徒使用禁止.....	明三七	訓令甲	四六	三二二
○學校生徒喫煙禁止方.....	明三三	訓令甲	三八	三二二
○學校生徒傳染病豫防心得.....	明三三	訓令甲	六六	三二三

第八章 職員

第一款 任免、資格及講習

○小學校教員服務年限中退職休職者届出方.....	明三三	縣令	一〇	三二五
○判任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケサル公立學校職員ニシテ軍籍ニ在ルモノ召集セラレタルトキ退職ノ件.....	明三八	縣令	三	三二五
○現役補充ノ軍籍ニ在ル公立學校職員休職ニ關スル規程.....	明三七	縣令	三五	三二五
○私立學校ニ於テ教員ヲ採用若ハ解職シタルトキ届出ノ件.....	大一一〇	訓令甲	一九	三二六
○三重縣小學校教員試験檢定參考用書.....	大一二	告示	二八五	三二六
○尋常小學校本科正教員養成規程.....	大一一〇	縣令	九	三四〇
○尋常小學校准教員養成所ニ關スル規程.....	明四三	縣令	一一	三四二
○公立私立實業補習學校無資格教員數ノ制限ニ關スル規程.....	大正元	縣令	一六	三四三
○公立學校教員講習所規程.....	大五	告示	三〇七	三四四

第二款 職務及服務

○公立學校處務規程.....	明四〇	訓令甲	三	三四五
----------------	-----	-----	---	-----

○縣立學校長出張旅行及缺勤ニ關スル規程……………明四〇 訓令甲 四八 三四九

第二編 經費及諸給與

第三款 俸給旅費及諸給與

- 市町村立小學校教員住宅費補助規程……………明四一 縣令 一二 三五二
- 市町村立小學校教員住宅料補助額增加ノ件……………大九 縣令 六 三五三
- 市町村立小學校教員加俸給與ニ關スル細則……………明四二 縣令 四五 三五三
- 僻陬地小學校指定……………大九 告示 三二四 三五六
- 三重縣公立學校給與規程……………明三六 縣令 三六 三六一
- 本縣給與規程ヲ縣立學校ニ適用セサル件……………明三六 訓令甲 六〇 三六六
- 三重縣公立學校給與規程第十九條ニ依ル日額旅費……………明四四 訓令甲 二四 三六六
- 三重縣公立學校職員中公立學校職員俸給令ノ適用ヲ受ケサル者ニ對スル俸給又ハ手當額算定ノ件……………大九 縣令 五九 三六七
- 三重縣公立學校職員年功加俸令施行細則……………大九 縣令 七三 三六七

第八編 職員

第九章 統計及報告

- 學事一覽表調製ニ關スル件……………明四四 訓令甲 二 三七五
- 縣立學校職員ノ缺勤及生徒出席並授業日數等調査報告ノ件……………大一二 訓令甲 一八 三七九
- 青年團處女會一覽表ノ件……………大二〇 訓令甲 二 三八〇

第十章 雜

- 教員家族ノ副業獎勵方……………大八 訓令甲 三一 三八五
- 青年團體ノ實績改善ニ關スル件……………大九 訓令甲 三 三八六

第七編 學事

第一章 御影、勅語及敬禮

●御眞影ニ關スル心得

(明治二十五年十一月八日)
訓令甲第八十三號

町村 役場
尋常小學校

聖上 皇后兩陛下複寫御眞影ヲ尋常小學校へ奉揚許可セラレタルハ〔明治二十三年勅令第二百十五號〕小學校令〔第十五條同二十四年文部省令第四號祝日大祭日ノ儀式ニ關スル規程〕ニヨリ祭祝日ニ値リ校内ニ奉揚シ職員生徒一同謹テ奉拜シ益々忠君愛國ノ精神ヲ涵養發揮セシムルノ主旨ニ有之候條宜ク深ク此意ヲ體シ左記各項ノ通相心得最モ鄭重ニ取扱ヒ最モ嚴重ニ保管スヘシ

一 校内ニ於テ最モ清潔ニシテ且取締嚴重ナル場所ヲ撰ビ御影ヲ奉置スヘシ

第七編 學事 第一章 御影、勅語及敬禮

- 二 御影ハ祝日大祭日ノ當朝校長式場へ奉持シ儀式畢レハ直チニ奉置ノ場所へ復スヘシ
- 三 非常變災ノ節ハ速ニ 御影ヲ他ニ奉移シ嚴重ニ保管スヘシ但其保管ノ方法ハ豫メ定メ置クヲ要ス
- 四 廢校合併等ニヨリ尋常小學校ノ資格ヲ失フトキハ元其校へ奉揚許可ノ 御影ハ直ニ縣廳へ差出スヘシ

●教育ニ關スル勅語謄本返納ノ件

(明治二十四年二月二十七日)
訓令甲第二十三號

郡市 役所
町村 役場

客年教育ニ關スル 勅語謄本並文部大臣訓示ヲ各私立學校ニ交付候處交付後閉校等致候節ハ右謄本訓示トモ直ニ返納セシメ候様取計フヘシ

●御眞影ノ複寫ニアラサル他ノ御影奉掲ノ件

(明治二十五年七月二十二日) (訓令甲第六十五號)

小學校ニ於テ自今 御眞影ノ複寫ニアラサル他ノ 御影ヲ儀式場ニ奉掲セントスルトキハ豫メ其 御影ヲ當廳ニ差出シ縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

●行幸啓ノ節學生生徒兒童敬禮方

(大正五年十月十三日) (訓令甲第二十號)

郡役所 市役所 縣立學校

行幸啓ノ際ニ於ケル學生生徒兒童ノ敬禮方自今左ノ通心得ヘシ

行幸啓ノ節學生生徒兒童敬禮方

一、武裝携銃ノ場合

學校長及職員ハ全隊ノ右翼ニ指揮者ハ各中隊ノ右翼ニ位置ス

二

シ豫メ鈕ヲ銃ニ裝セシメ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車力中隊ノ右翼約十歩ニ近キタルトキ「捧銃」ノ號令ニテ一齊ニ捧銃ヲナサシメ御車力中隊ノ左翼約十歩ヲ過キタルトキ元ノ姿勢ニ復セシム

二、武裝セサル場合(女子ヲ含ム)

御車力中隊ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長、職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

學校長及職員ハ全列ノ右翼ニ指揮者ハ各組ノ右翼ニ位置シ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ一齊ニ脱帽セシメ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車力指揮者ノ前ニ進シタルトキ「禮」ノ號令ニテ敬禮セシメ(體ノ上部ヲ約三十度前方ニ屈シ御車ニ注目セシム)「直レ」ノ號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム

御車力組ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長、職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

●公立學校三大節儀式規定

(明治三十四年十一月一日) (訓令甲第六十四號)

公立學校(小學校ヲ除ク)

紀元節、天皇節、一月一日ニ於テハ職員及生徒學校ニ參集シテ左ノ式ヲ行フヘシ

一 職員及生徒「君カ代」ヲ合唱ス

二 職員及生徒ハ

天皇陛下

皇后陛下

皇太子殿下ノ御影ニ對シ奉リ最敬禮ヲ行フ

三 學校長ハ教育ニ關スル勅語ヲ奉讀ス

四 學校長ハ教育ニ關スル勅語ニ基キ聖旨ノアル所ヲ誨告ス

五 職員及生徒ハ其ノ祝日ニ相當スル唱歌ヲ合唱ス

御影ヲ拜戴セサル學校及本縣ニ於テ奉掲ヲ許可シタル複寫御影ヲ奉戴セサル學校ニ於テハ第二ノ式ヲ闕ク又唱歌ヲ奏セサル學校ニ於テハ第一及第五ノ式ヲ闕クコトヲ得

第二章 總則

●有租地ヲ公立學校及私立學校ノ

用地ト爲シタルトキ稅務署ヘ通

知方

(大正九年六月十八日) (訓令甲第二十九號)

郡役所 市役所

有租地ヲ公立學校及大正八年法律第三十八號第一條第一號ニ掲クル學校ノ用地ト爲シタルトキハ其ノ都度該郡市町村字地番地目段別並認可又ハ指定ノ年月日等ヲ記シ當該圖面ヲ添ヘ所轄稅務署ニ通知スヘシ

前項學校ノ用地ニ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

●縣立學校每日始業時刻

(明治三十七年五月二十七日)
(訓令甲第三十四號)

縣立學校

縣立學校每日始業ノ時刻左ノ通定ム

特別ノ事由アリテ本訓令ニ依リ難キモノハ知事ノ指揮ヲ請フ
ヘシ

本訓令ハ明治三十七年六月一日ヨリ施行ス

四月一日ヨリ四月三十日マテ	午前九時始業
五月一日ヨリ六月三十日マテ	午前八時始業
七月一日ヨリ九月十日マテ	午前七時始業
九月十一日ヨリ九月三十日マテ	午前八時始業
十月一日ヨリ翌年三月三十一日マテ	午前九時始業

●改正條約實施ニ付學校職員生徒心得方

(明治三十二年七月七日)
(訓令甲第六十六號)

郡役所	縣立學校
市役所	町村役場
市町村立學校	私立學校

改正條約實施ノ期僅ニ數日ヲ出テサラムトシ茲ニ新ニ
詔勅ヲ下シタマヒ又文部大臣ヨリ文部省訓令第十號ヲ以テ學
校職員生徒ノ心得方ヲ訓令セラレ篤ク恭ミテ
數旨ヲ奉體シ能ク訓令ノ趣旨ヲ遵守シ此ノ際尙ホ一層戒慎ヲ
加ヘ風紀規律ヲ嚴正ニシ篤ク本分ヲ守リ以テ生徒教養ノ方ヲ
誤ルコトナキヲ期スヘシ

●校舍建築取締方

(明治四十二年九月十四日)
(訓令甲第三十六號)

郡役所	市役所
市役所	町役場

明治四十二年文部省訓令第十一號ヲ以テ道廳長官府縣知事ニ
對シ學校ニ於ケル校舍ノ建築並ニ實業學校ノ經營ニ關シ訓令
セラレタルニ就テハ其役所ニ在リテモ該訓令ノ主旨ニ基キ指
道監督宜シキヲ得ラルヘシ

●學校體操教授要目ノ件

(大正二年四月十五日)
(訓令甲第七號)

郡役所	市役所
町村役場	小學校

今般文部省訓令第一號ヲ以テ學校體操教授要目ヲ公示セラレ
タリ郡市長ハ宜シク各學校長ヲ督勵シ此ノ要旨ノ示ス所ヲ參
照シ土地ノ情況兒童身體ノ發達其ノ他男女ノ區別學年ノ高下

●理化學研究獎勵ノ件

(大正七年二月二十六日)
(訓令甲第六號)

郡役所	市役所
-----	-----

等ヲ考慮シ各々適切ナル教程ヲ定メ以テ體育ノ振興ヲ圖リ日
童身體ノ健全ナル發達ヲ期セシメラルヘシ
明治四十一年二月本縣訓令甲第七號ハ之ヲ廢止ス

理化學ノ研究ヲ獎勵シ其ノ知識ノ普及ヲ圖リ以テ殖産興
ノ他苟モ國力ノ充實ニ資スヘキ事業ノ健全ナル發達ヲ期ス
ハ實ニ今日ノ急務タリ各學校ニ於テハ固ヨリ夙ニ此ノ趣旨
基キ理化學教授ニ努ムル所アリト雖國家ノ將來ニ稽フレハ一
層其ノ教授方法ヲ改善シ特ニ重キヲ實驗ニ置キ努メテ形式ニ
流レ注入ニ陷ルル弊ヲ防キ以テ國民生活ノ實際ニ適切ナル知
識技能ヲ確實ニ會得セシメ兼テ獨創自發ノ精神ヲ涵養セムコ
トヲ要ス

此ノ目的ヲ達セムカ爲各學校ニ於テ適宜施設セシメ理化學教

授ノ效果ヲ完ウセムコトヲ期セシメラルヘシ

●高等學校高等科入學資格試驗施行規程

(大正八年五月六日 告示第百三十九號)

附則 大正九年一月告示第四三一號、一三年一月同第五一六號改正

高等學校高等科入學資格試驗施行規程左ノ通定ム

高等學校高等科入學資格試驗施行規程

- 第一條 大正八年文部省令第九號高等學校高等科入學資格試驗規程ニ依ル試驗ハ三重縣内公立中學校ニ於テ之ヲ施行ス
- 第二條 前條ノ試驗ハ毎年一月第三月曜日ヨリ之ヲ施行ス
- 第三條 試驗志願者ハ第一號書式ノ願書ニ第二號書式ノ履歷書第三號書式ノ身體檢查書及最近撮影ニ係ル自己ノ小形寫眞ノ裏ニ氏名生年月日ヲ自署シタルモノヲ添附シ試驗期日五日以前ニ試驗ヲ施行スヘキ學校ニ差出スヘシ
- 第四條 試驗出願者ハ手数料金貳圓ヲ願書提出ト同時ニ納付

スヘシ

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式(用紙野半紙)

試驗願

私儀高等學校高等科入學資格試驗施行規程ニ依リ試驗相受度候間別紙履歷書、身體檢查書、寫眞及試驗手数料金貳圓相添此段願上候也

年月日

原籍 道廳府縣郡區市町村番屋敷(地、戶)

現住所 縣郡市町村番屋敷

華、士族、平民、戶主又ハ何某何子、兄弟

氏名

殿

三重縣立津中學校長

第二號書式(用紙野半紙)

履歷書

氏

名

生年月日

原籍 道廳府縣郡區市町村番屋敷(地、戶)

生所 同上

現住所 縣郡市町村番屋敷

一、何年何月ヨリ何年何月迄何所何學校ニ於テ何科何學年修業又ハ卒業

一、何年何月ヨリ何年何月迄何所何某ニ就キ何々修業

一、何年何月何所ニ於テ何ノ廉ニ付賞罰ヲ受ク等

右ノ通ニ候也

年月日

右

氏名

何

身體檢查書

族籍

何

某

生年月日

體式格

第七編 學事 第二章 總則

●在支那上海東亞同文書院留學生 派遣規程

(明治四十一年七月十七日)
(縣令第六十四號)

明治四十二年四月縣令第二九號、四十四年五月同第二八號、大正六年五月同第一七號、七年四月同第二一號、八年二月同第一九號、九年四月同第三〇號、一四一年一月同第二號改正

在支那上海東亞同文書院留學生派遣規程左ノ通之ヲ定ム

在支那上海東亞同文書院留學生派遣規程

- 第一條 留學生志願者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス
 - 一 本縣在籍者又ハ在任者ニシテ中學校ヲ卒業シタル者又ハ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者若ハ同規程第十一條第二號ニ依リ指定ヲ受ケタル者ニシテ品行方正志操堅實身體健全ノ者タルコト
 - 二 出願ノ年ノ四月一日ニ於テ年齡二十五年以下ナルコト
- 第二條 留學生ハ左記科目ニ就キ中學校卒業ノ程度ニ依リ試

驗シ且試問及身體檢査ヲ行ヒ之ヲ選定ス

國語及漢文 數學 英語

第三條 選定セラレタル者ハ保證人二名ノ連署ヲ以テ誓約書ヲ差出スヘシ

保證人ハ相當ノ資産ヲ有スル成年ノ男子ニシテ本縣内ニ在住スル者タルコトヲ要ス

第四條 保證人ハ本人ニ關スル一切ノ事件ニ就キ其ノ責ヲ負フ

知事ニ於テ保證人ヲ不適當ト認メタルトキハ之カ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第五條 派遣生ニハ學資及入學渡航旅費ヲ支給ス
學資ノ給與額ハ入學當月ヨリ卒業當月迄毎月金四拾五圓トス

旅費額ハ毎年度知事之ヲ決定ス

病氣其ノ他ノ事由ニテ休學シ又ハ久シキニ互リ缺席スルトキハ其ノ情狀ニ依リテ學資金ノ一部又ハ全部ノ給與ヲ停止スルコトアルヘシ

第六條 卒業後五年間ハ其ノ從事シタル業務ヲ届出ツヘシ其

ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

卒業後更ニ補習科ニ進入シタルトキハ其ノ旨届出ツヘシ但

シ補習科在學中ノ學資金ハ之ヲ給與セス

補習科ヲ半途退學シ又ハ終了シタル後ニ於テハ第一項ノ規

定ヲ準用ス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當シタル者ニハ給與シタル學資金

ノ一部若ハ全部ノ償還ヲ命スルコトアルヘシ

一 東亞同文書院章程第二十七條各號ニ依リ退學ヲ命セラ

レタル者但シ同第二號ニ依リ退學ヲ命セラレタル者ニ

ハ其ノ情狀ニ依リ學資金 全部若ハ一部ノ償還ヲ免除

スルコトアルヘシ

二 自己ノ便宜ニ依リ退學シタル者

第八條 左ノ事項ハ其ノ都度之ヲ届出ツヘシ

一 休學ノ許可ヲ得タルトキハ其ノ年月日

一 缺席三十日以上ニ及フトキ

一 病氣又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ歸國シタルトキハ其ノ事

由及期間並許可ノ年月日

第九條 留學生志願者ハ入學志望科名ヲ記載シタル願書ニ履

歷書ヲ添ヘ知事ニ願出ツヘシ

派遣スヘキ人員並出願及選拔試驗ノ期日等ハ毎年度豫メ之ヲ

公示ス

●日露協會學校生徒派遣規程

(大正十年一月二十五日)
(縣令第三號)

大正一四年一月縣令第三號改正

日露協會學校生徒派遣規程左ノ通定ム

日露協會學校生徒派遣規程

第一條 日露協會學校ニ派遣スル生徒ノ志願者ハ左ノ資格ヲ

具備スルモノタルヘシ

一、本縣在籍又ハ在任者ニシテ中學校ヲ卒業シタル者又ハ

專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル

者若ハ同規程第十一條第二項ノ指定ヲ受ケタル者ニシ

テ品行方正志操堅固身體健全ノ者タルコト

第七編 學事 第二章 總則

一、出願ノ年ノ四月一日ニ於テ年齡二十五年以下ナルコト
第二條 派遣生ハ左記科目ニ就キ中學校卒業ノ程度ニ依リ試
驗シ且試問及身體検査ヲ行ヒ之ヲ選定ス

國語及漢文 數學 英語

第三條 選定セラレタル者ハ保證人二名連署ヲ以テ第一號樣
式ノ誓約書ヲ差出スヘシ

保證人ハ相當ノ資産ヲ有スル成年ノ男子ニシテ本縣内ニ在
住スル者タルヘシ

第四條 保證人ハ本人ニ關スル一切ノ事件ニ就キ其ノ責ヲ負
フモノトス

知事ニ於テ保證人ヲ不適當ト認メタルトキハ之カ變更ヲ命
スルコトアルヘシ

第五條 派遣生ニハ學資及入學渡航旅費ヲ支給ス
學資ノ給與額ハ入學當月ヨリ卒業當月マテ毎月金四拾五圓
トス

旅費額ハ毎年度知事之ヲ決定ス

病氣其ノ他ノ事由ニ依リ休學又ハ久シキニ互リ缺席スルト

十

キハ其ノ情狀ニ因リ學資金ノ一部又ハ全部ノ給與ヲ停止ス
ルコトアルヘシ

第六條 卒業後五年間ハ其ノ從事シタル業務ノ種類及住所ヲ
毎年五月届出ツヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當シタル者ニハ給與シタル學資金
ノ一部若ハ全部ノ償還ヲ命ス

一、日露協會學校規則第十六條各號ニ依リ退學ヲ命セラレ
タル者但シ同第二號ニ依リ退學ヲ命セラレタル者ニハ
其ノ情狀ニ依リ學資金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ免除ス
ルコトアルヘシ

二、自己ノ便宜ニ依リ退學シタル者

第八條 左ノ事項ハ其ノ都度之ヲ届出ツヘシ

一、休學ノ許可ヲ得タルトキハ其ノ年月日

一、缺席三十日以上ニ及フトキ

一、疾的又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ歸郷シタルトキハ其ノ事
由及期間並許可ノ年月日

第九條 派遣生志願者ハ願書ニ履歷書ヲ添ヘ知事ニ届出ツヘ

シ
派遣スヘキ人員其出願及選拔試驗期日ハ毎年豫メ之ヲ告示
ス

第一號樣式

印紙 誓約書

私儀今般日露協會學校三重縣派遣生徒トシテ御選定相受候
ニ付テハ御縣派遣規程及日露協會學校規則ヲ遵守可致萬一
違背ノ節ハ保證人連署ヲ以テ義務履行スルハ勿論其ノ他一
切ノ責ニ任スヘク候仍テ保證人連署ノ上誓約候也

年 月 日

現籍

現住所

本人

原籍

現任所 職業

保證人 何

某

某

原籍

現住所 職業

保證人 何

三重縣知事氏 名殿

某

●三重縣水谷獎學基金學資補給規

程 (明治三十九年六月十九日)

(告示第百八十九號)

明治四一年一〇月告示第四二七號改正

三重縣水谷獎學基金學資補給規程左ノ通相定ム

三重縣水谷獎學基金學資補給規程

第一條 三重縣在籍者タル左記學校ノ學生生徒中品行方正身

體健全既修學科ノ成績佳良ナル者ニシテ其ノ學資ヲ補給ス

ルノ必要アリト認ムル者ニハ本規程ニ依リ之ヲ補給ス

學資ヲ補給スルハ桑名郡在籍者ヲ先ニシ次ニ其ノ他ニ及ホ

スモノトス

一 帝國大學

二 高等學校

第七編 學事 第二章 總則

三 官公立專門學校官公立實業專門學校

四 陸軍幼年學校

五 以上ノ各學校ニ準スヘキ官公私立學校

第二條 學資ノ補給ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ノ願書ニ

第二號書式ノ履歷書ヲ添附シ所轄郡市長ヲ經テ之ヲ知事ニ
差出スヘシ

第三條 郡市長ニ於テ前條ノ願書ヲ受理シタルトキハ本人及
其ノ戶主ノ資産納稅額並生計ノ狀況ヲ調査シ意見ヲ付シ之
ヲ知事ニ差出スヘシ

第四條 學資ノ補給額ハ月額金貳拾圓以內トス

第五條 學資ノ補給ヲ許可シタルトキハ其ノ月全額分ヲ補給
シ之ヲ廢止又ハ停止シタルトキハ其ノ翌月分ヨリ之ヲ支給
セサルモノトス但シ其ノ月分ノ補給ヲ行フニ先チ補給ヲ廢
止又ハ停止シタルトキハ之ヲ支給セス

第六條 學資ノ補給ヲ受クル者官費生ト爲リ又ハ他ニ學資支
辨ノ途ヲ得タルトキハ補給ヲ廢止シ又ハ其ノ金額ヲ減少ス
第七條 學資ノ補給ヲ受クル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキ

ハ補給ヲ廢止ス但シ第二號乃至第四號ニ該當スルモ其ノ程
度ノ輕キモノハ補給ヲ停止ス

一 退學シタルトキ

二 懲戒處分ヲ受ケ情狀重シト認メタルトキ

三 學業ノ成績不良ナルトキ

四 品行不良學業懈怠ノ事實アリタルトキ

第八條 學校ヲ缺席スルコト三箇月ニ及フトキハ其ノ後ノ缺
席中學資ヲ補給セス

休學ハ總テ缺席ト見做ス

第九條 學資ノ補給ヲ許可シタルトキハ直ニ第三號書式ニ依
リ保證人ノ連署シタル誓約書ヲ差出スヘシ

保證人ハ本縣内ニ在住シ一家ノ生計ヲ立ツル成年以上ノ男
子ニシテ相當ノ資産ヲ有スル者ニ限ル

第十條 保證人ハ本人ノ身上ニ關スル一切ノ事件ニ就キ責任
ヲ有スルモノトス

保證人死亡シタルトキ若ハ保證人タル能ハサル事故ヲ生シ
タルトキハ更ニ保證人ヲ定ムヘシ其ノ保證人ト爲リタル者

被成下度此段願上候也

年月日

右

氏

名

印

三重縣知事氏名殿

履歷書

原籍

現住所

華士族平民戶主又ハ何某何子兄弟等

氏

名

生年月日

一 學業

何年何月ヨリ何年何月迄何所何學校ニ於テ何學科何學年
迄修業又ハ卒業何年何月ヨリ何年何月迄何所何某ニ就キ

何々修業

一 職業

何年何月ヨリ何年何月迄何々ノ業務ニ從事等

一 賞罰

第七編 學事 第二章 總則

ハ直ニ第四號書式ノ保證書ヲ差出スヘシ
知事ニ於テ保證人ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ更改セシ
ムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル
保證人其ノ住所氏名ヲ變更シ又ハ印章ヲ改メタルトキハ速
ニ知事ニ届出ツヘシ

第十一條 學資ノ補給ヲ受クル者ハ在學中左ノ事項ヲ知事ニ
届出ツヘシ

一 自己及戶主ノ納稅額ニ異動ヲ生シタルトキ

一 自己及戶主ノ身上ニ關スル異動

一 其ノ他在學關係ノ重要ナル事項

第一號書式 (用紙美濃紙)

學資補給願

現住所

補給月額金何圓

氏

名

私儀目下何々學校ニ在學中ノ處學資不足ニ付同校在學中
(私儀何々學校へ入學致度候處學資不足ニ付同校へ入學ノ
上ハ在學中)三重縣水谷獎學基金ヨリ頭書ノ學資金御補給

第七編 學事 第二章 總則

何年何月何所ニ於テ何々ニ付何賞ヲ受ク或ハ何罰ヲ受ク
右ノ通ニ候也

年 月 日 右 氏 名 ㊦

(本履歴書ニハ戸籍簿本ヲ添附スヘシ)
第三號書式 (用紙美濃紙)

誓約證書

私儀何々學校在學中三重縣水谷獎學基金ヨリ學資ヲ補給セ
ラレ候ニ付テハ該學校ニ於ケル諸規則命令等ヲ遵守シ勉學
可致ハ勿論三重縣水谷獎學基金學資補給規程堅ク相守リ且
卒業後ニ在テモ三重縣水谷獎學基金設置ノ主旨服膺可致候
仍テ此段誓約候也

年 月 日 原籍 現住所 華士族平民戶主又ハ何某何子兄弟等 本人 氏 名 ㊦ 生年月日

十四

前書本人誓約ノ趣ハ保證人ニ於テ必之ヲ實行可爲致其ノ他
本人ニ關スル事件ハ一切保證人ニ於テ引受其ノ責ニ任シ可
申候仍テ保證候也

原籍

現住所

華士族平民職業

保證人 氏 名 ㊦

生年月日

三重縣知事氏名殿

第四號書式 (用紙美濃紙)

保證書

住所

華士族平民戶主又ハ何某何子兄弟等

本人 氏 名 ㊦

生年月日

右ノ者ニ關スル保證ノ責任ハ爾後拙者ニ於テ引受可申候仍
テ保證候也

年 月 日

原籍

現住所

華士族平民職業

保證人 氏 名 ㊦

生年月日

三重縣知事氏名殿

●三重縣恩賜獎學資金學資補給規程

(大正十年十月十四日 縣令第五十七號)

三重縣恩賜獎學資金學資補給規程左ノ通定ム

恩賜獎學資金學資補給規程

第一條 恩賜獎學資金ヨリ支出スル學資ノ補給ハ左ノ各號ニ
該當シ證衛委員會ノ決定ヲ經タル者タルヘシ

- 一 三重縣ニ本籍ヲ有スル者若ハ本縣内中等學校ヲ卒業シ
タル者

一 學修上相當年齢ニシテ品行方正身體健全既修學科ノ成

第七編 學事 第二章 總則

續佳良ナルコト

一 學資補給當時左ノ學校ニ在學スル者タルヘシ

一 帝國大學

二 高等學校

三 官公立專門學校官公立實業專門學校

四 以上各學校ニ準スヘキ官公立學校

第二條 前條證衛委員會ハ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

一 會長

二 常任委員

三 臨時委員

第三條 證衛委員會長ハ本縣内務部長ヲ以テ之ニ充ツ常任委
員及臨時委員ハ左ノ者ニ就キ知事之ヲ命ス

一 三重縣視學官

一 三重縣立各學校校長

第四條 會長ハ會務ヲ整理シ證衛ノ結果ヲ知事ニ報告スヘ
シ

十五

第七編 學事 第二章 總則

會長事故アルトキハ本縣視學官其ノ職務ヲ代理ス

第五條 委員ハ會長ノ指揮ヲ承ケ詮衡ニ關スル事務ヲ掌ル

第六條 詮衡委員會ニ書記ヲ置ク

書記ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第七條 學資ノ補給ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ノ願書ニ

第二號書式ノ履歷書ヲ添付シ所轄郡市長ヲ經テ之ヲ知事ニ

差出スヘシ

第八條 學資ノ補給額ハ月額金參拾圓以內トス

第九條 學資ノ補給ヲ許可シタルトキハ其ノ月全額分ヲ補給

シ廢止又ハ停止シタルトキハ其ノ翌月分ヨリ之ヲ支給セサ

ルモノトス但シ其ノ月分ノ補給ヲ爲ス以前ニ於テ學資ノ補

給ヲ廢止又ハ停止シタルトキハ之ヲ支給セス

第十條 學資ノ補給ヲ受クル者官費生ト爲リ又ハ他ニ學資支

辨ノ途ヲ得タルトキハ補給ヲ廢止シ又ハ其ノ金額ヲ減少ス

第十一條 學資ノ補給ヲ受クル者左ノ各號ノ一ニ該當スルト

キハ補給ヲ廢止ス但シ第二號乃至第四號ニ該當スルモ其ノ

程度ノ輕キモノハ補給ヲ停止ス

一 退學シタルトキ

二 懲戒處分ヲ受ケ情狀重シト認メタルトキ

三 學業ノ成績不良ナルトキ

四 品行不良學業懈怠ノ事實アリタルトキ

前項第一號又ハ第二號ニ該當スルトキハ其ノ情狀ニ依リ既

ニ補給シタル學資ノ全部又ハ一部ヲ償還セシムルコトアル

ヘシ

第十二條 學校ヲ缺席スルコト三ヶ月ニ及フトキハ其ノ後ノ

缺席中學資ヲ補給セス

第十三條 學資ノ補給ヲ許可シタルトキハ直ニ第三號書式ニ

依リ保證人ノ連署シタル誓約書ヲ差出スヘシ

保證人ハ本縣内ニ在住シ一家ノ生計ヲ立ツル成年以上ノ男

子ニシテ直接國稅年額拾圓以上ヲ納ムル者ニ限ル

第十四條 保證人ハ本人ノ身上ニ關スル一切ノ事件ニ就キ書

任ヲ有スルモノトス

保證人死亡シタルトキ若ハ保證人タル資格ヲ失ヒタルトキ

ハ更ニ保證人ヲ定メ遲滯ナク第四號書式ノ保證書ヲ差出ス

ヘシ

知事ニ於テ保證人ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ更改セシ

ムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依リ保證人

其ノ住所氏名ヲ變更シ又ハ印章ヲ改メタルトキハ速ニ之ヲ

知事ニ届出ツヘシ

第十五條 學資ノ補給ヲ受クル者ハ在學中左ノ事項ヲ知事ニ

届出ツヘシ

一 自己及戶主ノ納稅額ニ異動ヲ生シタルトキ

一 自己及戶主ノ身上ニ關スル異動

一 其ノ他在學關係ノ重要ナル事項

附 則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式 (用紙美濃紙)

學資補給願

補給月額金何圓

私儀目下何々學校ニ在學中ノ處學資不足ニ付同校在學中

(私儀何々學校へ入學致度候處學資不足ニ付同校へ入學ノ

第七編 學事 第二章 總則

上ハ在學中) 三重縣恩賜獎學資金ヨリ願書ノ學資金補給被
成下度此段願上候也
年 月 日

現住所 本人 氏 名 ㊟

現住所 本人 氏 名 ㊟

現住所 右父(母、後見人又ハ戶主)

(本人成年者ナル時ハ之ヲ要セス) 氏 名 ㊟

三重縣知事 氏 名宛

第二號書式 (用紙美濃紙)

履 歷 書

原 籍

現住所

華士族平民戶主又ハ何某何子兄弟等

氏 名

生 年 月 日

一、學 業

第七編 學事 第二章 總則

何年何月ヨリ何年何月迄何所何學校ニ於テ何學科何學年迄修業又ハ卒業何年何月ヨリ何年何月迄何所何某ニ就キ何々修業

一、職業

何年何月ヨリ何年何月迄何々ノ業務ニ從事等

一、賞罰

何年何月何所ニ於テ何々ニ付何賞ヲ受ク或ハ何罰ヲ受ク右ノ通ニ候也

年 月 日

右 氏 名 ㊦

(本履歷書ニハ月籍簿本ヲ添付スヘシ)

第三號書式 (用紙美濃紙)

誓約證書

私儀何々學校在學中三重縣恩賜獎學資金ヨリ學資ヲ補給セラレ候ニ付テハ該學校ニ於ケル諸規則命令等ヲ遵守シ勉學可致ハ勿論三重縣恩賜獎學資金學資補給規程堅ク相守リ且ツ卒業後ニ在テモ三重縣恩賜獎學資金設置ノ主旨服膺可致

候此段誓約候也

年 月 日

原籍

現住所

華士族平民職業

本人 氏 名 ㊦

現住所 生年月日

右父(母、後見人又ハ月主)

(本人成年者ナル時ハ之ヲ要セス) 氏 名 ㊦

前書本人誓約ノ趣ハ保證人ニ於テ必ス之ヲ實行可爲致其ノ他本人ニ關スル事件ハ一切保證人ニ於テ引受其ノ責ニ任シ可申候仍テ保證候也

原籍

現住所

華士族平民職業

保證人 氏 名 ㊦

三重縣知事 氏 名宛 生年月日

第四號書式 (用紙美濃紙)

保證書

住所

華士族平民戶主又ハ何某何子兄弟等

本人 氏 名

生年月日

右ノ者ニ關スル保證ノ責任ハ爾後拙者ニ於テ引受可申候仍テ保證候也

年 月 日

原籍

現住所

華士族平民職業

保證人 氏 名 ㊦

生年月日

三重縣知事 氏 名宛

●三重縣恩賜兒童就學獎勵規程

(大正十三年七月四日) 縣令第二十四號

三重縣恩賜兒童就學獎勵規程左ノ通定ム

三重縣恩賜兒童就學獎勵規程

第一條 貧困ノ爲就學スルコト困難ナル學齡兒童ニシテ救済ノ必要アリト認ムル場合ハ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ相當獎勵金ヲ市町村ニ交付シ適當ノ施設ヲ爲サシムルモノトス

第二條 市町村長ハ毎年四月一日現在ニ於ケル學齡兒童ニシテ貧困ノ爲就學スルコト困難ナル者ヲ調査シ四月二十日迄ニ町村長ハ郡長ニ市長ハ知事ニ報告スヘシ

第三條 郡長ハ前項報告ヲ調査シ四月末日限り知事ニ進達スヘシ 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル市町村ハ貧困兒童ノ救済施設ヲ定メ其ノ方法ヲ詳具シ遲滞ナク知事ニ報告スヘシ

第四條 市町村ハ獎勵金ノ一部ヲ以テ貧困兒童就學獎勵ノミヲ目的トスル基礎鞏固ナル公益團體ノ事業ヲ助成スルコト

ヲ得

第五條 前條ニ依リ事業ノ助成ヲ爲サムトスルトキハ豫メ知事ノ承認ヲ受クヘシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

第二條ニ依リ町村長ヨリ郡長ニ報告スル期限ハ大正十三年度ニ限リ七月末日迄トシ郡長又ハ市長ヨリ知事ニ提出スル期限ハ八月十五日迄トス

第三章 普通教育

第一款 小學校

●小學校令及小學校令施行規則實施ニ關スル規程

(明治三十三年十二月二十八日) 縣令第六十二號

- 附則 明治三十四年縣令第二九號、三十七年同第二四號、同第四二號、三十九年九月同第五〇號、同年一〇月同第六二號、四〇年八月同第三九號、四一年三月同第一八號、四二年四月同第三三號、四四年同第三三號、四五年四月同第二〇號、大正元年一月同第一五號、大正三年二月同第四號、同年一月同第三七號、四年九月同第一八號、七年四月同第二三號、八年五月同第三九號、九年六月同第四八號、同年九月同第五六號、一〇年九月同第五三號、一二年一月同第一號

第七編 學事 第三章 普通教育 第一款 小學校

一三年九月同第三五號改正

明治三十三年(八月)勅令第三百四十四號小學校令及明治三十三年(八月)文部省令第十四號小學校令施行規則實施ニ關スル規程左ノ通相定ム

小學校令及小學校令施行規則實施ニ關スル規程

- 第一章 設置
- 第二章 教科及編制
- 第三章 設備
- 第四章 就學
- 第五章 教員檢定
- 第六章 小學校長及教員ノ進退
- 第七章 小學校長及教員ノ職務服務
- 第八章 市町村立小學校教員ノ俸給旅費其ノ他諸給與
- 第九章 市町村立小學校代用教員ノ俸給旅費其ノ他諸給與
- 第十章 區長及其ノ代理者
- 第十一章 幼稚園及小學校ニ類スル各種學校

第十二章 附則

第一章 設置

第一條 小學校令第九條第二項ニ依リ尋常小學校ノ校數及位置ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ稟申スヘシ
但シ校地ノ擴張ニ就テハ第一號及第五號ヲ具スルヲ要セス
一 校 數

名稱ヲ附記スヘシ

二 位 置

町村大字名地番地目反別其ノ所有區別ヲ記シ尙町村各
大字ノ名稱區域通學路程道路山川原野池沼兒童ノ通學
ニ關係アル地形上ノ狀況ヲ記載シタル地圖ヲ添付スル
ヲ要ス但シ校地擴張ノ場合ニ於テハ地圖ヲ添付スルヲ
要セス

三 校地及ヒ體操場

第十六條ノ事項ヲ記シ尙形狀方位間口奥行ノ間數四隣
ノ狀況約一町以内接續地ニ比シタル高低建物ノ配置及
校地ト體操場ト接續セサル場合ニ在リテハ其ノ距離通

路等ヲ見得ヘキ圖面(縮尺六百分ノ一)ヲ添付スルヲ要ス

四 學齡及就學スヘキ兒童數

校數二個以上ナルトキハ一學校毎ニ區別スヘシ

五 通學ノ最遠距離

校數二個以上ナルトキハ一學校毎ニ記載スヘシ

六 町村町村學校組合ノ意見

七 經費及其ノ出處

第二條 小學校令第十條ニ依リ町村學校組合又ハ兒童教育事

務委託ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ各號ヲ具シ稟申ス
ヘシ

一 事 由

二 學齡及就學スヘキ兒童數

町村毎ニ區別シ尙其ノ一部ニ關スルモノハ其ノ部ヲ區
別シテ記載スヘシ

三 通學ノ最遠距離

校數二個以上ナルトキハ一學校毎ニ記載スヘシ

四 關係町村町村學校組合及學區ノ意見

五 組合規約但シ町村學校組合ヲ設クル場合ニ限ル

前項ノ組合規約ヲ變更シ、組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ組合
ヲ解キ若ハ委託ヲ止メシムル認可ヲ受ケムトスルトキハ其
ノ事由並關係町村、町村學校組合及學區ノ意見ヲ具シ稟申
スヘシ

第三條 小學校令第十一條第二項ニ依リ小學校指定ノ認可ヲ

受ケントスルトキハ左ノ各號及第二條第一項第一號第二號

ヲ具シ稟申スヘシ

一 地 圖

關係町村町村學校組合及其ノ學區並指定小學校ノ位置
等ヲ記載スルヲ要ス

二 關係町村町村學校組合及學區ノ意見

前項ノ指定ヲ止メシムルノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ

事由並關係町村町村學校組合及學區ノ意見ヲ具シ稟申スヘ
シ

第四條 小學校令第十五條ニ依リ高等小學校設置ノ認可ヲ受

ケントスルトキハ左ノ各號ヲ具シ稟申スヘシ

一 名 稱

二 位 置

三 設置區域

四 入學スヘキ男女別兒童數及學級編制

五 通學ノ最遠距離

六 經費ノ屬スル市町村、市町村學校組合、町村學校組合

又ハ學區ノ歲入出豫算但シ學區ノ負擔ヲ以テ設置スル

場合ニ於テハ其ノ學區ノ屬スル市町村歲入出豫算ヲモ

添フルコトヲ要ス

前項ノ稟申ヲ爲ストキハ同時ニ第八條第一項及第三十條ノ

稟申ヲ爲スコトヲ要ス

高等小學校廢止ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其事由ヲ具シ

稟申スヘシ

第五條 市町村立尋常小學校高等小學校ニ教科ノ併置又ハ廢

止ノ認可ヲ受ケントスルトキハ前條ニ準據スヘシ

第六條 小學校令第十四條ニ依リ町村學校組合ヲ設クルノ指

揮ヲ受ケントスルトキハ左ノ各號ヲ具シ稟申スヘシ

一 事由

二 通學路程

三 就學スヘキ兒童數

四 組合規約

前項ノ組合規約ヲ變更シ、組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ組合ヲ解クノ指揮ヲ受ケムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ稟申スヘシ

第七條 小學校令第十六條ニ依リ私立小學校設置ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ各號ヲ具シ稟申スヘシ

一 名稱

二 位置

三 就學スヘキ兒童數及學級編制

四 授業料

五 維持法及經費

前項ノ稟申ヲ爲ストキハ同時ニ第八條第一項並第三十條ノ稟申ヲ爲スコトヲ要ス

第一項ノ學校ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ稟申

スヘシ

第二章 教科及編制

第八條 小學校令第二十三條ニ依リ小學校ノ教科目ヲ加除セムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ稟申スヘシ但シ加設教科目ヲ隨意科目ト爲シ又ハ選擇科目ト爲サムトスルトキハ其ノ旨稟申書ニ記載スルヲ要ス

一 事由

二 各教科目ノ每週教授時數

補習科設置ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ各號ヲ具シ稟申スヘシ

一 事由

二 入學スヘキ男女別兒童數及學級編制

三 教室ノ圖面(長幅ノ間數並坪數ヲ記入スルヲ要ス)

四 各教科目每週教授時數

前項ノ稟申ヲ爲ストキハ同時ニ事由ヲ具シテ小學校令施行規則第五十二條ノ稟申ヲ爲スコトヲ要ス

補習科ヲ廢止シ又ハ高等小學校修業年限延長ノ認可ヲ受ケ

ントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ稟申スヘシ但シ高等小學校修業年限延長ノ認可ヲ受ケントスル場合ニ在リテハ第四條第一項第六號ノ事項ヲ具スルヲ要ス

第九條 明治四十年勅令第五十二號附則第五項ニ依リ教科目ヲ關ク認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ稟申スヘシ

一 事由

二 各教科目ノ每週教授時數

第十條、第十一條 (削除)

第十一條ノ二 小學校令施行規則第二十九條第二項ニ依リ學級編制ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ各號ヲ具シ稟申スヘシ

一 事由

二 各學年ノ男女別兒童數並學級編制

三 校舍ノ平面圖(縮尺二百分ノ一)

各室使用ノ目的長幅ノ間數及坪數ヲ記載スルコトヲ要ス

第七編 學事 第三章 普通教育 第一款 小學校

四 將來増加スヘキ見込ノ男女別兒童數及學級數

第十二條 小學校ニ於テ授與スル卒業證書ハ第一號書式ニ依ルヘシ

第十三條 小學校ノ學期ハ左ノ如ク定ム

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日マテ

第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日マテ

第三學期 翌年一月一日ヨリ三月三十一日マテ

第十四條 (削除)

第十五條 祝日大祭日及日曜日ヲ除ク外小學校ノ休業日ハ左ノ如ク定ム

一 夏季休業 八月一日ヨリ八月三十一日マテ

一 冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

一 學年末休業 三月二十七日ヨリ三月三十一日マテ

一 學校所在地氏神祭日

一 學校設立紀念日

土地ノ情況、依リ製茶養蠶捕秧等ノ農繁時季ニ於テハ二週日間以内一部ノ授業ヲ休止シ又ハ全部ノ休業ヲ爲スコトヲ

二十五

得

前項ノ休止若ハ休業ヲ爲サントスルトキ其ノ他臨時休業ヲ要スルコトアルトキハ管理者又ハ設立者ニ於テ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第三章 設備

第十六條 校地校舍體操場及校具ハ學校ノ規模ニ適應スルコトヲ要ス

校地ハ道徳上並衛生上害ナク且ツ兒童ノ通學ニ便ナル場所ヲ選ブヘシ

校地ハ教授上管理上並衛生上適當ニシテ質朴堅牢ナランコトヲ要ス

第十七條乃至第二十六條 (削除)

第二十七條 小學校ニ於テハ教科用圖書、參考用圖書、各教科目教授用具、机、腰掛、大小黑板、身體検査器具其ノ他必要ナル器具器械及小學校中學校高等女學校實業學校ニ關スル法令等ヲ備フヘシ

第二十八條 (削除)

第二十九條 土地ノ情況ニ依リ成ヘク學校構内若ハ其ノ近傍ニ於テ教員ノ住宅ヲ設クヘシ

第三十條 校舍ノ新築、増築改築若ハ市町村立高等小學校及私立小學校ノ校地體操場ノ選定又ハ變更ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ左ノ各號ヲ具シ稟申スヘシ

一 校舍ノ平面圖(縮尺二百分ノ一)

校地、方位、各室ノ使用目的、窓、出入口、廊下、井戸、便所ノ位置及大便所ノ數、二階造ノ校舍ニ於テハ階段ノ位置等ヲ見得ヘキモノタルヲ要ス

二 各室ノ牀ノ高、天井ノ高、軒ノ高、各方面ニ於ケル窓及欄間窓ノ構造位置、階段ノ構造高、便所ノ構造、各建物ノ基礎工事、小屋組、屋根、廊下名構造概要、建物ノ坪數及其ノ一坪當リ費額體操場ノ坪數等

三 (削除)

四 各學年男女別兒童數及其ノ學級ノ編制

五 將來三箇年ニ於ケル各學年男女別兒童數及其ノ學級編

第三十一條 前條ノ工事竣成シタルトキハ遲滞ナク開申スヘシ

第三十二條 特別ノ必要ニ依リ校地、校舍、體操場ヲ小學校ノ目的以外ニ使用セムトスル場合ハ知事ノ認可ヲ受クヘシ但シ校地、校舍及體操場ノ使用ニ關シ別ニ規定アルモノハ此ノ限ニアラス

第三十三條 前條ニ依リ校地内ニ建物ヲ建設スル場合ハ左ノ各項ヲ具スヘシ

一、建設物ノ位置及構造

建設物ノ平面圖及側面圖校地校舍及當該建設物ノ位置ヲ示セル平面圖(圖面ニハ縮尺歩合)ヲ添付スルヲ要ス

建設物カ家屋ナル場合ハ校舍新築ノ例ニ準據スヘシ

二、施設及管理方法

三、經費及維持方法

公共團體ノ施設ニカカルトキハ歳入出豫算書ヲ添付スヘシ

制見込表

六 校地體操場平面圖(縮尺六百分ノ一)

方位間口奥行ノ間數、別段、地番、地目、地種、所有地借用地ノ區別、四隣ノ情況、約一丁以内接續地ニ比シタル高低、建物ノ配置及校地ト體操場ト接續セサル場合ニ在リテハ其ノ距離通路等ヲ見得ヘキモノタルヲ要ス

七 經費ノ屬スル市町村、市町村學校組合町村學校組合又ハ學區ノ歳入出豫算但シ學區ノ負擔ヲ以テ設置スル場合ニ於テハ其ノ學區ノ屬スル市町村歳入出豫算ヲモ具スルヲ要ス

八 工事著手竣工期限

校舍ノ新築、増築、改築ノ場合ニ於テハ前項第六號校地體操場ノ選定又ハ變更ノ場合ニ於テハ同第一號第二號第七號第八號(工事ヲ施ササルトキ)ヲ具スルヲ要セス但シ市町村立高等小學校ノ校地體操場ノ選定又ハ變更ノ場合ニハ別ニ經費及其ノ用途ヲ具スヘシ

第七編 學事 第三章 普通教育 第一款 小學校

- 四、小學校體操場ノ坪數
 - 五、小學校地内ニ新設ヲ要スル事由
 - 六、工事著手及竣功ノ期限
- 前項各號ノ事項ニ變更ヲ要スル場合ハ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第四章 就學

第三十四條 小學校令施行規則第八十四條ニ依リ學齡兒童保護者ニ於テ就學義務ノ免除又ハ就學ノ猶豫ヲ市町村長ニ申立ツルハ毎年二月二十日マテトス但シ小學校令施行規則第二十五條第二項ノ學年ヲ置キタル場合ニ於テハ其ノ年九月ニ就學スヘキ兒童ニ就キテハ七月二十日マテトス

前項期限以後ニ於テ小學校令第三十三條ノ事由ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ申立ツヘシ

第三十五條 小學校令第三十三條ニ依リ市町村長ニ於テ學齡兒童保護者ノ義務免除又ハ兒童就學猶豫ノ認可ヲ受ケントスルトキハ二月二十日マテニ其ノ申立ヲ受ケタル者ニ就キテハ毎年二月末日マテニ七月二十日マテニ其ノ申立ヲ受ケ

タル者ニ就キテハ毎年七月末日マテニ其ノ他ハ申立ヲ受ケタル都度之ヲ稟申スヘシ但シ貧窮ニ依ル義務ノ免除又ハ就學ノ猶豫ニ關シテハ其ノ事由ヲ詳記スヘシ

第三十六條 市町村長ハ小學校令施行規則第八十三條ニ依リ關係學校長ニ通知スヘキ入學兒童氏名書ニハ左ノ各號ヲ併記スヘシ

- 一 兒童ノ生年月日住所
- 二 保護者ノ氏名住所職業兒童トノ關係

第三十七條 市町村長ニ於テ小學校令第三十六條第一項但書ニ依リ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムルコトヲ認可シタルトキハ其ノ事由兒童保護者兒童ノ族籍氏名教授者ノ族籍氏名生年月日履歷ヲ具シ其ノ都度監督官廳ニ報告スヘシ

第三十七條ノ二 小學校令第三十八條ニ依リ小學校長ニ於テ兒童ノ出席ヲ停止シタルトキハ其ノ事由ヲ詳具シ監督官廳ニ届出ツヘシ其ノ停止ヲ解キタル場合亦同シ

第五章 教員檢定

第三十八條 試驗檢定ハ毎年一回以上施行シ其ノ期日及場所ハ豫メ之ヲ告示ス但シ必要ニ依リ告示ヲ用ヒス臨時ニ之ヲ施行スルコトアルヘシ

第三十九條 左ニ記載ノ科目ハ試驗檢定ヲ行ハス

- 一 小學校本科正教員ノ手工、農業、商業及英語
- 二 小學校准教員ノ音樂、手工、農業及商業
- 三 尋常小學校本科正教員ノ音樂
- 四 尋常小學校准教員ノ唱歌

第四十條 檢定ヲ受ケムトスル者ハ第二號書式ノ願書ニ左記各號ノ書類ヲ添ヘ試驗檢定ニ在リテハ受験場ヲ願書ノ上欄ニ記入シ試驗期日二十日前迄ニ無試驗檢定ニ在リテハ隨時知事ニ差出スヘシ但シ本縣内市町村立小學校又ハ公立學校ノ正教員若ハ准教員ノ職ニ在ル者ニ就キテハ第二號ノ證明書ヲ添付スルコトヲ要セス

- 一、第三號書式ニ依ル履歷書
- 二、小學校令施行規則第一百四條各號ニ該當セサル本籍地市區町村長ノ證明書

三、戶籍抄本

四、檢定手数料ヲ縣金庫ニ納付シタル保管證書

五、小學校令施行規則第一百四條ニ依リ授與セラレタル證明書ヲ有スル者ハ其ノ寫

他府縣在任者ニシテ檢定ヲ受ケムトスル者ハ前項ノ規定ニ準スヘシ

第四十一條、第四十二條 (削除)

第四十三條 檢定或免許狀ノ書換又ハ再渡ヲ請フ者ハ左ノ手数料ヲ納付スヘシ

- 一 正教員ノ檢定 金壹圓
 - 一 准教員ノ檢定 金五拾錢
 - 一 免許狀ノ書換又ハ再渡 金貳拾錢
- 前項ノ手数料ハ既ニ納メタル後ニ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第六章 小學校長及教員ノ進退

第四十四條 郡市長ニ於テ小學校教員ノ任用ヲ申請スルトキハ左ノ各號ヲ具スヘシ

一 事由

- 二 氏名及其ノ履歴
- 三 學校名及其ノ職名
- 四 作給見込額

本縣内ニ於テ轉任ヲ申請スル場合ニハ第一項第二號中ノ履歴ヲ要セス

第四十五條

專科正教員又ハ小學校令施行規則第三十五條第三項及第三十六條ノ准教員ノ任用申請書ニハ其ノ俸給額ニ關スル市參事會又ハ町村長ノ意見書ヲ附シテ添付スヘシ其ノ増俸ヲ要スルトキ亦同シ

一旦俸給額確定ノ上其ノ金額以内ニ於テ支出スル場合ハ前項ノ限りニアラス

本科正教員ノ俸給義務額ヲ超エテ支出ヲ要スルトキハ市町村、町村學校組合及其ノ學區ノ同意書ヲ附シテ添付スヘシ

第四十六條

小學校令施行規則第二百二十二條第百二十六條ニ該當スル者アルトキハ郡市長ハ其ノ事由ヲ具申スヘシ
小學校令施行規則第二百二十二條第一號及同第百二十六條第

一 該ニ該當スル者ニ在リテハ醫師ノ診斷書ヲ附シテ添付スヘシ

小學校令施行規則第二百二十六條第二號前段ニ該當スル者ニ在リテハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

前二項ノ醫師診斷書ニハ左ノ各號ヲ詳記スルコトヲ要ス

- 一 住所氏名生年月日
- 二 體 質
- 三 病 名
- 四 遺傳症
- 五 既往症
- 六 現在症
- 七 原因
- 八 診 斷
- 九 經 過
- 十 療 後
- 十一 療 法

第四十七條 (削除)

第四十八條

小學校令施行規則第三百二十二條ニ依リ届出ツル者ハ採用ノトキニ在リテハ校長教員ノ族籍氏名生年月日並履歴ヲ記載シテ添付スヘク解職ノトキハ其ノ氏名事由ヲ記スヘシ

第四十九條

市町村立小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當然退職者トス

- 一 當然學校ノ廢セラレタルトキ
- 二 陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキ

第五十條

市町村立小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退職ヲ命ス

- 一 不具癆疾ニ依リ又ハ身體若ハ精神ノ衰弱ニ依リ職務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ
- 二 學校編制ノ變更ニ依リ過員ヲ生シタルトキ
- 三 傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘサルニ依リ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退職ヲ出願スルトキ

前項第一號第二號ニ該當シタル者アルトキハ郡長ハ其ノ事

第七編 學事 第三章 普通教育 第一款 小學校

由ヲ具申スヘシ

第一項第三號前段ニ該當スル者ニ在リテハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第五十一條

前二條ノ事由ニ依ラスシテ退職ヲ命スル必要アリト認メタルトキハ特別ノ處分ヲナスコトアルヘシ

第五十一條ノ二 市町村立小學校代用教員ノ採用解職ニ關シテハ市町村立小學校准教員ノ例ニ依ル

第七章 小學校長及教員ノ職務及服務

第五十二條 學校長ハ所屬教員ノ教授擔任ヲ定ムヘシ

第五十三條 學校長ハ所屬教員ニ對シ教授以外ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五十四條 學校長事故アルトキハ上席教員其ノ職務ヲ代理スヘシ

第五十五條 學校長及教員疾病等ニ依リ缺勤スルトキハ出勤時刻前其ノ旨ヲ學校ニ届出ツヘシ

第五十六條 市町村立小學校長及教員疾病ニ依リ缺勤スルコト十五日ヲ踰ユルトキハ十五日毎ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ郡

第七編 學事 第三章 普通教育 第一款 小學校

長又ハ市長ニ届出ツヘシ

第五十七條 市町村立小學校長及教員歸省墓參轉地療養及其ノ他ノ事故ニ依リ旅行セントスルトキハ郡長又ハ市長ノ許可ヲ受クヘシ但シ轉地療養ニアリテハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルコトヲ要ス

第五十八條 市町村立小學校長及教員ノ忌引ハ郡長又ハ市長ニ届出ツヘシ其ノ除服ハ郡長又ハ市長之ヲ命スヘシ

第五十八條ノ二 市町村立小學校女教員産前産後ノ休養ハ左ノ各號ニ依ルヘシ

- 一 醫師ノ診斷ニ依ル分娩豫定日前二週間
但シ特別ノ事情アル場合ニ在リテハ産婆ノ證明ヲ以テ醫師ノ診斷ニ代フルコトヲ得
- 二 前號ノ分娩豫定日ヲ超エ尙分娩セサル場合ハ事實分娩アルマテトス
- 三 分娩後六週間

前項産前ノ休養ヲ爲サムトスルトキハ醫師ノ診斷書又ハ産婆ノ證明書ヲ添ヘ郡長又ハ市長ノ認可ヲ受ク産後ノ休養ヲ爲サムトスルトキハ分娩年月日ヲ具シ郡長又ハ市長ニ届出ツヘシ

第六十條 市町村立小學校教員轉任退職若ハ休職ヲ命セラレタルトキハ學校長兼任ノ者ニ在リテハ其ノ校務ヲ後任學校長若ハ上席教員ニ其ノ他ノ教員ニ在リテハ其ノ擔任事務及其ノ保管ニ係ル文書物品等ヲ學校長ノ指揮ニ從ヒ遲滞ナク引繼ノ手續ヲナスヘシ其ノ免職失職ノ場合ニ於ケル亦同シ

第六十條ノ二 市町村立小學校教員陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキハ遲滞ナク知事ニ届出テ六週間現役又ハ一年現役兵ニ服シ若ハ勤務演習教育召集ノ爲召集セラレル場合ハ豫メ監督官廳ニ届出ツヘシ其ノ事故ノ止ミタルトキ亦同シ

第六十一條 市町村立小學校長及教員新任又ハ轉任ノトキハ

爲サムトスルトキハ分娩年月日ヲ具シ郡長又ハ市長ニ届出ツヘシ

第五十九條 市町村立小學校長及教員ニシテ學校ノ休業日中旅行セントスルトキハ郡長又ハ市長ニ届出ツヘシ但シ町村立小學校教員ニシテ其ノ郡内旅行ノ場合ニ限リ其ノ旨學校ニ届出ツヘシ

第六十條 市町村立小學校教員轉任退職若ハ休職ヲ命セラレタルトキハ學校長兼任ノ者ニ在リテハ其ノ校務ヲ後任學校長若ハ上席教員ニ其ノ他ノ教員ニ在リテハ其ノ擔任事務及其ノ保管ニ係ル文書物品等ヲ學校長ノ指揮ニ從ヒ遲滞ナク引繼ノ手續ヲナスヘシ其ノ免職失職ノ場合ニ於ケル亦同シ

第六十條ノ二 市町村立小學校教員陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキハ遲滞ナク知事ニ届出テ六週間現役又ハ一年現役兵ニ服シ若ハ勤務演習教育召集ノ爲召集セラレル場合ハ豫メ監督官廳ニ届出ツヘシ其ノ事故ノ止ミタルトキ亦同シ

第六十一條 市町村立小學校長及教員新任又ハ轉任ノトキハ

辭令書接受ノ日ヨリ一週日間以内ニ赴任シ新任又ハ轉任地ノ郡市長ニ届出ツヘシ若シ右期限内ニ赴任シ難キ事情アルトキハ其ノ旨ヲ具シ新任又ハ轉任地ノ郡長又ハ市長ノ許可ヲ受クヘシ

得

第六十一條ノ二 市町村立小學校教員ニシテ族籍ニ異動ヲ生シ若ハ氏名ヲ變更シタルトキハ直ニ知事ニ届出ツヘシ

市町村立小學校教員死亡シタルトキハ學校管理者ニ於テ直ニ知事ニ届出ツヘシ

前二項ノ届書ニハ本人ノ戸籍抄本ヲ添付スヘシ

第六十二條 市町村立小學校長及教員ヨリ監督官廳ニ差出スヘキ書面ハ學校長ニアリテハ管理者其ノ他ノ教員ニアリテハ學校長及管理者ヲ經由スヘシ

第六十三條 學校長ハ事務取扱ニ關スル細則ヲ設クルコトヲ

第六十四條 市町村立高等小學校長ハ小學校令施行規則第八十九條同第九十條ノ規定ニ準シ學籍簿及出席簿ヲ作ルヘシ

第六十五條 市町村立小學校長ノ作ルヘキ兒童出席簿ハ第二號表ノ様式ニ依ルヘシ

第六十六條 市町村立小學校長ハ毎月學校長及教員ノ出勤缺勤日數表及第三號表ノ様式ニ依リ月末統計表ヲ調製シ其ノ副本ヲ翌月五日限リ郡市長ニ差出スヘシ

第六十七條 本章中教員ニ關スル事項ハ代用教員ニ準用ス

第八章 市町村立小學校教員ノ俸給旅費其ノ他諸給與

第六十八條 教員ノ月俸額ハ左表ノ如ク定ム

職名	正本教員科		一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級
	上	下									
專科	上	下	百八十圓	百四十五圓	百二十圓	百圓	八十五圓	七十五圓	六十五圓	五十五圓	四十五圓
普通教育	上	下	百二十圓	百三十圓	百十圓	九十圓	八十圓	七十圓	六十圓	五十圓	四十圓
小學校	上	下	百二十圓	百三十圓	百十圓	九十圓	八十圓	七十圓	六十圓	五十圓	四十圓

第七編 學事 第三章 普通教育 第一款 小學校

正 教 員	下	百十圓	九十圓	七十五圓	六十五圓	五十五圓	四十五圓	三十五圓
	上	六十圓	五十圓	四十圓	三十三圓			
准 教 員	下	五十五圓	四十五圓	三十五圓	三十圓			
	上							

第六十九條 一級上俸ヲ受ケ特ニ功勞アル者ニハ本科正教員

ニ在リテハ二百四十圓マテ専科正教員ニ在リテハ百六十圓マテ漸次増給スルコトヲ得

第七十條 教員ノ俸給ハ當分ノ内等級相當ノ額ヲ減シテ之ヲ支給スルコトアルヘシ

第七十一條 (削除)

第七十二條 専科正教員ニシテ他ノ小學校ノ専科正教員ヲ兼ヌル者ニハ關係學校ノ經費ヨリ其ノ俸給ヲ分割シテ給スルコトアルヘシ

第七十三條 俸給ハ本人ノ意ニ反シテ之ヲ減スルコトナシ

第七十四條 俸給ハ毎月二十一日之ヲ給ス但シ休日ニ當ルトキハ繰下トス

第七十五條 俸給ハ新任増俸減俸轉任休職復職トモ總テ發令

ノ翌日ヨリ計算ス

第七十六條 退職又ハ死亡ノトキハ其ノ月俸給ノ全額ヲ給ス

第七十七條 退職者ハ休職ノ者事務引繼殘務調理ノ爲特ニ命ヲ受ケ校務ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ間日割ヲ以テ仍從前ノ俸給ヲ給ス

第七十八條 傷痍疾病ノ爲執務セサルコト三十日ヲ踰ユル者ハ日割ヲ以テ俸給ノ半額ヲ減シ六十日ヲ踰ユル者ハ其ノ三分ノ二ヲ減シ九十日ヲ踰ユル者ハ其ノ俸給ヲ給セス但職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ハ此限ニ在ラス

私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト十五日ヲ踰ユル者ハ日割ヲ以テ俸給ノ半額ヲ減ス三十日ヲ踰ユル者ハ其ノ俸給ヲ給セス

前二項ノ缺勤ノ事由ニ以上連續スルトキハ相互通算セス日

數ノ多キニ從テ處分ス

第七十九條 正當ノ理由ナクシテ缺勤スル者ハ其ノ間俸給ヲ給セス

第八十條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當月分ノ俸給ハ日割ヲ以テ給ス

- 一 懲戒ニ依リ免職ニ處セラレタルトキ
- 二 免許狀竊奪又ハ免許狀ノ失效ニ依リ教員ノ職ヲ失ヒタルトキ

第八十一條 陸軍六週間現役ニ服スル者ハ其ノ服役中日割ヲ以テ俸給ノ半額ヲ減ス

第八十二條 夏季冬季學年末休業又ハ忌引産前産後ノ休養ノ場合ト第七十八條第一項又ハ同第二項ノ場合ト連續スルトキハ其ノ學校休業若ハ忌引産前産後ノ休養ノ日數ハ減俸トナルヘキ缺勤日數中ニ算入セス又第七十八條第一項ノ場合ト同第二項ノ場合ト連續スルトキハ之ヲ通算セス

第八十三條 俸給ヲ給ハルニ當リ計算上錢位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ切捨トス

日割計算ハ其ノ月ノ現日數ニ依ル

第八十四條 休職者ニハ其ノ休職中俸給ノ三分ノ一ヲ給ス但シ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ於テ特別ノ事情アル場合若ハ小學校令施行規則第二百二十二條第三號乃至第五號ニ該當スル場合ハ之ヲ給セサルコトアルヘシ

第八十四條ノ二 市町村立小學校正教員ニシテ徵兵令第十四條ノ規定ニ依リ一年現役兵トシテ服役スル者ハ其ノ服役中俸給ノ十分ノ二ヲ減ス

第八十五條 教員ニシテ在職ノ儘小學校教員講習科ニ入學スル者ニハ俸給ノ一部若ハ全部ヲ給ス但シ其ノ額ハ知事ニ於テ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ學區ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ム

第八十六條 陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受ケル者ニハ其ノ間俸給ヲ給セス但シ其ノ額本職ノ俸給額ヨリ算少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給ス

第八十七條 在職又ハ休職中死亡シタルトキハ其ノ在職最終

ノ給料月額四箇月分ヲ其ノ遺族ニ給ス
前項ノ遺族及其ノ順位ニ關シテハ判任官俸給令第十三條第
二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第八十八條 旅費ハ左表ニ定ムル所ニ從ヒ順路ニ依リテ之ヲ
支給ス但シ公務ノ都合ニ依リ順路ニ依リテ旅行シ難キ場合
ニ於テハ其ノ現ニ經過シタル通路ニ依ル

職名	鐵道賃		車馬賃		宿泊料		移轉料
	又ハ船賃	一里ニ付	一里ニ付	一日ニ付	一夜ニ付	一日ニ付	
委任待遇ノ學 校長	二等ノ運賃	四拾五錢	四圓九拾錢	參圓五拾錢	十里未滿貳拾圓	十里以上參拾圓	十里未滿貳拾圓
正教員	二等ノ運賃	參拾八錢	參圓拾五錢	壹圓七拾五錢	十里未滿拾五圓	十里以上貳拾五圓	十里未滿拾五圓
准教員	二等ノ運賃	參拾錢	貳圓	壹圓	十里未滿拾圓	十里以上貳拾圓	十里以上貳拾圓

講習會、研究會、修學旅行等ニ出張シタル場合ニ在リテハ
定額ノ旅費ヲ支給セサルコトヲ得

第八十九條 鐵道旅行ニハ鐵道賃、水路旅行ニハ船賃、陸路
旅行ニハ車馬賃ヲ支給ス
鐵道又ハ水路ニ依ラサル旅行ハ之ヲ陸路旅行トス

宿泊料ハ夜數ニ應ジ日當ハ日數ニ應ジテ之ヲ支給ス但シ水
路旅行ニハ宿泊料ヲ支給セス
第九十條 旅費ノ支給ニ關シテハ旅行日數ハ出張地ニ於ケル
滞在日數及途中已ムヲ得サル事由ノ爲要シタル日數ヲ除ク
ノ外鐵道旅行ハ二百哩、水路旅行ハ百海里、陸路旅行ハ十

二里ニ付一日ノ割合ヲ以テ通算シタル日數ヲ超過スルコト
ヲ得ス但シ一日未滿ノ端數ハ之ヲ一日トス

第九十一條 赴任ノ場合ニ於テハ別ニ日當三日分宿泊料ニ夜
分ニ相當スル額ヲ赴任手當トシテ支給ス

移轉料支給方ハ鐵道ハ二哩半、水路ハ二海里ヲ以テ陸路一
里トシテ路程ヲ計算ス

家族移轉料ハ家族一人毎ニ本人相當ノ鐵道賃、船賃、車馬
賃、日當、宿泊料ノ四分ノ一及赴任手當ノ三分ノ一ニ相當
スル金額ヲ支給ス但シ十二歳未滿ノ家族ニ付テハ其ノ半額
トス

家族ノ數三人ヲ超過スルトキハ其ノ超過スル者ニ付支給ス
ル家族移轉料ハ前項ノ規定ニ依ル給額ノ半額トス
赴任手當及移轉料家族移轉料ハ支給セサルコトヲ得

第九十二條 陸路六里未滿、鐵道四十八哩未滿、水路三十海
里未滿ノ旅行ニ在リテハ公務ノ都合ニ依リ宿泊シタル場合
ヲ除クノ外其ノ支給スヘキ日當ハ定額ノ半額トス
一旅行ニシテ陸路、鐵道又ハ水路ニ互ルトキハ鐵道ハ八哩、

水路ハ五海里ヲ以テ陸路一里ト看做シ前項ノ規定ヲ準用ス

第九十三條 在勤學校所在地ノ市町村内ノ出張ニシテ二里以
上ニ互ルトキハ定額半額以内ノ日當ヲ支給スルコトヲ得

第九十四條 私事ノ爲任地又ハ居住地以外ニ滞在スル者轉任
ヲ命セラレ又ハ新任ニ任用セラレ滞在地ヨリ赴任スル場合ニ
於テハ滞在地ヨリ新任地ニ至ル旅費額ヲ舊任地又ハ居住地
ヨリ新任地ニ至ル旅費額ヨリ多キトキハ舊任地又ハ居住地
ヨリ新任地ニ至ル旅費額ヲ支給ス

前項ノ規定ハ私事ノ爲任地以外ニ滞在スル者滞在地ヨリ旅
行スル場合ニ之ヲ準用ス

第九十五條 新任ニ任用スル爲召喚シタル者ニハ赴任ノ例ニ準
ジ新職相當ノ旅費ヲ支給ス

第九十六條 特別ノ事情ニ依リ定額ノ鐵道賃、船賃又ハ車馬
賃ヲ以テ其ノ實費ヲ支辨シ難キ場合ニ於テハ實費額ヲ支給
スルコトヲ得

第九十七條 鐵道賃、船賃又ハ車馬賃ハ各其ノ路程ヲ合算シ
テ之ヲ支給ス但シ定額ヲ異ニスルモノニ付キテハ各別ニ之

ヲ通算ス

通算上一哩、一海里又ハ一里未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨トス

第九十八條 旅行中退職又ハ休職ト爲リタル者ニハ舊任地ニ至ル前職又ハ本職相當ノ旅費ヲ支給ス但シ免狀ノ失效又ハ免狀發給後ノ處分ヲ受ケタルニ依リテ失職シ又ハ懲戒免職ノ處分ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ第九十條ニ定メタル旅程ノ割合ヲ以テ計算シタル日數ニ依リ旅費ヲ支給ス

旅行中死亡シタル場合ニ於テハ前二項ノ規定ニ準シ旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス

第九十九條 事務引續義務調理等ノ爲退職者ニ旅行ヲ命スルトキハ前職相當ノ旅費ヲ支給ス

第一百條 一週三十二時ヲ超エ教授ヲ擔任スル者ニハ手當ヲ給ス

第一百一條 特ニ勤勞アル者ニハ慰勞金ヲ給スルコトアルヘシ

第一百二條 宿直スル者ニハ賄料ヲ給スヘシ

第一百三條 職務ノ爲傷病ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタル者ニハ療治料ヲ給スヘシ

第一百四條 土地ノ情況ニ依リ住宅料ヲ給スヘシ

第一百五條 第一百條及第一百一條ニ依リ給スル金額ハ知事ニ於テ管理者ノ意見ヲ聞キテ之ヲ決定シ第一百二條乃至第一百四條ニ依リ給スル金額ハ管理者ニ於テ之ヲ決定シ遲滞ナク申報スヘシ

第九章 市町村立小學校代用教員ノ俸給旅費其ノ他諸給與

第九十條

第一百六條 代用教員ノ月俸額ハ四圓以上六拾圓以下トス但シ教授時數ニ應ジ最低額以下ノ月俸ヲ給スルコトアルヘシ

第一百七條 第七十三條乃至第八十條第八十二條第八十三條第八十六條及第八十八條乃至第一百五條ノ規定中准教員ニ關スル事項ハ代用教員ニ準用ス

第十章 區長及其ノ代理者

第一百八條 市町村村學校組合ノ區長及其ノ代理者ハ市町村長町村學校組合管理者ノ指揮命令ヲ受ケテ學區ニ屬スル區

ノ教育事務ヲ補助執行スヘシ

第十一章 幼稚園及小學校ニ類スル各種學校

校

第九十九條 小學校令第十七條ニ依リ幼稚園設置ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ稟申スヘシ

一名 稱

二位 置

三位 設立者

四位 保姆ノ員數

五位 園則

園則ニハ保育項目程度及其ノ每週保育時數、保育年限、休園日、幼兒定員及組數、保育料、入退園其ノ他必要ナル事項ニ就キ規定スルヲ要ス

六 維持法、經費

七 敷地建物ノ圖面

圖面ニハ敷地建物ノ配置、方位、四隣ノ狀況、各室ノ使用目的、坪數、窓、出入口、廊下、手洗所、便所ノ

第十編 學事 第三章 普通教育 第一款 小學校

位置、遊園及其ノ坪數等ヲ記載スルヲ要ス

八 飲料水ノ良否

前項第二號第五號及敷地建物ノ變更ハ事由ヲ具シテ知事ノ認可ヲ受ケ其ノ他ノ異動ハ知事ニ届出ツヘシ

第一項第二項ノ規定ハ小學校ニ類スル各種學校ニ之ヲ準用ス但シ設置ノ場合ハ第一項第五號ヲ除キ更ニ學則ヲ具スヘシ學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

一 學校ノ目的

二 教科目、教授ノ程度及其ノ每週教授時數

三 修業年限

四 教授終始ノ時刻

五 休業日

六 生徒定員

七 入退學

八 授業料

九 修業又ハ卒業認定ノ方法

十 其ノ他必要ト認ムル事項